

平成 7 年度原子爆弾被爆者 実態調査(生存者調査)報告

厚生省保健医療局

は　じ　め　に	1
第1 調査の概要	2
1 調査の対象	2
2 調査の時期	2
3 調査事項	2
4 調査の方法	2
5 調査の実施状況	2
第2 調査の結果	3
1 被爆者数の地域分布	3
2 性・年齢構成	5
3 被爆状況	7
4 世帯の状況	11
5 住居の状況	14
6 収入を伴う仕事の有無	15
7 所得の状況	20
8 手当の受給状況	22
9 生活保護の状況	27
10 公的年金・恩給の受給状況	28
11 医療保険の加入状況	30
12 身体障害者手帳・戦傷病者手帳の所持状況	30
13 受療の状況	32
14 寝たきりの状況	38
15 介護の状況	45
16 被爆者健康診断の受診状況	51
17 健康・福祉サービスの希望状況	64
18 苦労・心配していることの状況	67
第3 統計表	70
第4 参考資料	86
1 原爆被爆者対策の概要	86
2 他の主要統計調査の実施概要	88
3 用語解説	90
4 平成7年度原爆被爆者実態調査調査票	91

平成7年度原子爆弾被爆者実態調査
(生存者調査) 報告

厚生省

はじめに

平成7年度原子爆弾被爆者実態調査は、昭和20年8月広島・長崎に投下された原子爆弾による被爆者の生活、健康等の現状を総合的に把握するとともに、原子爆弾による死没者の実態を明らかにするための資料を得ること及び被爆体験などを後世に語り継ぐことを目的として実施したものである。

この調査は、生存者に関する調査と死没者に関する調査及び被爆体験に関する調査で構成されるが、本調査報告はこのうち生存者に関する調査結果について取りまとめたものである。

生存者に関する実態調査としては、昭和40年度、昭和50年度及び昭和60年度の調査に引き続くものであるが、今回調査の特徴としては前回同様生活面の調査を含めて全ての調査項目について全数調査を行ったこと、寝たきりの者や介護を受けている者の状況など被爆者の高齢化を踏まえた詳細な実態の把握に努めたことなどが上げられる。

本調査報告の取りまとめに当たっては、生存被爆者の生活、健康面の各項目ごとに回答の集計結果を示すとともに、必要に応じては過去の実態調査及び国勢調査等との比較を行った。しかしながら、これらの比較は、それぞれの調査方法や対象集団の構成の違いなどから必ずしも厳密なものではないため、参考として理解すべきものであることに留意する必要がある。

第1 調査の概要

1 調査の対象

平成7年9月1日現在で、原子爆弾被爆者の援護に関する法律（平成6年12月法律第117号）に基づく被爆者健康手帳を所持する者を調査の対象とした。

2 調査の時期

平成7年11月1日

3 調査事項

被爆者の性別、年齢、居住地、被爆の状況、就業状況、健康の状況など。

4 調査の方法

調査票を各都道府県を通じて被爆者へ郵送し、本人又は家族により記入の上、厚生省へ返送する（自計方式）。

5 調査の実施状況

平成7年9月1日現在の被爆者健康手帳交付者326,326人のうち死亡、海外滞在等の長期不在及び所在不明の事実が判明したものを除いた被爆者324,072人に対し「原子爆弾被爆者実態調査調査票」を郵送して調査を実施した。回答のあった者は248,553人であり、回収率は76.7%であった。

以下の報告は、生存者調査に回答のあった248,553人についてとりまとめたものである。

なお、調査票の記載事項のうち死没者調査及び被爆体験に関する部分については、別途活用を図ることとしている。

第2 調査の結果

1 被爆者の地域分布

回答した被爆者248,553人についての地域分布は表1-1のとおりであり、広島市(76,313人)、長崎市(49,109人)、広島県(42,528人)、長崎県(18,490人)に居住する者が186,440人で回答者の75.0%を占め、次いで大阪府(6,731人)、福岡県(6,549人)、東京都(6,188人)、山口県(4,778人)、神奈川県(4,566人)、兵庫県(4,426人)の順で分布しており、これら10都府県市で88.4%を占めている。また、昭和50年、60年、平成7年度調査の回答者の割合の推移は表1-2に示すとおりであり、広島、長崎両県市以外の他の都道府県の割合が高くなっている。

表 1 - 1 原爆被爆者実態調査の実施状況

	60年度調査			7年度調査		
	被爆者数	回答者数	回収率	被爆者数	回答者数	回収率
北海道	652	482	73.9%	644	492	76.4%
青森	106	93	87.7%	111	105	94.6%
岩手	118	104	88.1%	116	85	73.3%
宮城	283	221	78.1%	276	208	75.4%
秋田	79	69	87.3%	73	72	98.6%
山形	115	112	97.4%	99	76	76.8%
福島	162	146	90.1%	168	155	92.3%
茨城	552	482	87.3%	592	471	79.6%
栃木	339	281	82.9%	359	246	68.5%
群馬	286	254	88.8%	269	206	76.6%
埼玉	2,243	1,583	70.6%	2,544	1,687	66.3%
千葉	3,358	2,412	71.8%	3,704	2,548	68.8%
東京	9,562	6,933	72.5%	9,782	6,188	63.3%
神奈川	5,839	4,341	74.3%	6,144	4,566	74.3%
新潟	230	190	82.6%	229	209	91.3%
富山	134	131	97.8%	139	107	77.0%
石川	203	156	76.8%	192	118	61.5%
福井	175	158	90.3%	164	152	92.7%
山梨	120	106	88.3%	130	83	63.8%
長野	227	207	91.2%	227	191	84.1%
岐阜	700	573	81.9%	719	561	78.0%
静岡	1,034	824	79.7%	1,043	800	76.7%
愛知	3,656	2,629	71.9%	3,592	2,339	65.1%
三重	772	641	83.0%	798	620	77.7%
滋賀	446	340	76.2%	530	418	78.9%
京都	1,697	1,321	77.8%	1,702	1,242	73.0%
大阪	10,012	7,673	76.6%	11,145	6,731	60.4%
兵庫	6,086	4,773	78.4%	6,093	4,426	72.6%
奈良	852	663	77.8%	982	658	67.0%
和歌山	547	428	78.2%	514	373	72.6%
鳥取	803	719	89.5%	781	591	75.7%
島根	2,640	2,371	89.8%	2,625	2,151	81.9%
岡山	3,556	2,809	79.0%	3,436	2,368	68.9%
広島*	59,042	54,217	91.8%	50,998	42,528	83.4%
山口	7,105	6,392	90.0%	6,463	4,778	73.9%
徳島	546	456	83.5%	517	332	64.2%
香川	857	698	81.4%	801	642	80.1%
愛媛	1,898	1,486	78.3%	1,598	1,215	76.0%
高知	397	336	84.6%	396	286	72.2%
福岡	9,861	7,526	76.3%	10,576	6,549	61.9%
佐賀	2,394	2,159	90.2%	2,207	1,817	82.3%
長崎**	30,550	28,296	92.6%	27,316	18,490	67.7%
熊本	2,521	2,035	80.7%	2,374	1,840	77.5%
大分	1,225	1,010	82.4%	1,231	998	81.1%
宮崎	977	835	85.5%	1,032	821	79.6%
鹿児島	1,542	1,274	82.6%	1,752	1,402	80.0%
沖縄	362	258	71.3%	335	190	56.7%
広島市	113,273	97,575	86.1%	97,556	76,313	78.2%
長崎市	71,538	64,721	90.5%	58,998	49,109	83.2%
(再掲)						
広島・長崎分	274,403	244,809	89.2%	234,868	186,440	79.4%
合計	361,672	313,499	86.7%	324,072	248,553	76.7%

注 1) *は広島市を除く、**は長崎市を除く、以後同じ整理とする

2) 被爆者数は、被爆者健康手帳交付登録数から死亡、長期出張、所在不明の者を除いた数

表 1 - 2 回答者の全国に占める割合の推移

	5 0 年 度 調 査	6 0 年 度 調 査	7 年 度 調 査
広 島 県	1 8 . 8 %	1 7 . 3 %	1 7 . 1 %
広 島 市	3 3 . 0	3 1 . 1	3 0 . 7
長 崎 県	7 . 4	9 . 0	7 . 4
長 崎 市	2 2 . 0	2 0 . 7	1 9 . 8
広島・長崎両県市	8 1 . 2	7 8 . 1	7 5 . 0
その他の都道府県	1 8 . 8	2 1 . 9	2 5 . 0

2 性・年齢構成

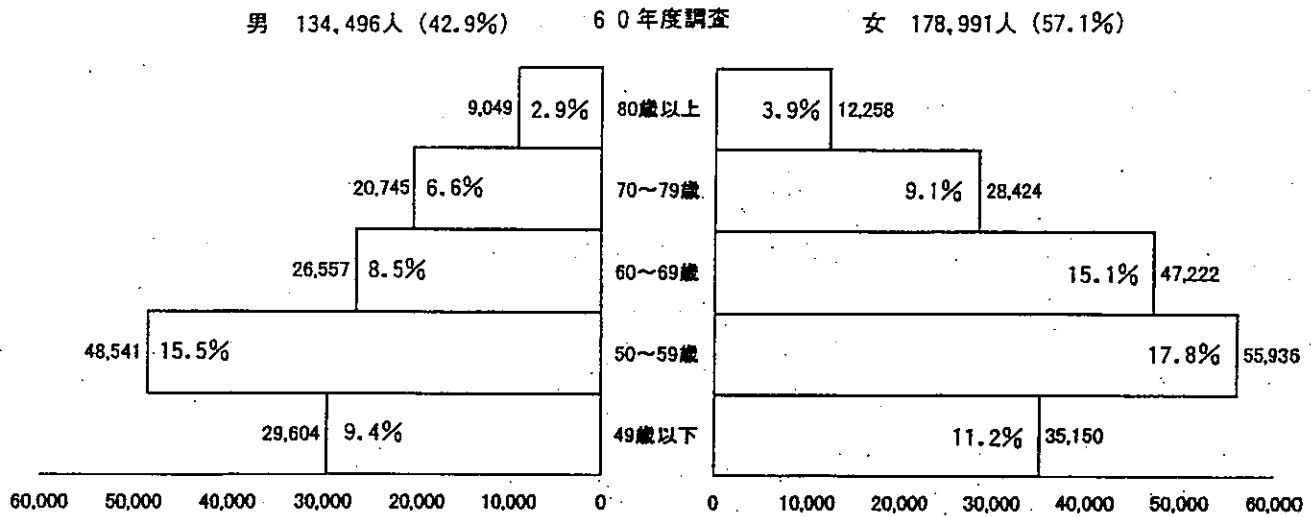
性別についてみると、男104,907人(42.2%)、女143,582人(57.8%) (性別不詳64名を除く)で女が多く、60年度調査(男42.9%、女57.1%)と比べても女性の割合が高くなっている。

被爆者の平均年齢は66.9歳(男66.0歳、女67.5歳)となっており、60年度調査の59.9歳(男59.4歳、女60.3歳)と比較して7歳年齢が高くなっている。

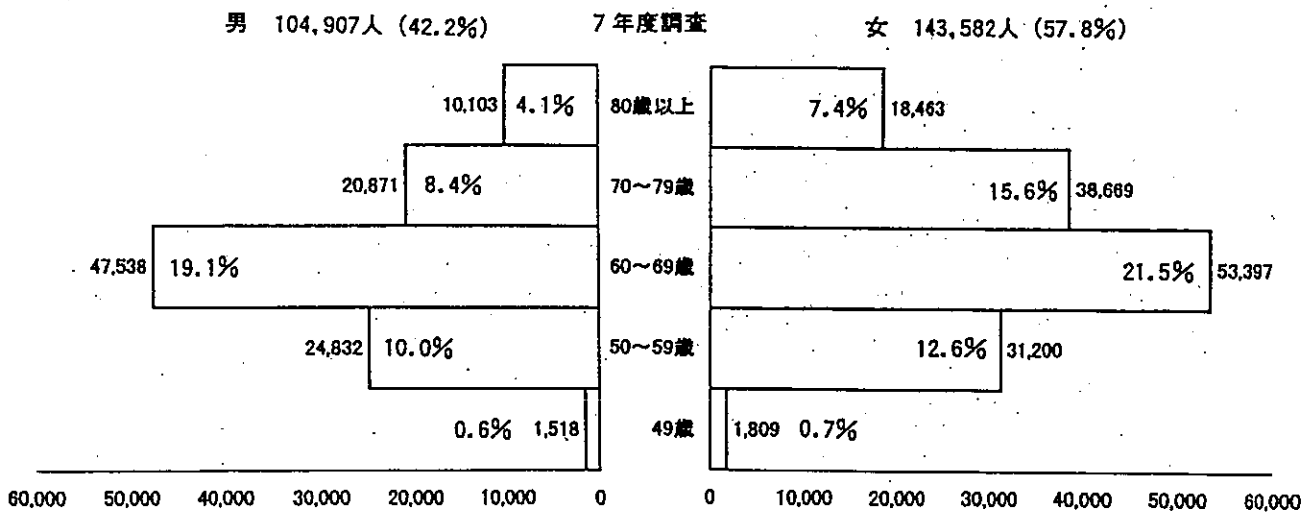
年齢構成を10歳階級別にみると(年齢及び性別不詳153名を除く)、図2のとおりであり、男女とも60～69歳の者が最も多く、次いで男の場合は、50～59歳の者、70～79歳の者等の順であり、女の場合は、70～79歳の者、50～59歳の者等の順となっている。因に、60年度調査の年齢構成(年齢及び性別不詳13名を除く)と比較すると、年齢層がほぼ10年ほどスライドしていることが分かる。

図2 被爆者の性別年齢構成

(単位：人)



(単位：人)



※上記60年度、7年度の図では、性別不詳を除く
また男女の合計人数では、年齢不詳を含む

3 被爆状況

被爆地別にみると、広島で被爆した者は155,680人、62.6%（60年度調査193,472人、61.7%）であり、長崎で被爆した者は92,871人、37.4%（60年度調査120,022人、38.3%）である（被爆地不詳2名除く）（図3-1）。

被爆区分別にみると1号被爆者（原子爆弾が投下された際、当時の広島・長崎市内又は一定の隣接地域内において直接被爆した者をいう。以下同じ。）は、154,646人（62.2%）、2号被爆者（原子爆弾が投下されてから2週間以内に爆心地から約2Kmの区域内に立ち入った者をいう。以下同じ。）は、66,434人（26.7%）、3号被爆者（被爆者の救護等に従事したなど身体に放射線の影響を受けるような事情の下にあった者をいう。以下同じ。）は22,042人（8.9%）、4号被爆者（1号被爆者、2号被爆者及び3号被爆者の胎児であった者をいう。以下同じ。）は、4,066人（1.6%）となっている（図3-2）。なお、60年度調査における被爆区分別の割合は、1号被爆者63.0%、2号被爆者27.5%、3号被爆者7.9%、4号被爆者1.6%であった。

被爆区分の割合を性別にみると、男性では1号被爆者62.0%、2号被爆者30.3%、3号被爆者5.3%、4号被爆者1.8%であり、女性では1号被爆者62.4%、2号被爆者24.1%、3号被爆者11.5%、4号被爆者1.5%である（図3-3）。

被爆地別に被爆区分の割合をみると、広島被爆では、1号被爆者57.0%、2号被爆者31.9%、3号被爆者8.8%、4号被爆者1.7%であり、長崎被爆では、1号被爆者71.0%、2号被爆者18.1%、3号被爆者9.0%、4号被爆者1.6%である（図3-4）。

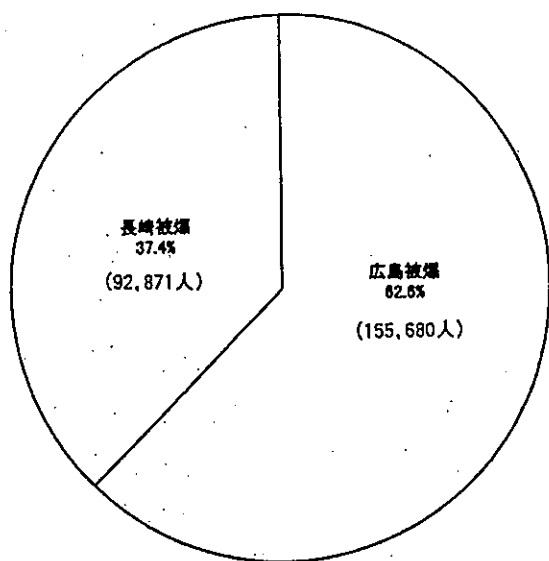
年齢階級別に被爆区分の分布状況をみると図3-5のとおりであり、49才を除き年齢階層が低くなる程1号被爆者の割合が高く、年齢階層が高くなる程2号被爆者の割合が高くなっている。なお、49歳では1号被爆者及び2号被爆者は含まれていない。

なお、被爆区分別に被爆者の年齢別分布状況をみると図3-6のとおりであり、1号被爆者、2号被爆者、3号被爆者ともに60～69歳の者の占める割合が最も高くなっている。

次に、1号被爆者について、被爆距離別の割合をみると、3.1Km以上（37.8%）が最も多く、次いで2.1～3.0Km（24.0%）、1.6～2.0Km（19.0%）、1.1～1.5Km（12.2%）、0.6～1.0Km（4.4%）、0.0～0.5Km（1.3%）の順となっている（図3-7）。2Km以内の被爆者の割合は36.9%であり、60年度調査（38.3%）より1.4%低くなっている（図3-7）。

また、被爆距離別の割合を被爆地別にみると、広島被爆では1.6～2.0Km（26.2%）、2.1～3.0Km（24.1%）、3.1Km以上（25.9%）と同程度の割合となっているが、長崎被爆では3.1Km以上が53.9%となっている（図3-8）。

図 3-1 被爆地別被爆者の割合



※被爆地不詳は除く

図 3-2 被爆区分別被爆者の割合

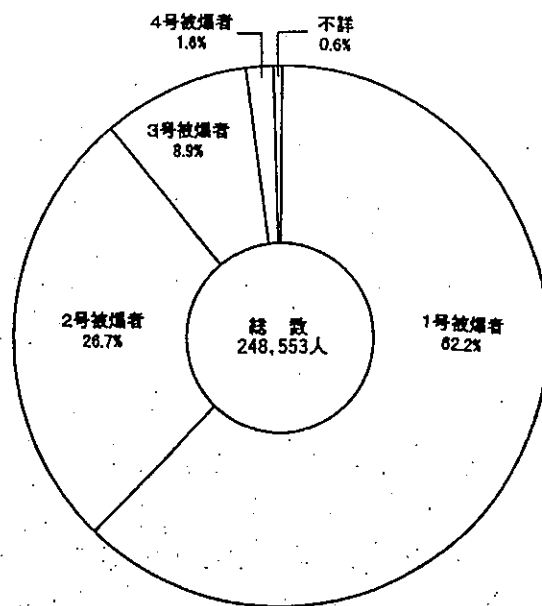


図 3-3 被爆区分別性別の割合

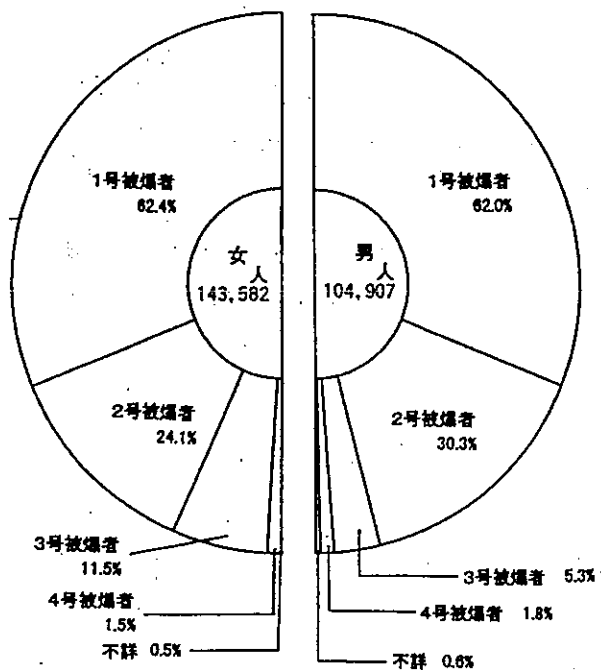
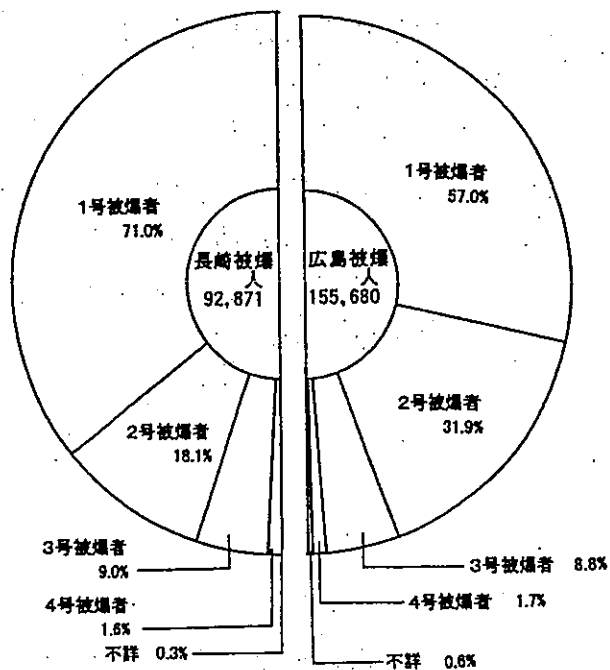
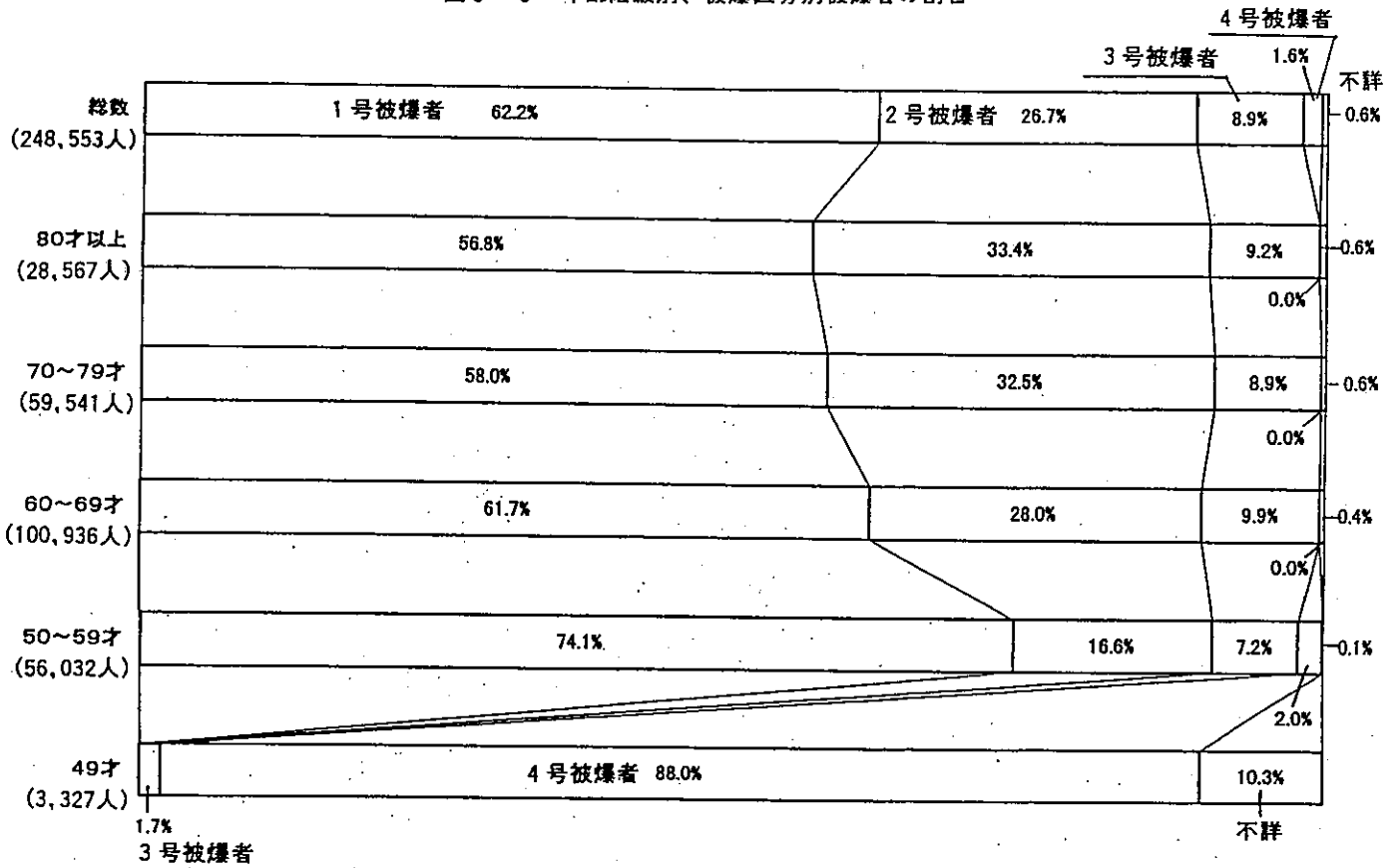


図 3-4 被爆地別被爆区分の割合



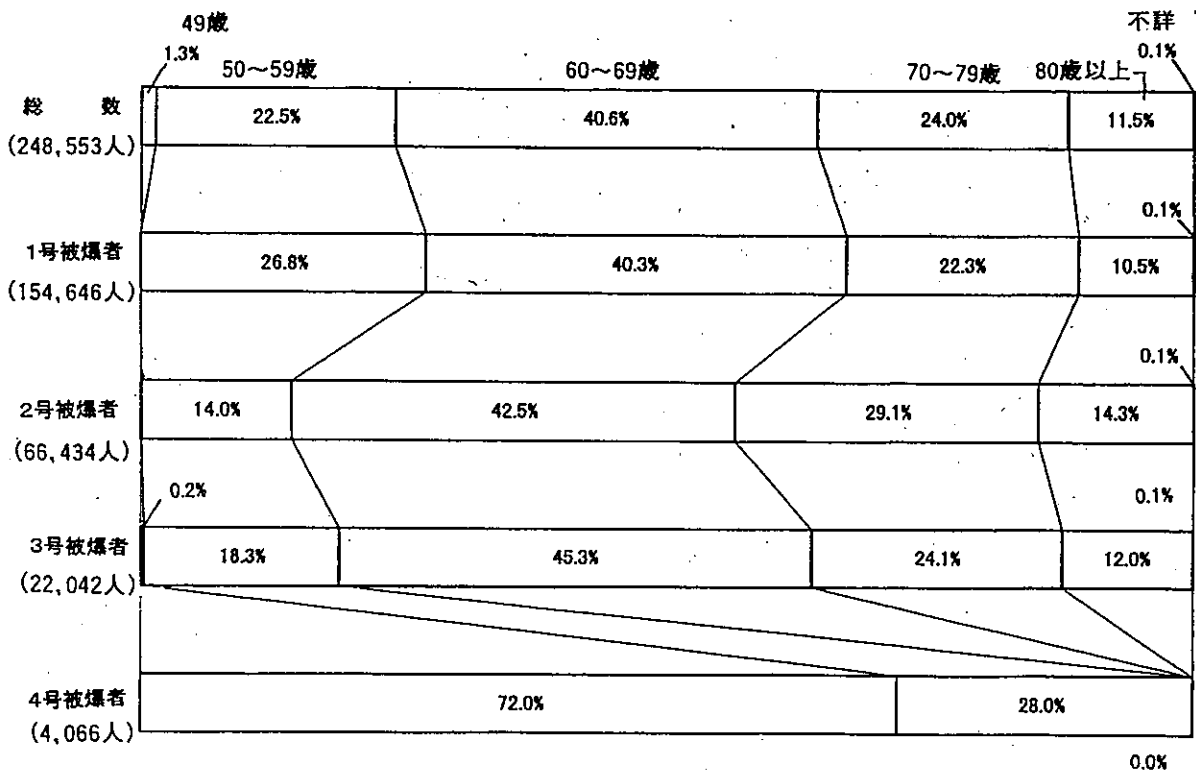
※被爆地不詳は除く

図 3-5 年齢階級別、被爆区分別被爆者の割合



※年齢不詳は除く

図 3-6 被爆区分別、年齢階級別被爆者の割合



※号別不詳は除く

図 3-7 1号被爆者の被爆距離の割合

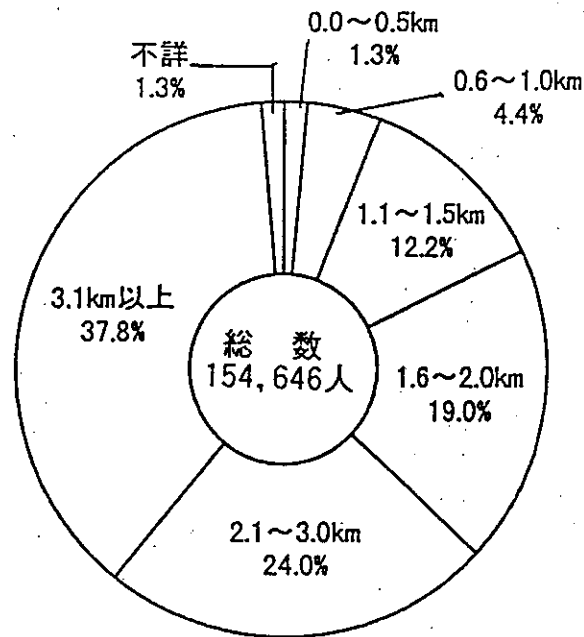
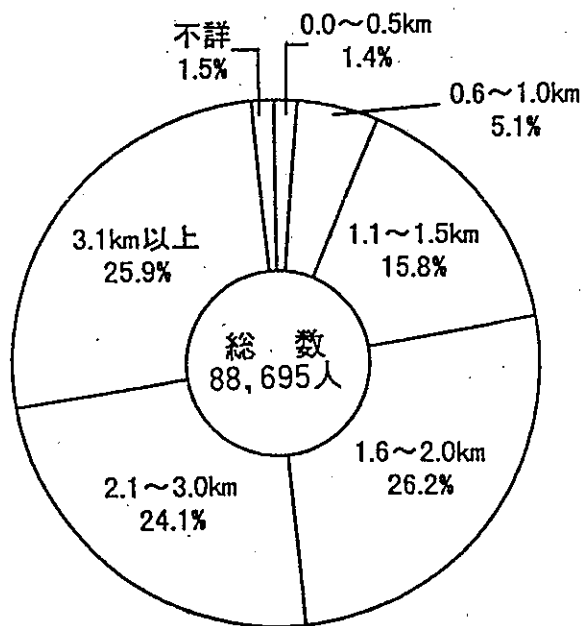
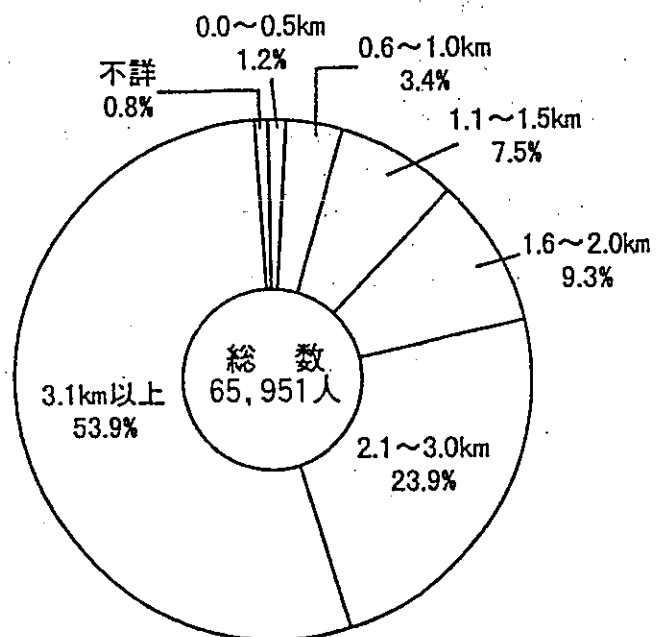


図 3-8 1号被爆者の被爆距離の割合 (被爆地別)

(広島被爆)



(長崎被爆)



4 世帯の状況

被爆者の世帯数は、218,935世帯であるが、世帯人員が判明している世帯数は218,150世帯である。世帯人員の構成割合についてみると2人世帯(37.2%)がもっとも多く、ついで1人世帯(19.6%) 3人世帯(17.8%)等の順となっている(図4-1)。60年度調査と比べて2人世帯(9.3%増)と1人世帯(8%増)は増えているが、その他の世帯については減少となっている。また1人世帯の被爆者の年齢階級別内訳は表4のとおりであり、60歳以上の者が37,091人で1人世帯の者の86.5%を占めている。平均世帯人員数は2.70人で、50年度調査3.52人、60年度調査3.24人と比べ次第に減少している。因みに平成7年国勢調査による一般世帯の平均人員数は2.84人である。

また、同一世帯内において被爆者健康手帳を所持している者が2人以上いる世帯数は31,663世帯(14.5%)で、本人以外1人28,817世帯(13.2%)、2人2,618世帯(1.2%)、3人196世帯(1.2%)、4人24世帯(0.1%)、等となっている(図4-2)。また、平均世帯内被爆者数は1.16人であり、50年度調査1.26人、60年度調査1.19人と比べ、次第に減少している。

また、同居の有無について見ると、被爆者の205,392人(82.6%)が配偶者等と同居しており、その続柄の種別は配偶者が158,456人(77.2%)、子供が105,397人(51.3%)、子供の配偶者が35,564人(17.3%)、孫が36,340人(17.7%)、父母が11,888人(5.8%)(図4-3、4-4)などとなっている。

表4 1人世帯の性・年齢階級別の状況

(単位；世帯)

	総 数	4 9 歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
総 数	42,871	235	5,503	15,150	14,130	7,811
男	10,279	115	2,159	4,170	2,243	1,584
女	32,574	120	3,344	10,980	11,887	6,227

※「総数」には、年齢不詳及び性別不詳を含む

図 4 - 1 世帯人員数の構成割合

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	不詳
昭和60年度 実態調査	11.6%	27.9%	18.7%	17.4%	10.2%	10.5%	3.7%
平成7年度 実態調査	19.6%	37.2%	17.8%	10.4%	6.3%	8.3%	0.4%

(参考)
平成7年国民
生活基礎調査
(全世帯)

22.6%	23.5%	18.6%	19.6%	9.3%	6.4%
-------	-------	-------	-------	------	------

※平成7年国民生活基礎調査は、全世帯に占める割合である。

図 4 - 2 世帯内被爆者人員数の構成割合

	1人	2人	3人	4人	5人以上
60年度	80.4%	17.2%	2.2%	0.2%	0.0%
7年度	85.5%	13.2%	1.2%	0.1%	0.0%

図 4 - 3 同居人の有無

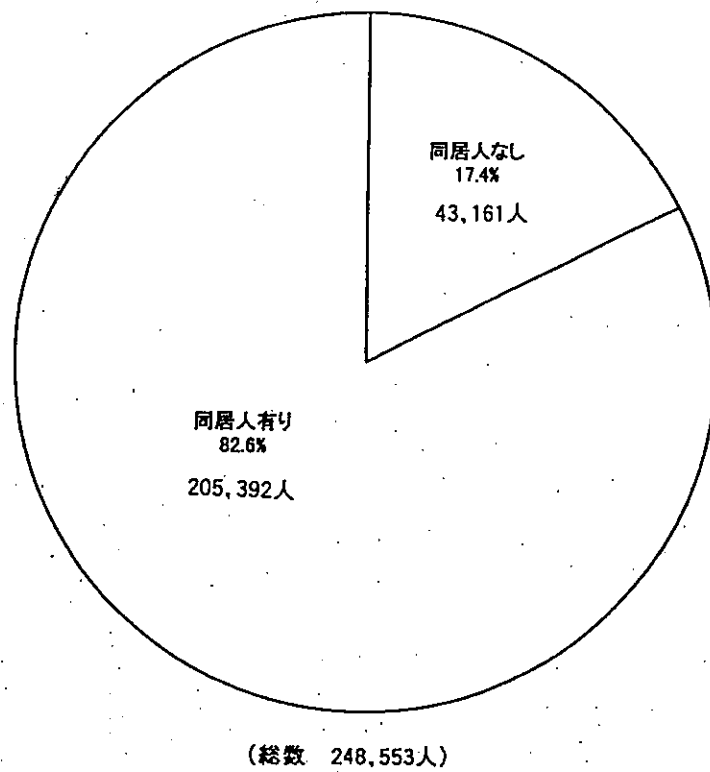
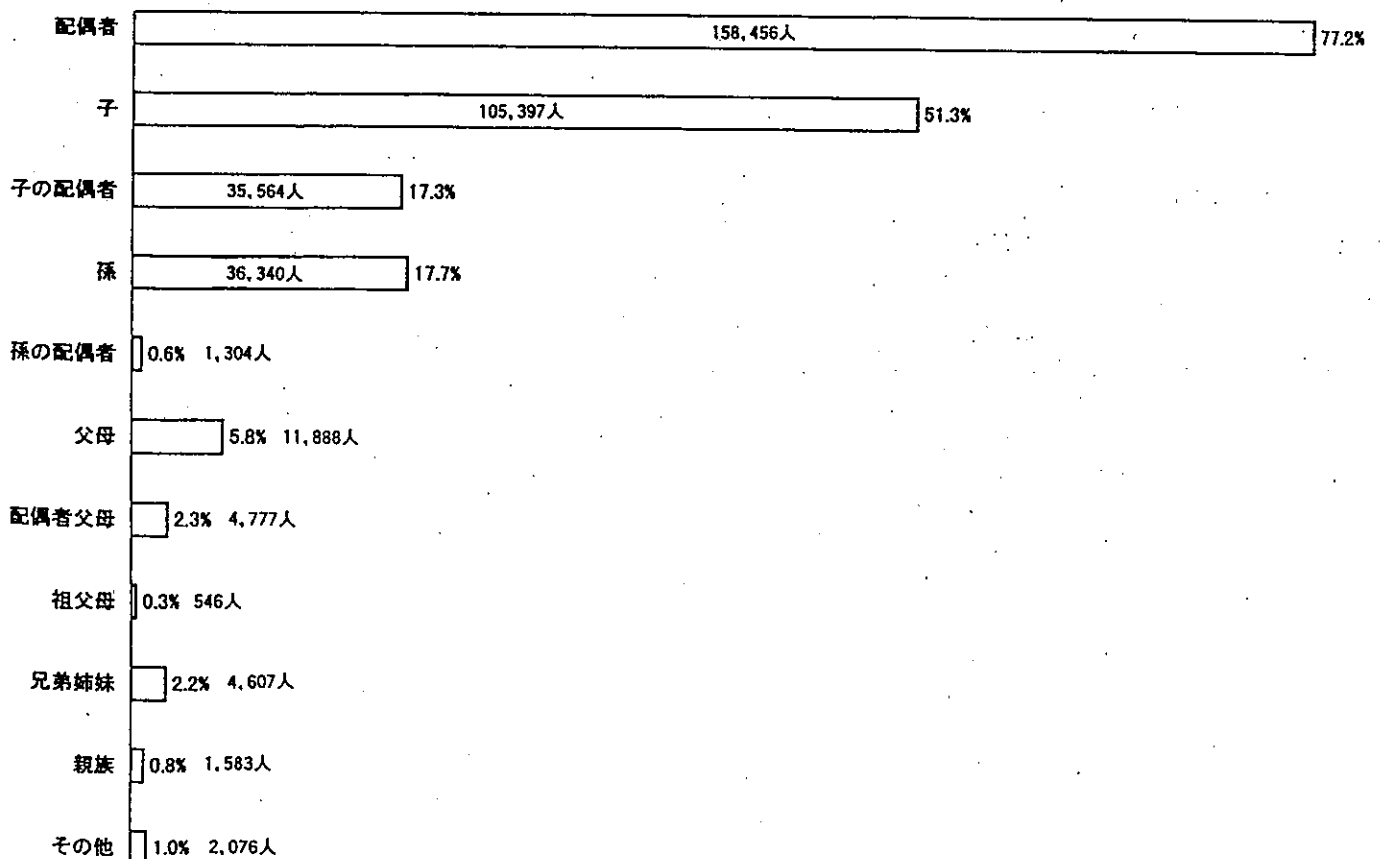


図 4 - 4 同居人の続柄

(総数；205,392人)



※複数回答有り

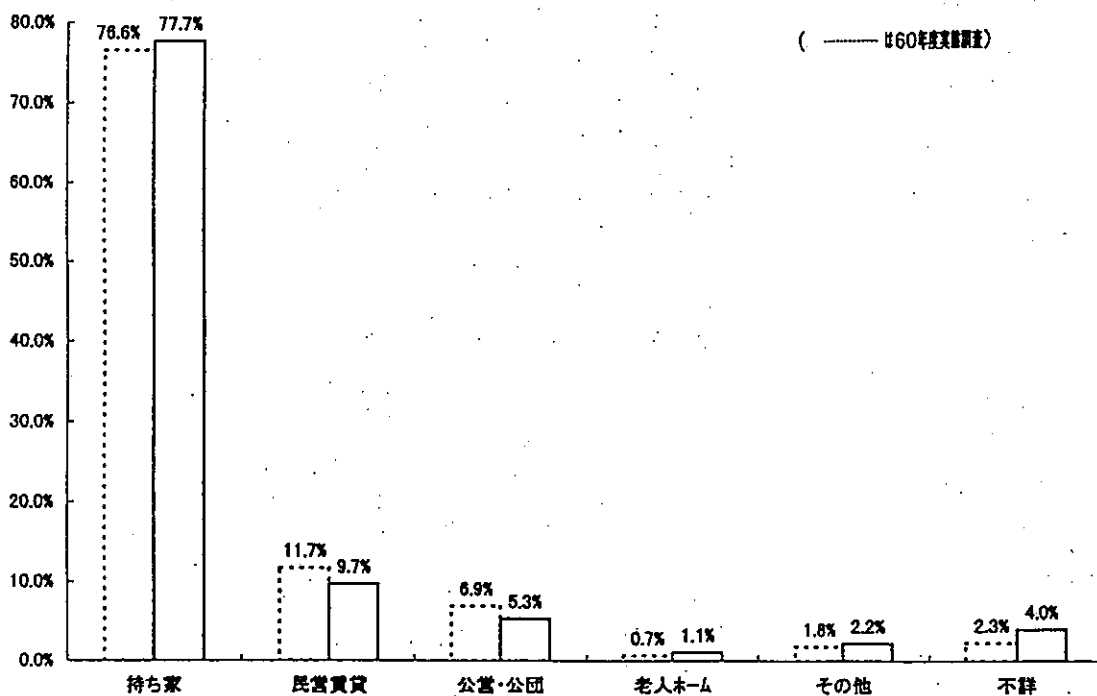
5 住居の状況

被爆者が居住している住宅を種類別にみると、持ち家が77.7%で最も多く、次いで民営の借家・借間9.7%、公営公団住宅等5.3%、老人ホーム1.1%等の順となっており、60年度調査と比べても大きな変化は見られない（図5）。

年齢階級別の住居の状況は表5のとおりである。持ち家の割合をみると60～69歳（80.8%）が最も多く、70～79歳（79.0%）、50～59歳（73.4%）、80歳以上（73.3%）の順で49歳（72.6%）が最も低い割合を示している。

また、老人ホーム（原爆養護ホームを含む。）に入居している者は2,832人（男671人、女2,160人、不詳1人）である。

図5 住宅の種類別住居の状況



注) 昭和60年度調査の「公団・公営」分は、公営の賃貸住宅（3.9%）、公団・公社の賃貸住宅（0.9%）及び給与住宅（2.1%）の合計である。

表5 年齢階級別住居の状況

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
持ち家	77.7%	72.6%	73.4%	80.8%	79.0%	73.3%	73.3%
民営賃貸	9.7%	13.4%	13.7%	8.9%	8.4%	7.1%	8.7%
公営・公団	5.3%	9.3%	7.9%	4.8%	4.5%	3.4%	4.0%
老人ホーム	1.1%	0.1%	0.1%	0.3%	1.2%	6.3%	0.7%
その他	2.2%	2.4%	2.1%	1.6%	2.0%	4.4%	1.3%
不詳	4.0%	2.2%	2.8%	3.6%	4.9%	5.5%	12.0%

6 収入を伴う仕事の有無

平成7年9月中に少しでも収入を伴う仕事（自営業、常勤者及び臨時的仕事）をした被爆者は89,551人でその割合は、36.0%（男51.7%、女24.7%）であり、60年度調査（48.6%）と比較すると12.6%下廻っている（図6-1）。なお、参考までに7年国勢調査との比較では、被爆者の方が「仕事あり」が少ない（図6-2）。

就業状態等からみると常勤者（17.0%）が最も多く、次いで自営業主（13.0%）、臨時的仕事（6.0%）の順となっている。仕事をした者の割合を性別年齢階級別にみると、高齢になるに従い割合が低下しており、いずれも男女の差が大きい。

また、60年度調査と比較すると回答者数の76%を占める60歳以上において低くなっている（図6-3）。

仕事をしなかった者138,117人（55.6%）について年齢構成をみると図6-4のとおりであり、60歳以上の者が88.2%（男94.9%、女85.1%）であり、昭和60年度調査と比較すると23.1%と増えている。仕事をしなかった者の手当受給状況等を見ると89.9%（男89.7%、女90.0%）が何らかの手当を受け（図6-5）、80.6%（男91.6%、女75.3%）の者が何らかの年金を受けている（図6-6）。

また、仕事をしなかった者の受療の状況をみると入院が8.5%、通院が77.1%、在宅医療が3.0%、老人保健施設等入所が0.9%となっている（図6-7）

図 6 - 1 収入を伴う仕事の有無

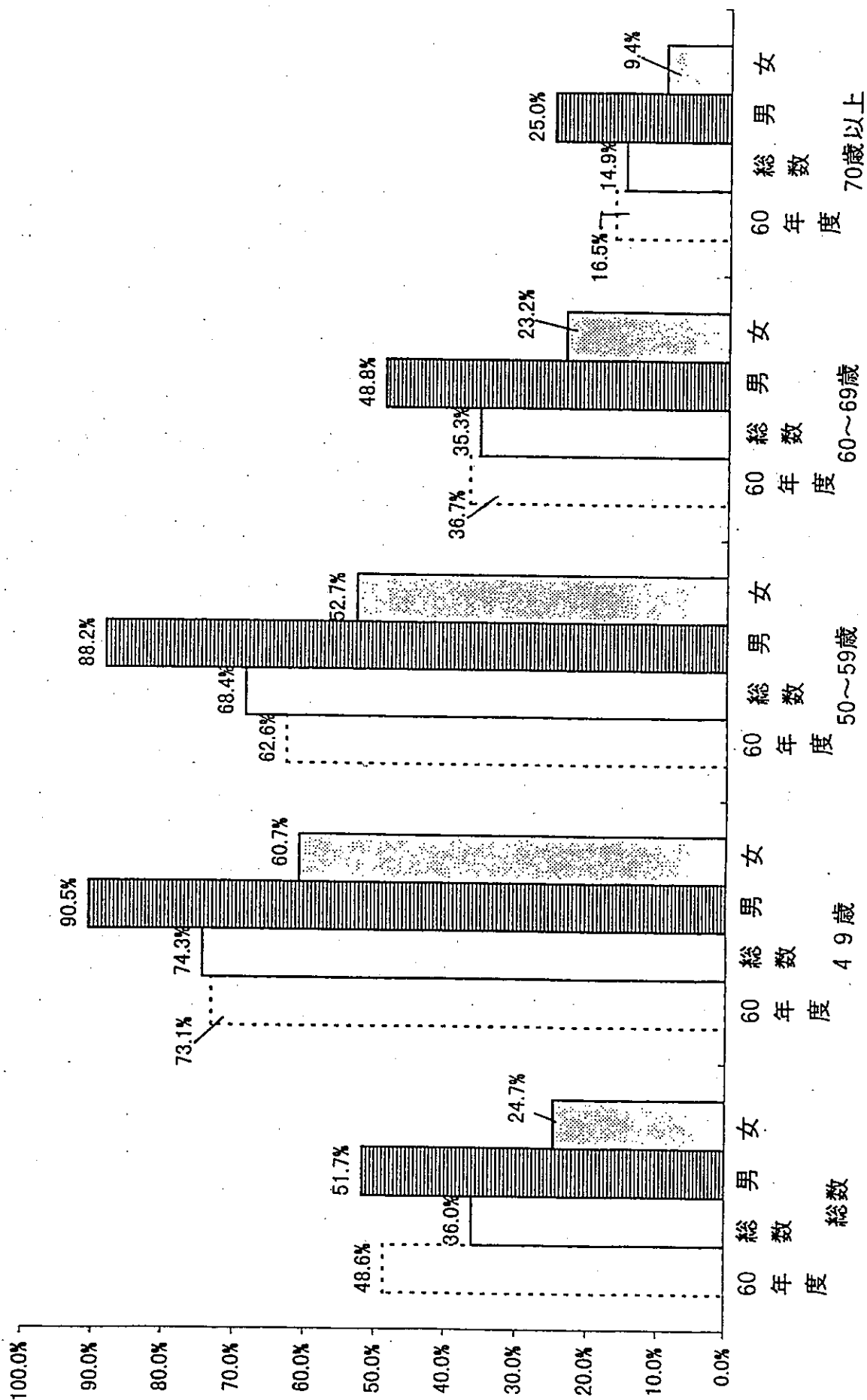
	自営業	常勤者	臨時的仕事	仕事無し	不詳
昭和60年度（総数）	15.9%	24.9%	7.8%	49.0%	2.4%
平成7年度（総数）	13.0%	17.0%	6.0%	55.6%	8.4%
平成7年度（男）	17.9%	27.6%	6.2%	42.2%	6.1%
平成7年度（女）	9.5%	9.4%	5.8%	65.3%	10.0%

図 6 - 2 7 年国勢調査との比較

	仕事あり	仕事無し	不詳
実態調査	36.0%	55.6%	8.4%
平成7年 国勢調査	50.5%	49.0%	0.5%

※国勢調査では49歳以上における就業割合を記載

図 6-3 仕事をした者の性別年齢階級別状況



※「49歳」の欄における60年度分は49歳以下の割合である。

図 6-4 仕事をしなかった者の年齢別構成割合

	49歳以下	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
60年度総数	10.7%	24.2%	29.2%	24.0%	11.9%
7年度総数	11.2%	41.7%	29.8%	16.7%	
60年度男	4.8%	17.1%	28.6%	32.5%	17.2%
7年度男	4.9%	49.3%	28.7%	16.9%	
60年度女	13.0%	26.9%	29.4%	20.8%	9.9%
7年度女	14.2%	38.2%	30.2%	16.7%	

図 6-5 仕事をしなかった者の手当受給状況

	受けている	受けていない	不詳
60年度総数	76.1%	16.7%	7.2%
7年度総数	89.9%	9.3%	
60年度男	78.8%	13.5%	7.7%
7年度男	89.7%	9.7%	
60年度女	75.1%	17.9%	7.0%
7年度女	90.0%	9.2%	

図 6-6 仕事をしなかった者の年金受給状況

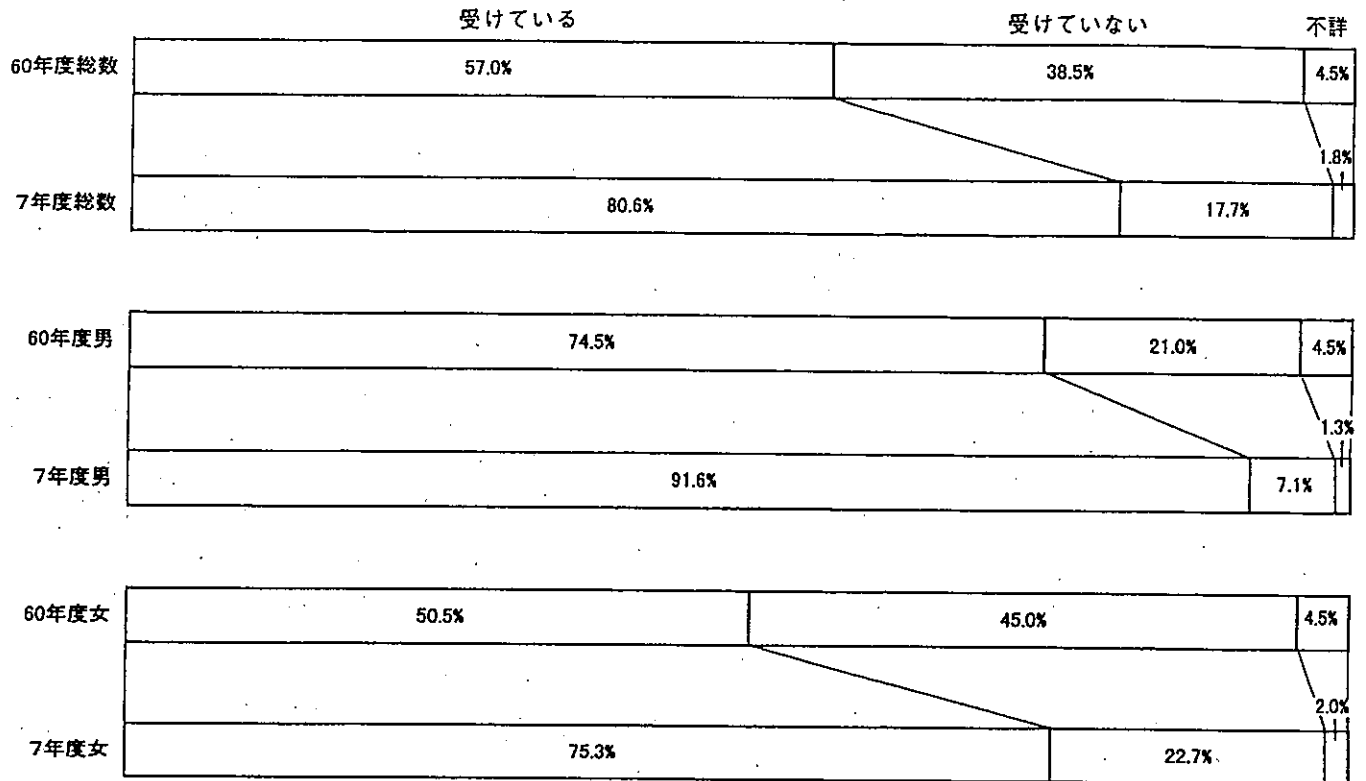
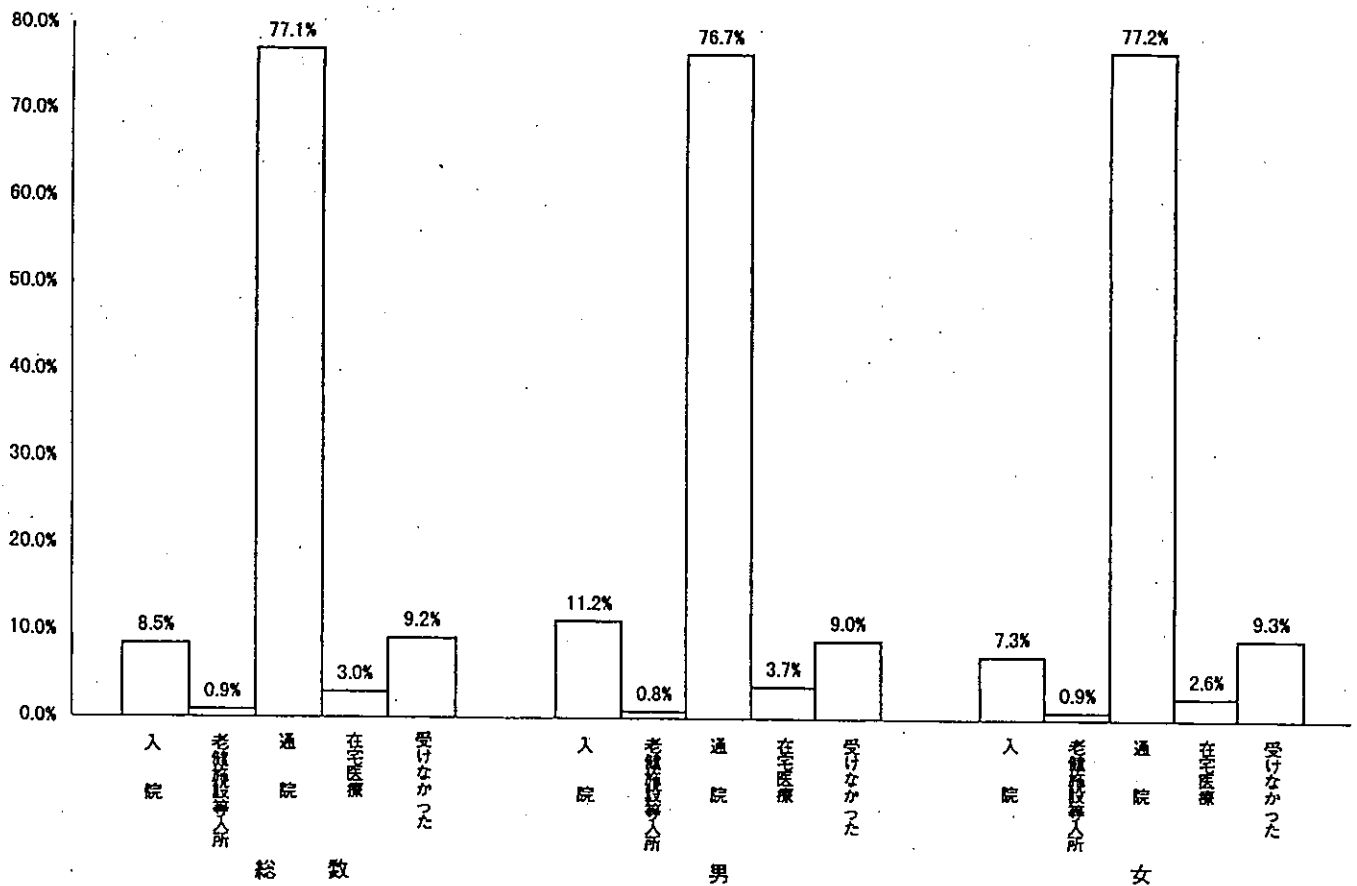


図 6-7 仕事をしなかった者の受療状況



7 所得の状況

平成6年の1年間における被爆者世帯の税込み所得額は、不詳（13.3%）を除けば100万～300万円の世帯（27.2%）が最も多く、次いで300万～500万円（23.0%）、500～1000万円（19.6%）等の順となっており、60年度調査においても同様の傾向であるが、300万円以上の世帯の割合が高くなっている（図7-1）。

被爆者の所得状況について年齢階級別にみると図7-2のとおりであり、100万円未満、100万円～300万円の所得階層の割合は、高齢になるに従い高くなる傾向となっている。

図7-1 被爆者世帯の所得状況

	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～1000万円未満	1000万円以上	不詳
60年度調査	12.1%	29.4%	20.6%	18.4%	2.9%	16.6%
7年度調査	10.2%	27.2%	23.0%	19.6%	6.7%	13.3%

図 7 - 2 年齢階級別所得の状況

	100万未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000万円以上	不詳
総数	9.9%	26.7%	23.5%	20.2%	6.9%	12.8%
80歳以上	16.2%	25.6%	17.5%	15.5%	5.2%	20.0%
70~79歳	12.7%	30.5%	21.1%	13.7%	3.6%	18.4%
60~69歳	8.8%	31.0%	27.9%	16.5%	4.8%	11.0%
50~59歳	6.0%	16.3%	21.6%	34.7%	14.4%	7.0%
49歳	4.8%	12.7%	18.9%	43.0%	15.0%	5.5%

8 手当の受給状況

平成7年9月現在、被爆者援護法による手当を受けている割合は、83.4%（男80.6%、女85.5%）であり60年度調査（67.8%）と比べて受給率が15.6%上がっている（図8-1）。

これを手当の種類別にみると、最も多いのは健康管理手当（73.8%）であり、次いで保健手当＜一般分＞（4.3%）、医療特別手当（2.4%）等の順となっており、保健手当＜一般分＞を除き60年度より受給率が上昇ないし横ばいの傾向となっている（図8-2）。また、年齢階級別手当の受給状況は、年齢階級が高くなるにつれて受給率が高くなっている（図8-3）。

なお、各都道府県別に各種手当を受けている被爆者の割合をみると表8のとおりである。

また、手当の併給状況をみると、各種手当を受給している被爆者のうち、1,947人（0.9%）が介護手当及び家族介護手当を受給しており、原子爆弾小頭症手当受給者24人（0.0%）は、すべて医療特別手当を受給している（図8-4、8-5）。

次に手当受給者と手当を受けていない者との受療状況及び寝たきり状況を見てみると、手当受給者の83.7%の者が受療（在宅医療、老人保健施設等入所も含む）し（図8-6）、2.2%の者が寝たきり状況となっているが（図8-7）、手当を受けていない者の受療57.2%、寝たきり0.7%と、手当受給者の方が高くなっている。

なお平成6年に施行された「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」により、これまで手当の支給要件とされてきた所得制限が撤廃されたため、60年度調査の数値とは単純に比較できない。

図 8 - 1 男女別手当受給状況

60年度総数	受けている	67.8%	受けていない	24.5%	不詳	7.7%
						3.4%
7年度総数		83.4%		13.2%		
60年度 男		64.3%		28.2%		7.5%
						3.1%
7年度 男		80.6%		16.3%		
60年度 女		70.5%		21.7%		7.8%
						3.5%
7年度 女		85.5%		11.0%		

図 8 - 2 手当別受給状況

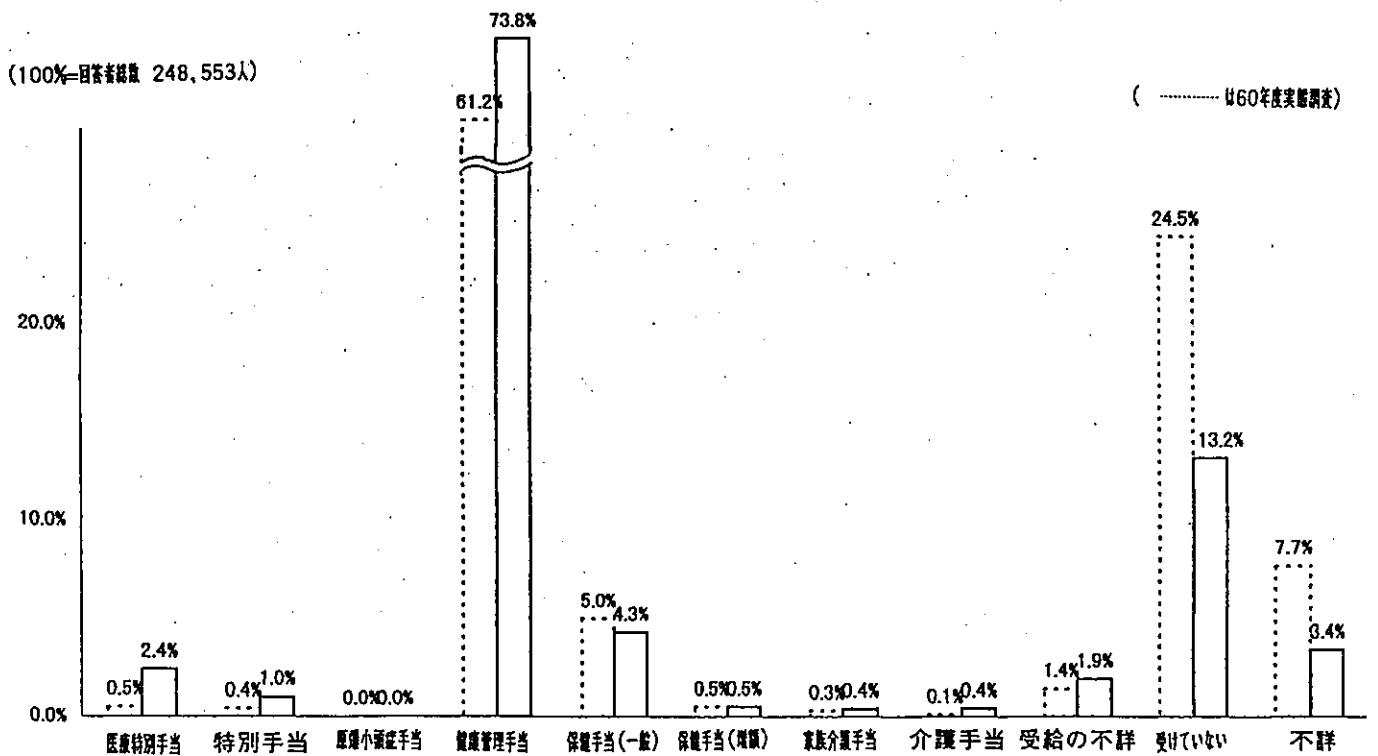


図 8 - 3 年齢階級別手当の受給状況

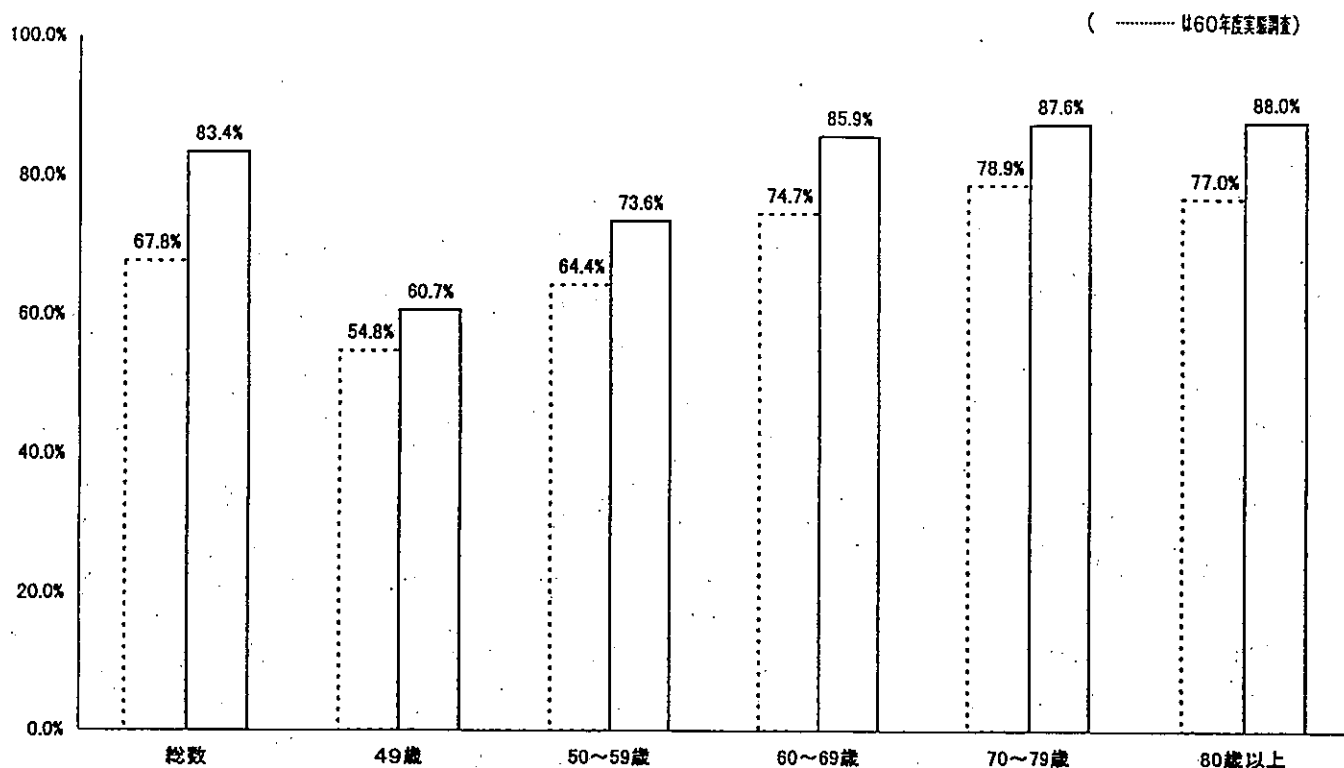


表 8 各都道府県別手当受給率

都道府県(市)	受給率 (%)	都道府県(市)	受給率 (%)
北海道	80.3	京 都	76.0
青 森	74.3	大 阪	83.4
岩 手	77.6	兵 庫	80.8
宮 城	77.9	奈 良	65.5
秋 田	86.1	和歌山	83.4
山 形	84.2	鳥 取	89.0
福 島	67.1	島 根	84.3
茨 城	83.4	岡 山	73.9
栃 木	62.6	広 島	82.3
群 馬	86.4	山 口	77.5
埼 玉	68.0	徳 島	93.7
千 葉	67.9	香 川	82.4
東 京	71.9	愛 媛	72.3
神奈川	68.5	高 知	77.6
新 潟	70.8	福 岡	82.3
富 山	73.8	佐 賀	85.7
石 川	83.1	長 崎	92.2
福 井	85.5	熊 本	72.4
山 梨	75.9	大 分	71.6
長 野	71.2	宮 崎	84.7
岐 阜	68.1	鹿 児 島	92.4
静 岡	79.3	沖 縄	74.2
愛 知	65.7	広 島 市	82.4
三 重	79.5	長 崎 市	90.7
滋 賀	65.3	全 国	83.4

図 8-4 家族介護手当との併給状況

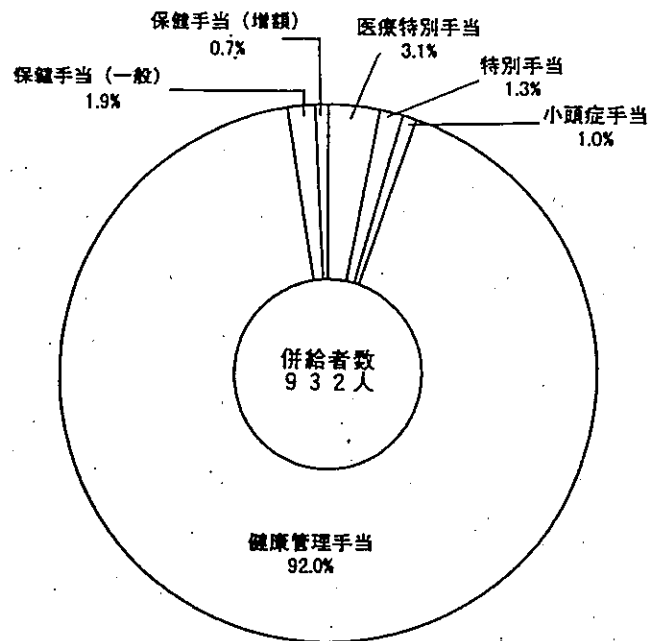


図 8-5 介護手当との併給状況

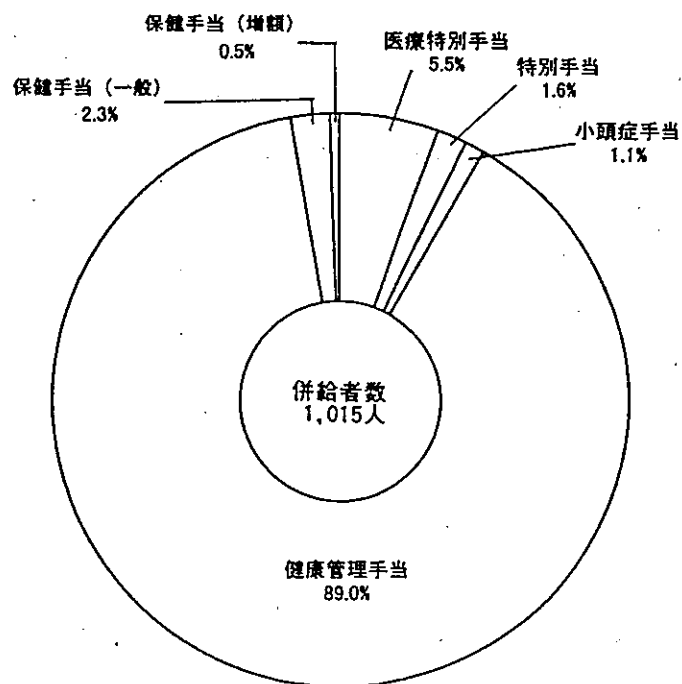
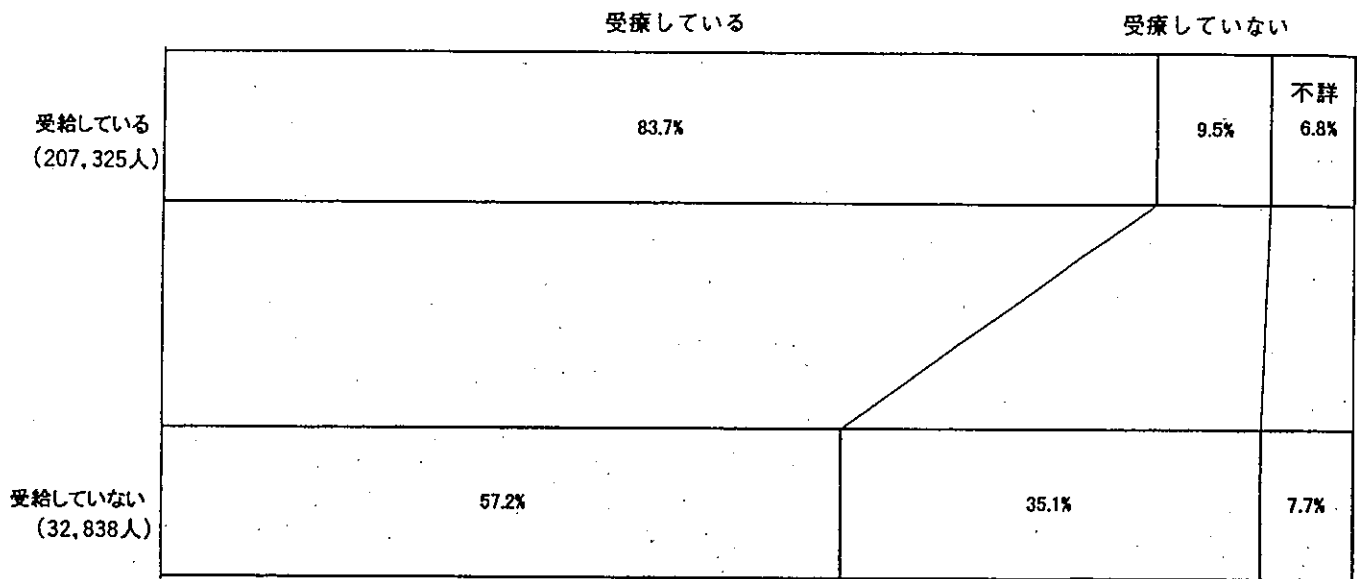
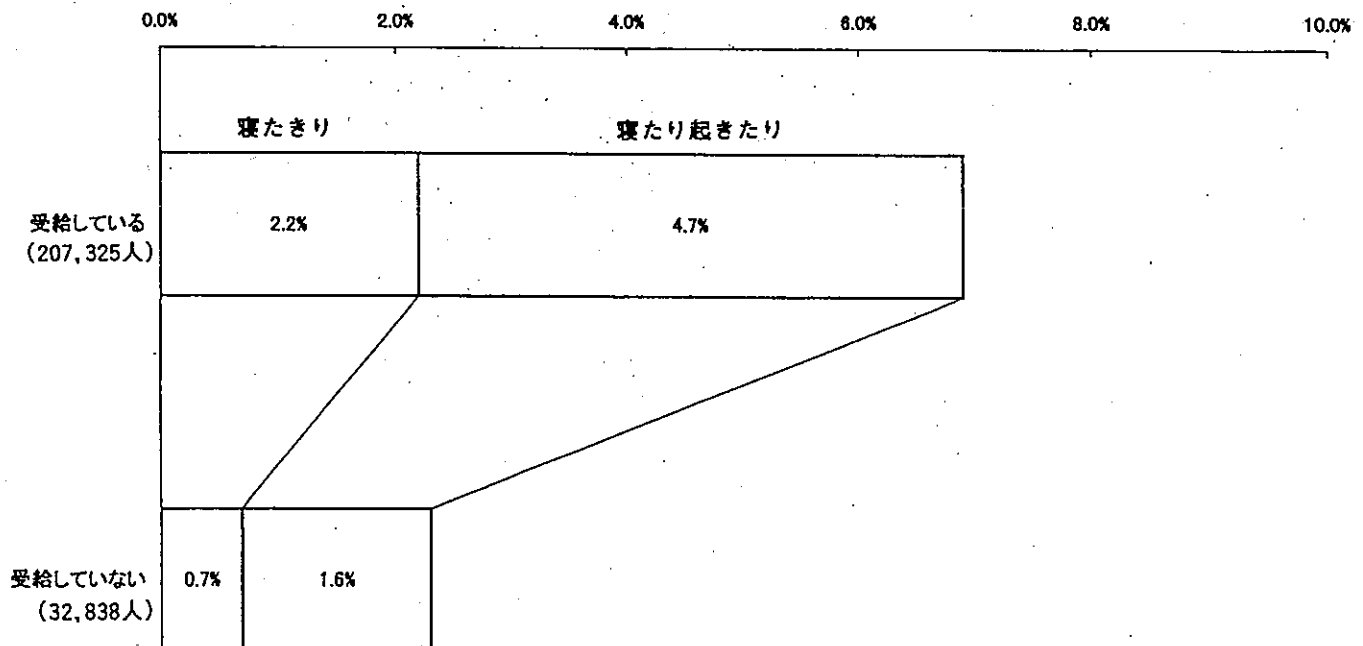


図 8-6 手当受給者の受療状況



※手当受給不詳は除く

図 8-7 手当受給者の寝たきり状況



※手当受給不詳は除く

9 生活保護の状況

生活保護法による扶助を受けていると回答した被爆者世帯は、3,121世帯である。生活保護を受給している者の割合は1.4%（50年度調査1.7%、60年度調査1.9%）である（図9-1）。ちなみに平成7年度の全国の平均保護率は0.7%（平成7年度社会福祉行政業務報告より）となっている。

また、被爆区分別の受給状況についてみると図9-2のとおりであり、1号被爆者の受給割合が高くなっている。

図9-1 被爆者の生活保護受給状況

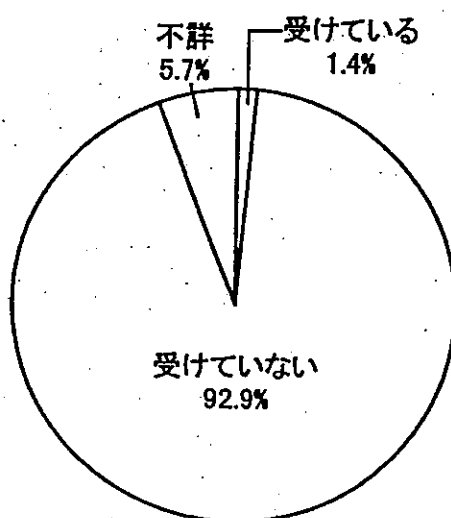
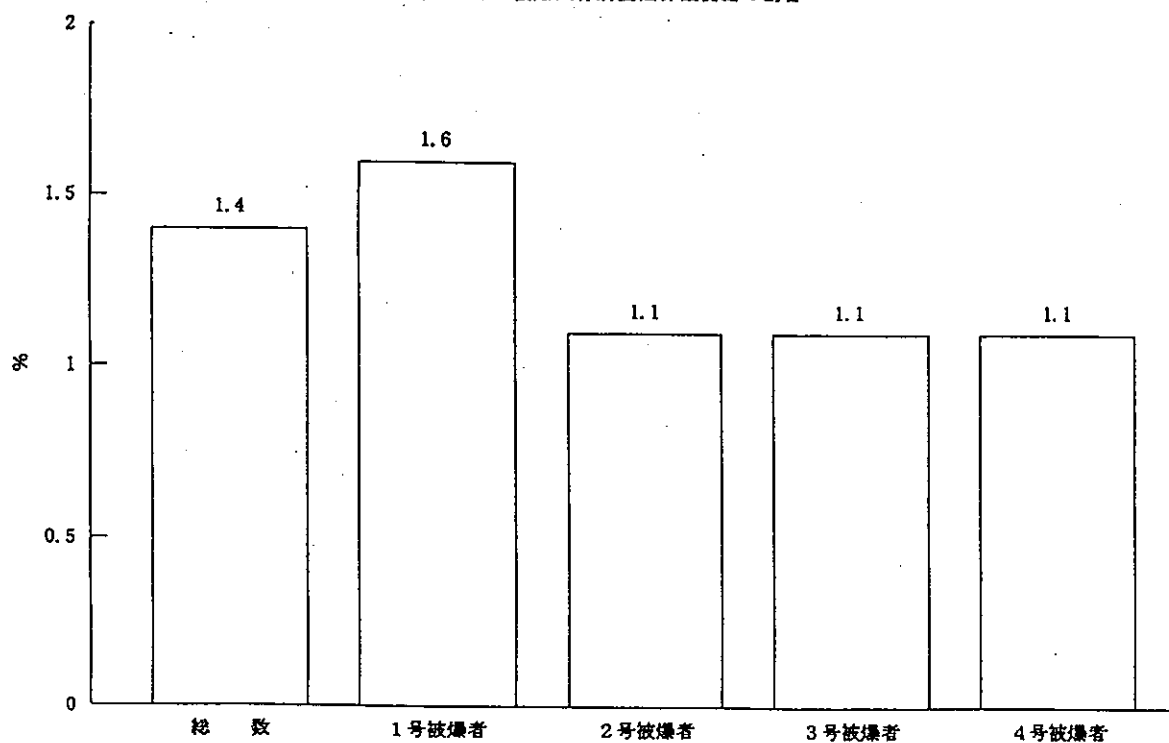


図9-2 被爆区分別生活保護受給の割合



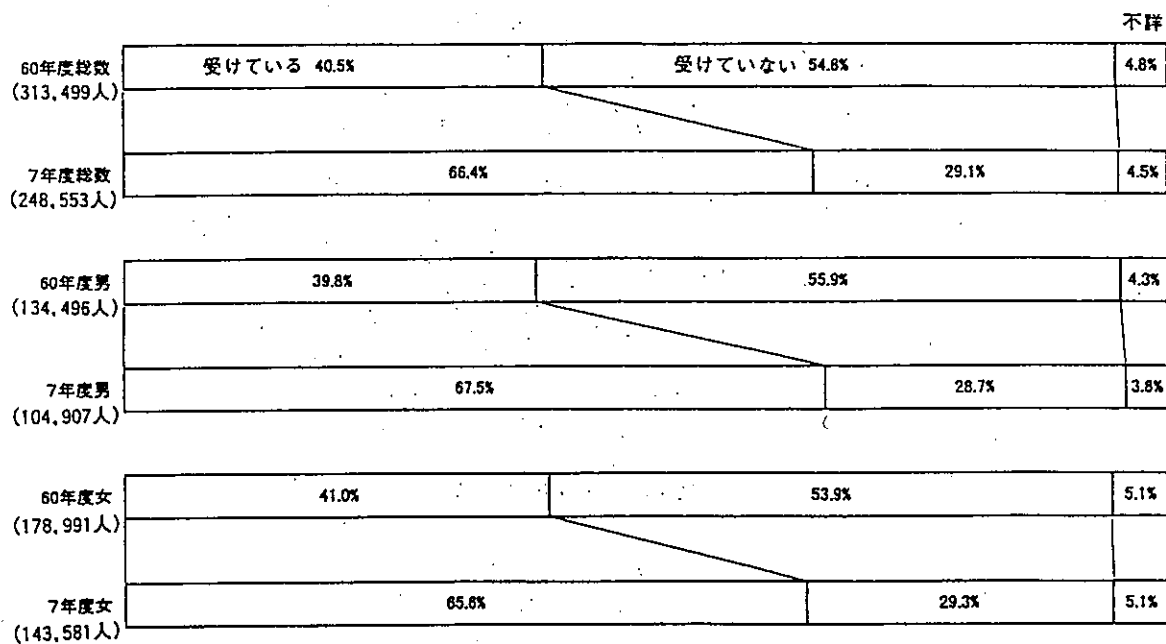
10 公的年金・恩給の受給状況

公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）・恩給を受給している者は164,998人で、その割合は66.4%（男67.5%、女65.6%）であり、60年度調査（40.5%）と比べ25.9%増えている（図10）。

年齢階級別にみると、80歳以上（90.0%）が最も高く、次いで70～79歳（89.9%）、60～69歳（80.7%）の順となっている（表10-1）。

なお、参考までに平成7年国民生活基礎調査の年齢階級別受給状況は図10-2のとおりである。

図10 公的年金・恩給の受給割合



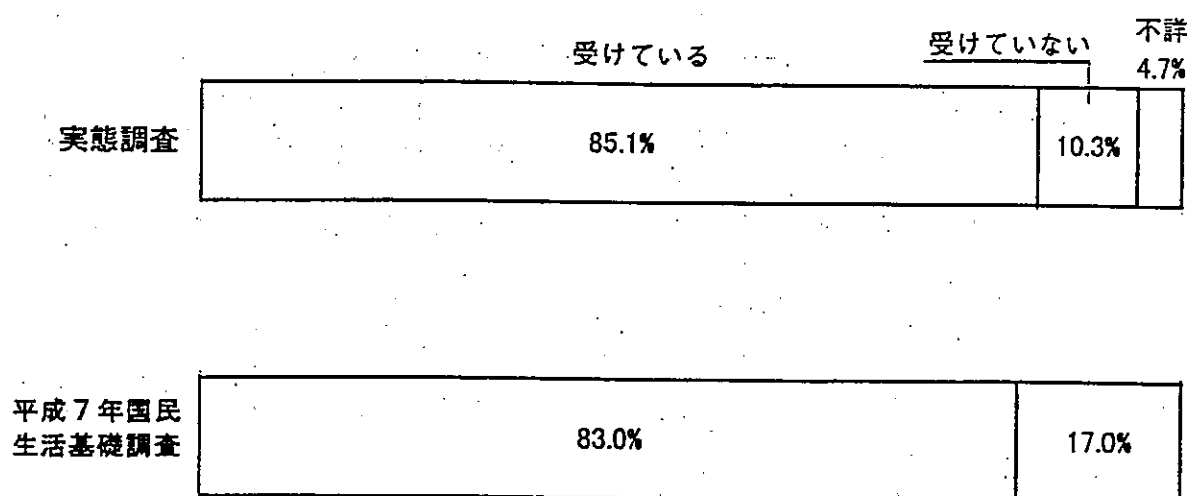
※ 60年度、7年度調査の総数には、性別不詳を含む

表10-1 公的年金・恩給の年齢階級別受給状況

(単位；％)

	総 数	4 9 歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
受けている	66.4	3.8	7.1	80.7	89.9	90.0
受けていない	29.1	93.3	88.6	15.3	4.9	4.0
不 詳	4.5	2.9	4.3	4.0	5.2	6.0

図10-2 公的年金・恩給の受給比較（60歳以上）

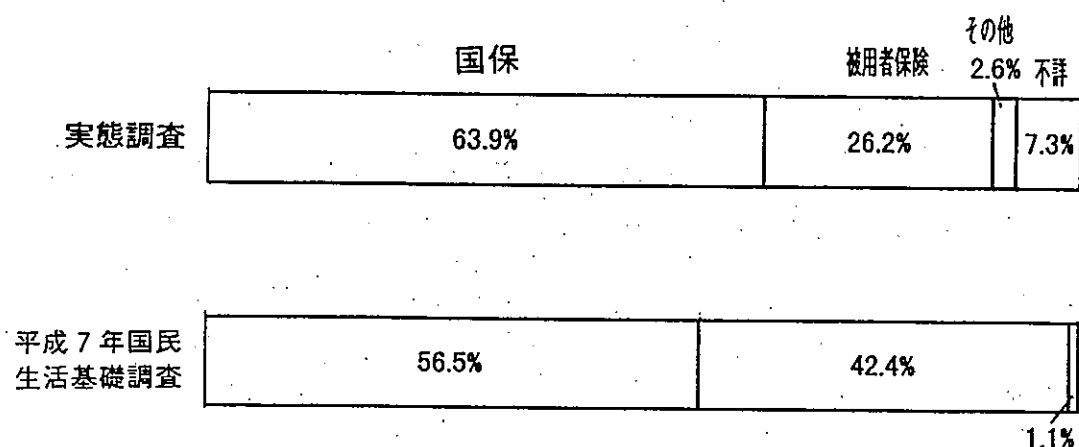


1 1 医療保険の加入状況

医療保険の加入状況を種類別にみると、国民健康保険（退職者医療制度を含む）が63.9%と最も多く、ついで被用者保険（健康保険・共済等）が26.2%となっており、60年度調査における国民健康保険加入状況（54.3%）と比べると、9.6%加入率が上がっている。

なお、参考までに医療保険の加入状況を平成7年国民生活基礎調査と比較すると、被爆者の方が国民健康保険の加入者が多い（図11）。

図11 医療保険の加入状況比較



注）平成7年国民生活基礎調査の割合は、50歳以上に限定してのものである。

1 2 身体障害者手帳、戦傷病者手帳の所持状況

身体障害者手帳を所持している者は、総数19,370人（男10,348人、女9,015人、不詳7人）である。

全体に占める身体障害者手帳を所持している者の割合は、総数の7.8%（男9.9%、女6.3%、不詳0.0%）であり、60年度調査の総数の6.0%（男8.0%、女4.4%、不詳0.0%）に比較して増加している。

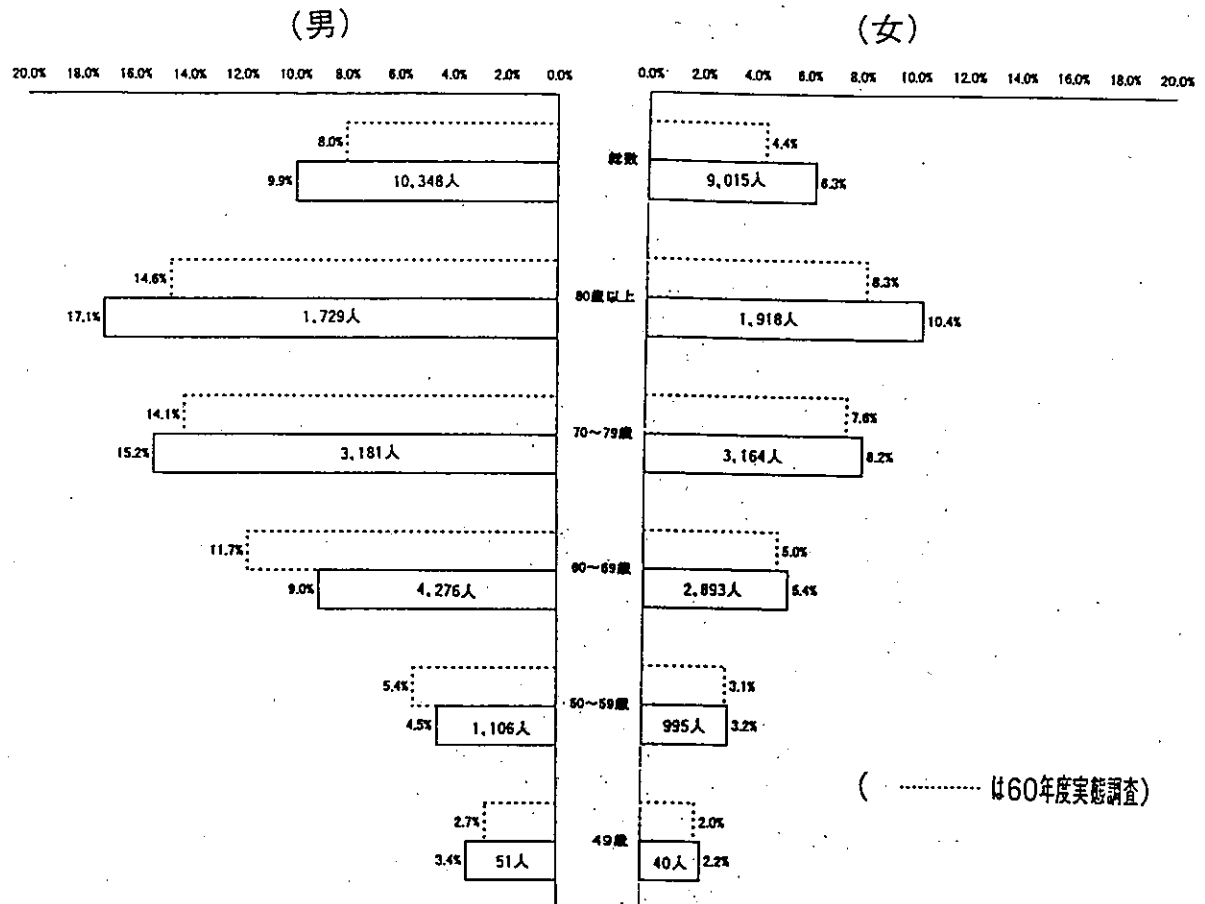
性別、年齢階級別身体障害者手帳の所持者の割合は、図12-1のとおりであり、高齢者ほど高くなっている。

障害の等級別状況の1級の者を見ると、60年度調査14.2%に比べ6.4%増の20.6%（図12-2）となっている。

被爆区分別にみた手帳の所持者は、1号被爆者11,533人（7.5%）、2号被爆者6,038人（9.1%）、3号被爆者1,579人（7.2%）、4号被爆者146人（3.6%）となっている。

また戦傷病者手帳を所持している者は、総数1,097人（男922人、女175人）で、全体に占める割合は、0.4%（男0.9%、女0.1%）であり、60年度調査とはほぼ同様の割合となっている。なお、身体障害者手帳と戦傷病者手帳の両方を所持している者は、446人である。

図12-1 性・年齢階級別身体障害者手帳の所持状況



※％はそれぞれの年齢階級の総数に対する割合である
また、年齢、性別不詳は除く

図12-2 身体障害者手帳所持者の障害等級別状況

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不詳
60年度 (18,663人)	14.2%	16.8%	19.1%	19.1%	14.7%	12.9%	3.2%
7年度 (19,370人)	20.6%	15.3%	19.3%	20.4%	11.5%	10.7%	2.2%

1 3 受療の状況

平成7年10月の1月間における受療内容をみると「入院していた」者は被爆者の6.3%、「病院・診療所へ通院した」者は74.2%、「在宅で医療を受けていた」者は2.3%、「老人保健施設等へ入所していた」者は0.6%、「入院も通院もしなかった」者は12.8%である（表13-1、図13-1）。

参考までに、昭和60年10月2日の1日のみの受療内容を調査した60年度調査の受療率は入院4.2%、通院38.4%となっている。

性別・年齢階級別にみると、男女とも年齢が高くなるにつれ「入院していた」者の割合が増加している。「通院した」者の割合は、男は70～79歳、女は60～69歳が最も高い（図13-2）。

被爆区分別の受療の状況は、図13-3のとおりであり、2号被爆者の受療した割合が最も高いが、4号被爆者を除いた被爆区分別では大きな差はみられない。

1号被爆者の被爆距離別受療の状況は、図13-4のとおりであり、入院は「0.5Km以内」の被爆者の受療の割合が最も高く、通院は「0.6～1.0Km」が最も高くなっているが、全体的に距離別による受療状況では大きな差はみられない。

また、都道府県別の受療の状況は表13-2のとおりとなっている。

本調査と同一の調査方法による全国的な受療状況の調査はないが、因に平成7年国民生活基礎調査の「性・年齢階級別に見た通院者数」及び平成8年患者調査性別・年齢階級別受療の状況（人口10万対）は、表13-3及び表13-4のとおりである。

表13-1 受療の状況

	入院	老健施設等 入所	通院	うち病院		在宅医療	受療しない
				うち病院	うち歯科		
総数	6.3%	0.6%	74.2%	70.7%	16.8%	2.3%	12.8%
男	6.9%	0.4%	72.8%	68.7%	17.7%	2.4%	15.4%
女	5.9%	0.7%	75.3%	72.2%	16.2%	2.2%	11.0%
49歳	2.4%	0.1%	56.5%	51.0%	13.1%	0.5%	34.1%
男	3.0%	0.1%	52.2%	46.8%	12.8%	0.5%	38.1%
女	2.0%	0.1%	60.0%	54.5%	13.3%	0.4%	30.8%
50~59歳	3.2%	-	65.7%	60.5%	15.3%	0.7%	24.5%
男	4.0%	-	61.7%	56.1%	14.9%	0.8%	28.1%
女	2.5%	-	68.9%	64.0%	15.7%	0.6%	21.6%
60~69歳	5.0%	0.1%	78.8%	75.3%	19.2%	1.6%	10.7%
男	6.4%	0.1%	77.2%	73.3%	19.6%	1.8%	12.5%
女	3.8%	0.1%	80.1%	77.0%	18.8%	1.3%	9.1%
70~79歳	7.9%	0.7%	79.3%	76.6%	17.4%	2.6%	7.1%
男	9.1%	0.7%	79.0%	76.0%	18.9%	3.1%	8.5%
女	7.3%	0.7%	79.4%	77.0%	16.6%	2.4%	6.3%
80歳以上	14.3%	3.2%	66.5%	64.7%	10.5%	7.4%	7.2%
男	13.0%	2.5%	69.0%	66.8%	13.6%	7.4%	8.3%
女	15.1%	3.6%	65.2%	63.6%	8.7%	7.5%	6.5%
(再掲)							
65歳以上	8.0%	0.9%	77.1%	74.3%	16.9%	3.1%	8.3%
男	8.5%	0.7%	77.1%	73.8%	18.5%	3.2%	9.9%
女	7.6%	1.1%	77.0%	74.6%	15.9%	3.1%	7.1%

注) 「入院」「老健施設等入所」「通院」及び「在宅医療」間においては、重複回答あり。以下同じ。

図13-1 受療の状況

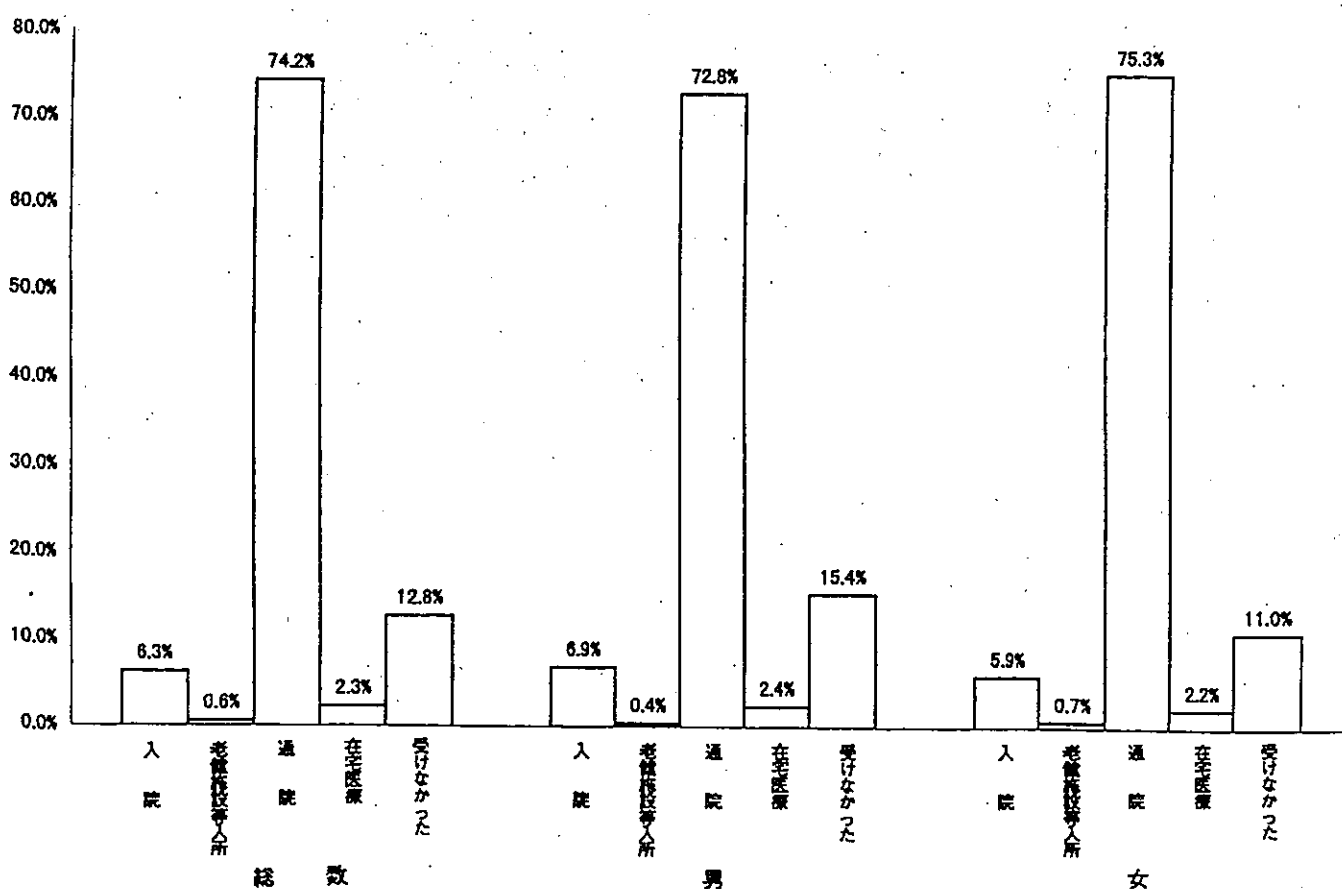
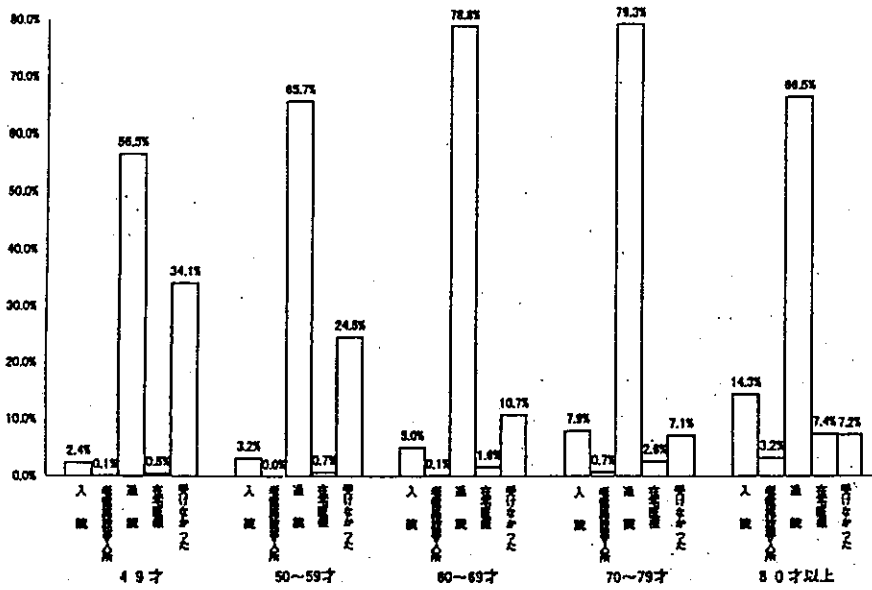
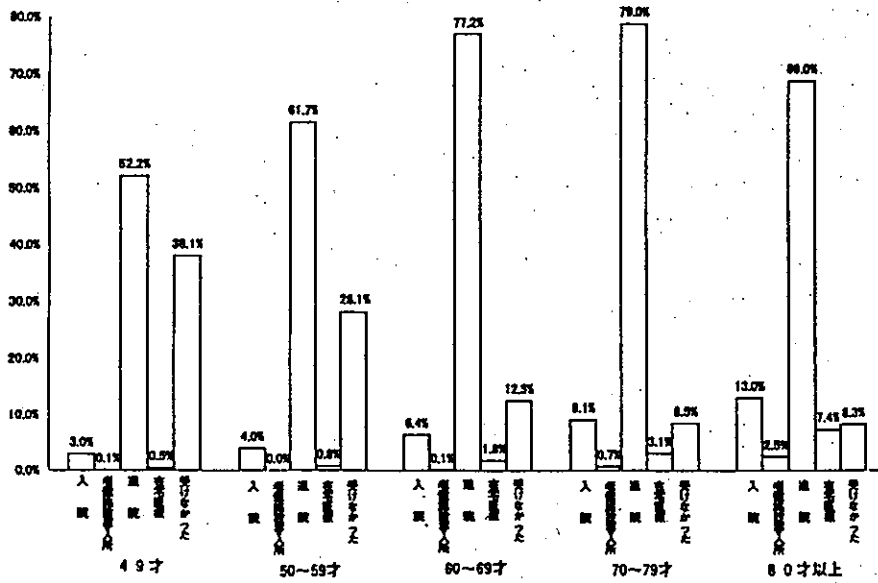


図13-2 性・年齢階級別受療の状況（総数）



(男)



(女)

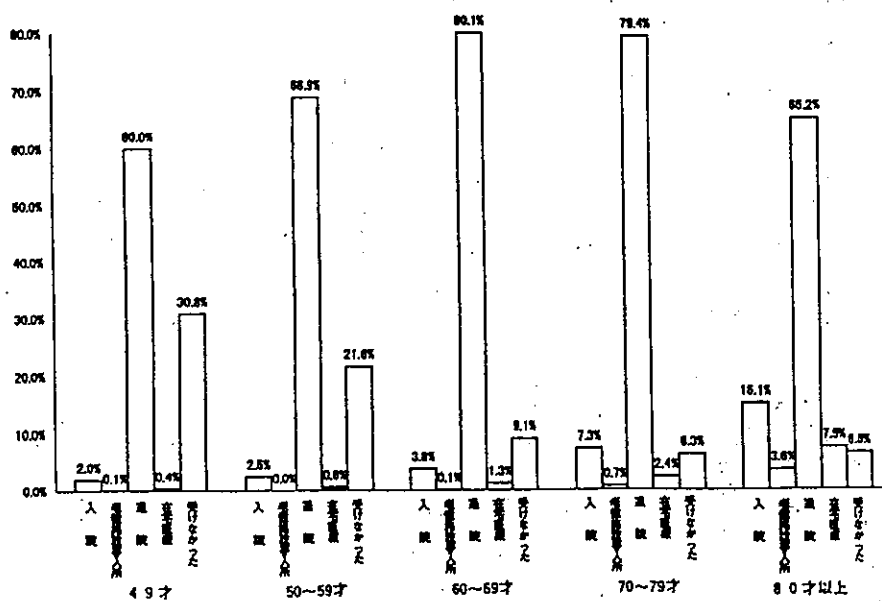


図13-3 被爆区分別受療の状況

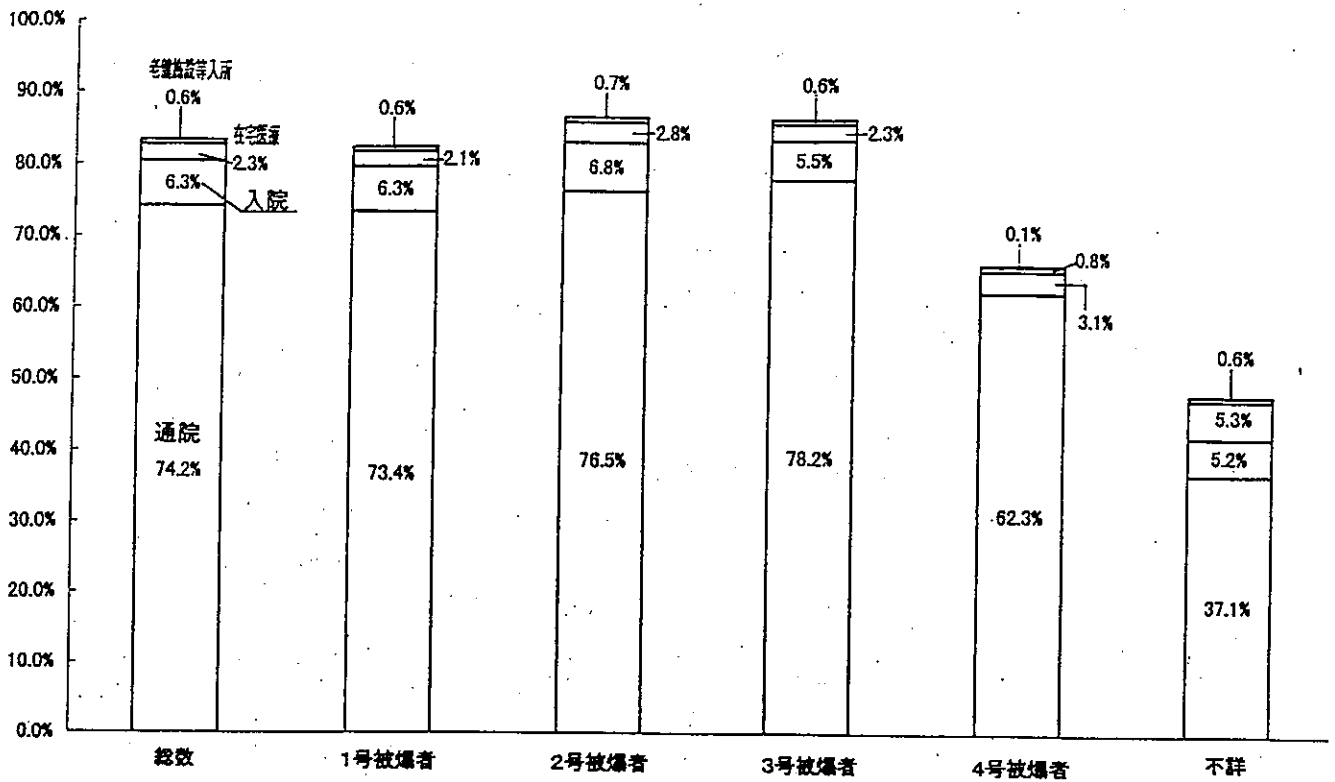


図13-4 被爆距離別受療の状況

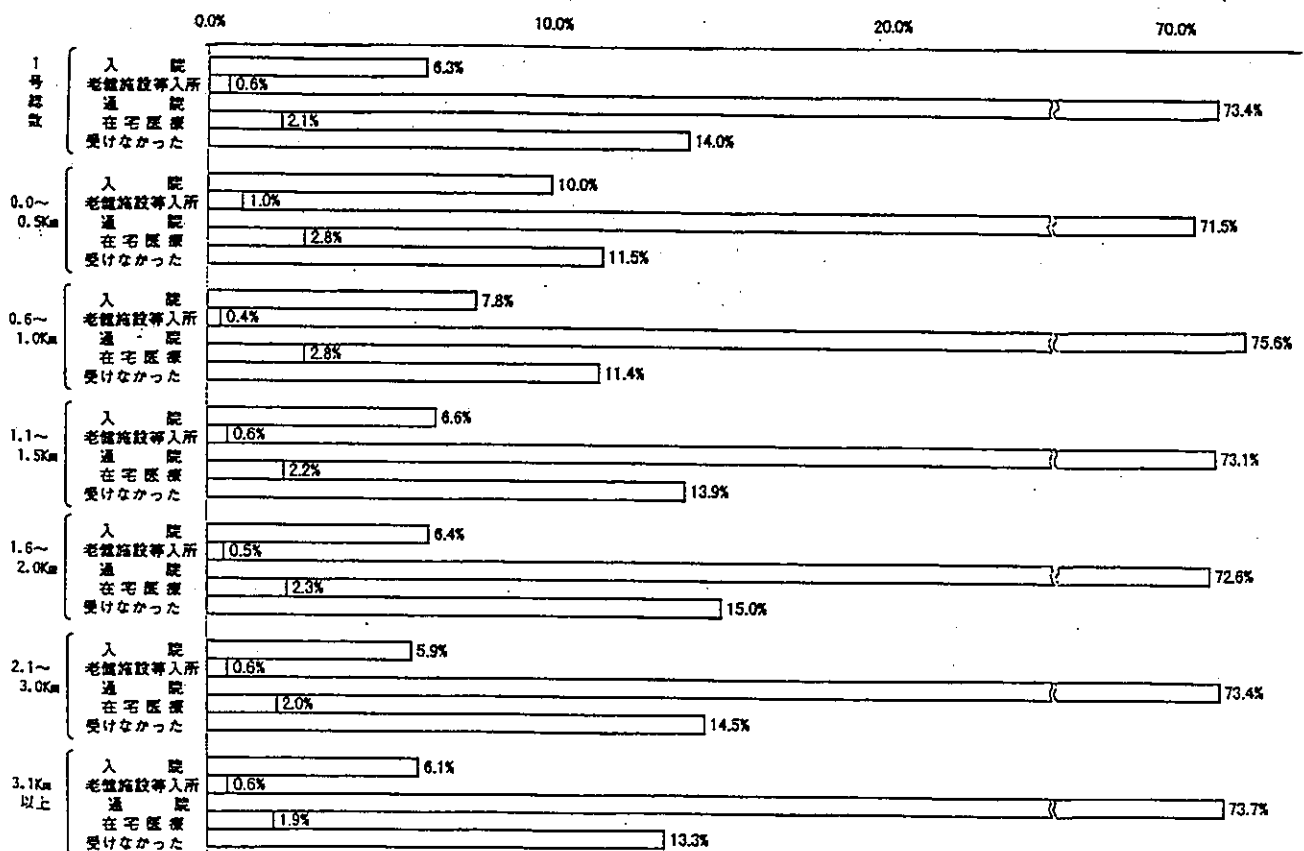


表13-2 都道府県別受療の状況

	人 総数 (A)	人 入院者数 (B)	人 老人施設入所 (C)	人 通院総数 (D)	病・診 通 院	菌・病 通 院	人 在宅医療 (E)	% 受療割合 (B)~(E)/(A)	人 受けなかった
全 国	248,553	15,729	1,456	184,497	175,784	41,752	5,703	83.4	31,920
北海道	492	39	5	371	351	82	6	85.6	64
青森県	105	5	3	79	74	17	3	85.7	15
岩手県	85	3	1	64	61	13	5	85.9	12
宮城県	208	11	2	152	145	44	3	80.8	37
秋田県	72	3	3	48	45	13	1	76.4	13
山形県	76	5	1	61	55	17	1	89.5	9
福島県	155	14	1	105	100	24	2	78.7	33
茨城県	471	27	1	356	326	92	5	82.6	97
栃木県	246	18	3	163	154	41	5	76.8	49
群馬県	206	16	-	152	143	32	8	85.4	27
埼玉県	1,687	75	6	1,188	1,088	330	35	77.3	345
千葉県	2,548	116	6	1,788	1,652	455	38	76.5	520
東京都	6,188	255	21	4,374	4,048	1,205	104	76.8	1,258
神奈川県	4,566	161	12	3,196	2,957	881	55	75.0	1,027
新潟県	209	15	-	151	138	37	5	81.8	36
富山県	107	4	-	87	85	24	3	87.9	14
石川県	118	5	-	89	84	25	3	82.2	22
福井県	152	16	2	108	104	18	3	84.9	30
山梨県	83	5	-	57	53	12	2	77.1	15
長野県	191	11	1	141	134	29	4	82.2	35
岐阜県	561	29	1	415	386	112	9	80.9	98
静岡県	800	41	4	541	501	139	22	76.0	173
愛知県	2,339	121	13	1,623	1,537	417	37	76.7	438
三重県	620	55	7	438	407	115	23	84.4	109
滋賀県	418	26	1	290	269	76	10	78.2	72
京都府	1,242	60	7	909	851	256	25	80.6	224
大阪府	6,731	382	21	4,987	4,711	1,349	126	81.9	1,032
兵庫県	4,426	268	20	3,315	3,140	902	88	83.4	748
奈良県	658	39	1	480	445	144	14	81.2	112
和歌山県	373	22	3	277	265	70	7	82.8	61
鳥取県	591	32	-	452	434	94	17	84.8	83
島根県	2,151	113	17	1,609	1,546	325	50	83.2	271
岡山県	2,368	160	13	1,753	1,671	414	74	84.5	350
広島県	42,528	2,725	295	31,899	30,547	6,735	1,385	85.4	4,846
山口県	4,778	332	30	3,503	3,347	756	108	83.2	684
徳島県	332	26	2	273	260	67	19	96.4	26
香川県	642	40	4	479	454	110	11	83.2	99
愛媛県	1,215	110	9	882	826	197	30	84.9	195
高知県	286	33	4	202	188	48	8	86.4	42
福岡県	6,549	465	31	4,938	4,675	1,285	89	84.3	858
佐賀県	1,817	144	9	1,393	1,335	300	52	87.9	209
長崎県	18,490	1,323	150	13,996	13,438	2,793	384	85.7	1,817
熊本県	1,840	143	13	1,355	1,297	287	40	84.3	233
大分県	998	88	5	704	668	146	30	82.9	147
宮崎県	821	80	5	617	583	129	19	87.8	94
鹿児島県	1,402	122	9	1,059	1,011	228	29	86.9	159
沖縄県	190	27	4	120	112	29	3	81.1	39
広島市	76,313	4,318	350	56,020	53,283	12,785	1,803	81.9	10,480
長崎市	49,109	3,601	360	37,238	35,800	8,053	900	85.7	4,563

※上記受療割合は(B)~(E)の単純合計にかかる割合を掲載しているが、(B)~(E)の数はそれぞれ重複があり、あくまで参考としての数値である。

表13-3 平成7年国民生活基礎調査による通院者数

(単位:千人)

年 齢 階 級	平 成 7 年			
	総 数	通院者率 (人口千対)	男	女
総 数	33 913	285.4	14 892	19 021
0 ~ 4 歳	1 081	196.3	591	491
5 ~ 14	2 320	168.3	1 235	1 085
15 ~ 24	2 017	117.3	843	1 174
25 ~ 34	2 627	175.5	989	1 638
35 ~ 44	3 199	197.5	1 481	1 719
45 ~ 54	5 359	288.3	2 436	2 923
55 ~ 64	6 613	439.3	3 033	3 580
65 ~ 74	6 415	588.2	2 725	3 690
75 ~ 84	3 450	664.2	1 286	2 165
85 歳 以 上	810	601.3	266	544
(再掲)				
65 歳 以 上	10 676	611.8	4 277	6 399
70 歳 以 上	7 170	642.4	2 718	4 452

注:「総数」には、年齢不詳を含む。

表13-4 平成8年患者調査による年齢階級別受療の状況(人口10万対)

平成8年10月

	入 院			外 来		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	1 176	1 133	1 218	5 824	5 080	6 539
	(1 146)	(1 129)	(1 162)	(5 589)	(4 904)	(6 249)
0 歳	1 513	1 527	1 498	5 872	6 261	5 462
1~4	218	249	186	5 706	5 939	5 462
5~9	160	186	134	3 834	4 019	3 640
10~14	146	160	130	2 150	2 244	2 052
15~19	196	219	171	1 916	1 779	2 060
20~24	309	290	329	2 562	1 951	3 199
25~34	488	408	570	3 271	2 465	4 099
35~44	577	659	494	3 533	3 143	3 930
45~54	935	1 114	757	4 932	4 276	5 585
55~64	1 567	1 898	1 253	8 110	7 359	8 825
65~69	2 222	2 636	1 854	11 940	11 153	12 640
70~74	3 027	3 320	2 810	15 659	14 724	16 349
75~79	4 400	4 450	4 370	17 073	16 894	17 182
80~84	6 460	5 868	6 789	16 049	16 464	15 818
85歳以上	10 098	8 277	10 885	13 785	15 261	13 166
(再掲)						
65歳以上	4 058	3 834	4 215	14 509	13 896	14 940
70歳以上	5 023	4 610	5 279	15 861	15 673	15 977
75歳以上	6 358	5 645	6 749	15 996	16 440	15 756
90歳以上	12 249	9 625	13 168	11 589	13 007	11 093

注:1 総数には、年齢不詳を含む。

2 () 内の数値は、平成5年の値である。

1.4 寝たきりの状況

「全く寝たきり」、「ほとんど寝たきり」（以下「寝たきり者」という。）及び「寝たり起きたり」と回答した者は、15,702人（男6,117人、女9,582人、不詳3人）で、全体に占める割合は6.3%（男5.8%、女6.7%、不詳0.0%）である。

内訳は、「全く寝たきり」2,400人（1.0%）、「ほとんど寝たきり」2,627人（1.0%）、「寝たり起きたり」10,675人（4.3%）となっている。

このうち、65歳以上の状況について割合をみると、単純に比較できないが60年度調査で寝たきり者は5.4%であるのに対し、7年度調査では寝たきり者等で9.1%となっている。なお、参考までに7年国民生活基礎調査との比較では、寝たきり者（1.6%）及び寝たり起きたり（2.3%）といずれも割合が上回っている（図14-1）

また寝たきり者の期間別の状況を見ると、6か月以上が全体の77.7%を占めており（図14-2）、その内訳は表14のとおりである。

寝たきり者について被爆区分別にその割合をみると、被爆者千人に対して1号被爆者19.3人、2号被爆者24.2人、3号被爆者18.5人、4号被爆者2.7人である（図14-3）。

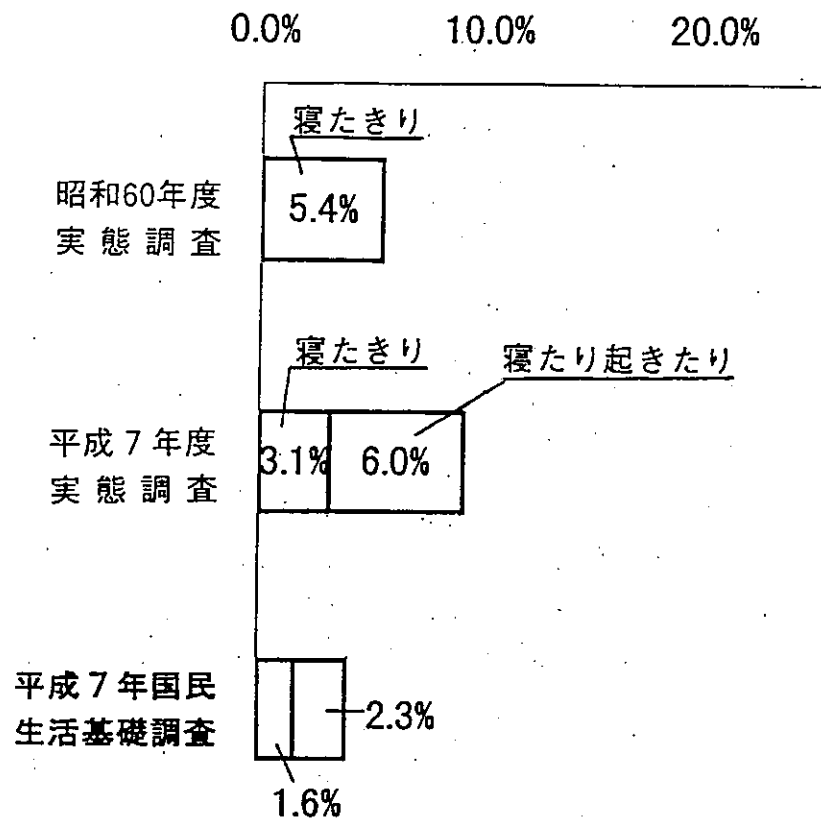
寝たきり者の世帯状況を見ると、図14-4のとおりであり、1人世帯（23.6%）と2人世帯（26.6%）で5割以上を占めている。

また寝たきり者等の介護を行う者についてみると、配偶者1,185人（26.6%）が最も多く、次いでその他1,060人（23.8%）子供986人（22.1%）等の順となっており（図14-5）、寝たきり状況別における「全く寝たきり」「ほとんど寝たきり」でも同様の傾向となっている（図14-6）。

寝たきり者等のうち介護を受けている10,171人（64.8%）の介護内容を見ると、入浴が76.7%と最も多く、次いで衣服の着脱65.0%、食事55.8%、排便51.5%等の順となっている。これを寝たきり状況別にみると、「全く寝たきり」は入浴、衣服の着脱、排便、食事がいずれも80%を超えており、「ほとんど寝たきり」では入浴と衣服の着脱が80%を超えている（図14-7）。

寝たきり者等の受療内容を見ると、通院が51.2%と最も多く、次いで入院33.6%、在宅医療14.2%等の順となっている。これを寝たきり状況別にみると、「全く寝たきり」は入院が58.0%と最も多く、「寝たり起きたり」では通院が64.5%と最も多くなっており、在宅医療では「全く寝たきり」（21.6%）、「ほとんど寝たきり」（22.5%）と大きな差はない（図14-8）。

図14-1 寝たきり者等の状況比較 (65歳以上)



※昭和60年度及び平成7年度実態調査は、回答項目が異なるため単純に比較できない。

図14-2 寝たきり者の期間別内訳

60年度 (7,174人)	1カ月未満 10.4%	1～6カ月未満 20.6%	6ヵ月～1年未満 11.2%	1年以上 57.8%
7年度 (5,027人)	3.1%	11.1%	11.2%	66.5%
				不詳 8.1%

表14 寝たきり者等の期間別状況

	総 数	全く寝たきり	ほとんど寝たきり	寝たり起きたり
総 数	15,702	2,400	2,627	10,675
1ヶ月未満	597	83	74	440
1ヶ月～6ヶ月	1,421	261	295	865
6ヶ月～1年	1,603	266	296	1,041
1年以上	9,408	1,612	1,732	6,064
不 詳	2,673	178	230	2,265

図14-3 寝たきり者等の被爆区別状況

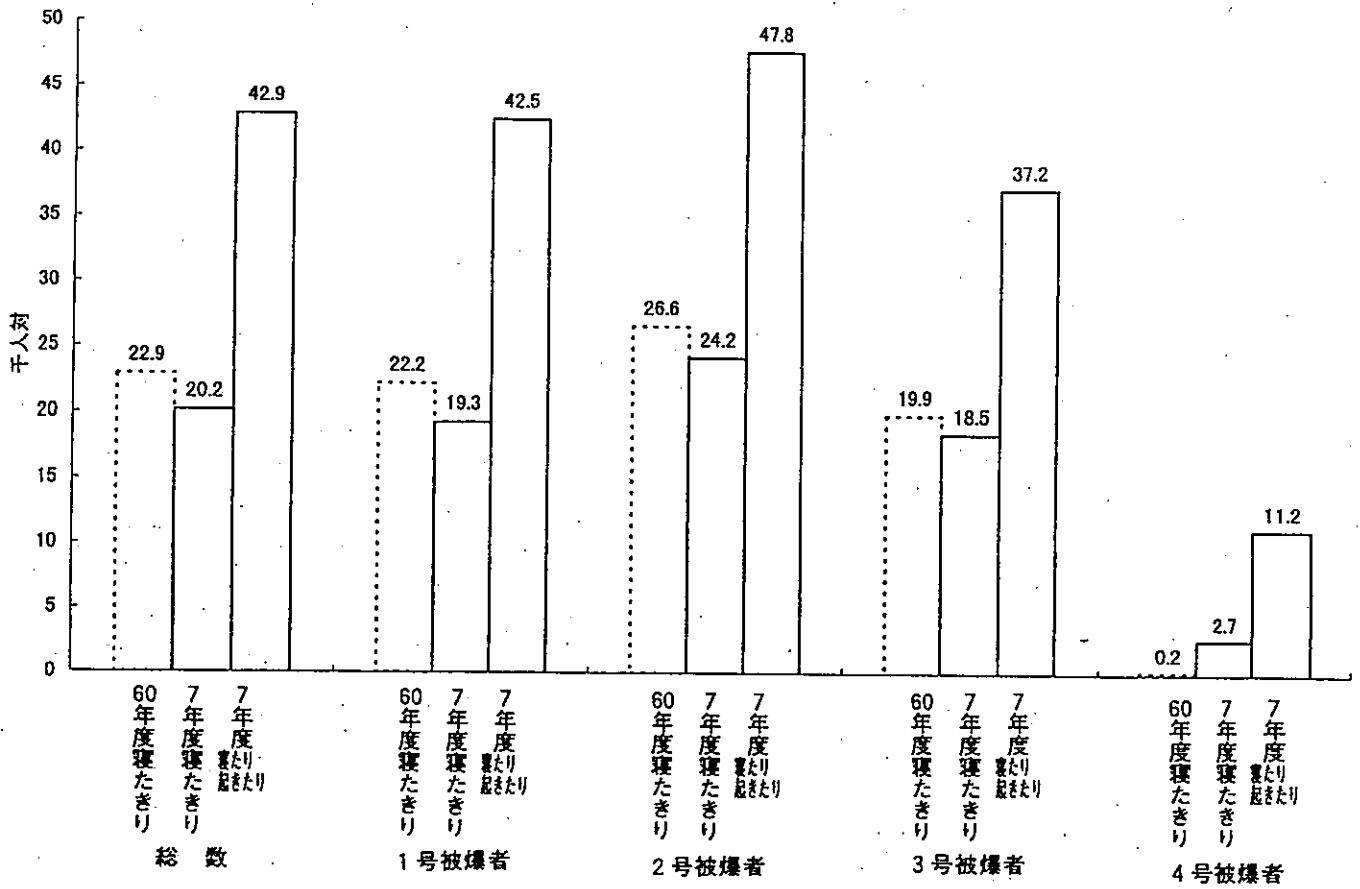
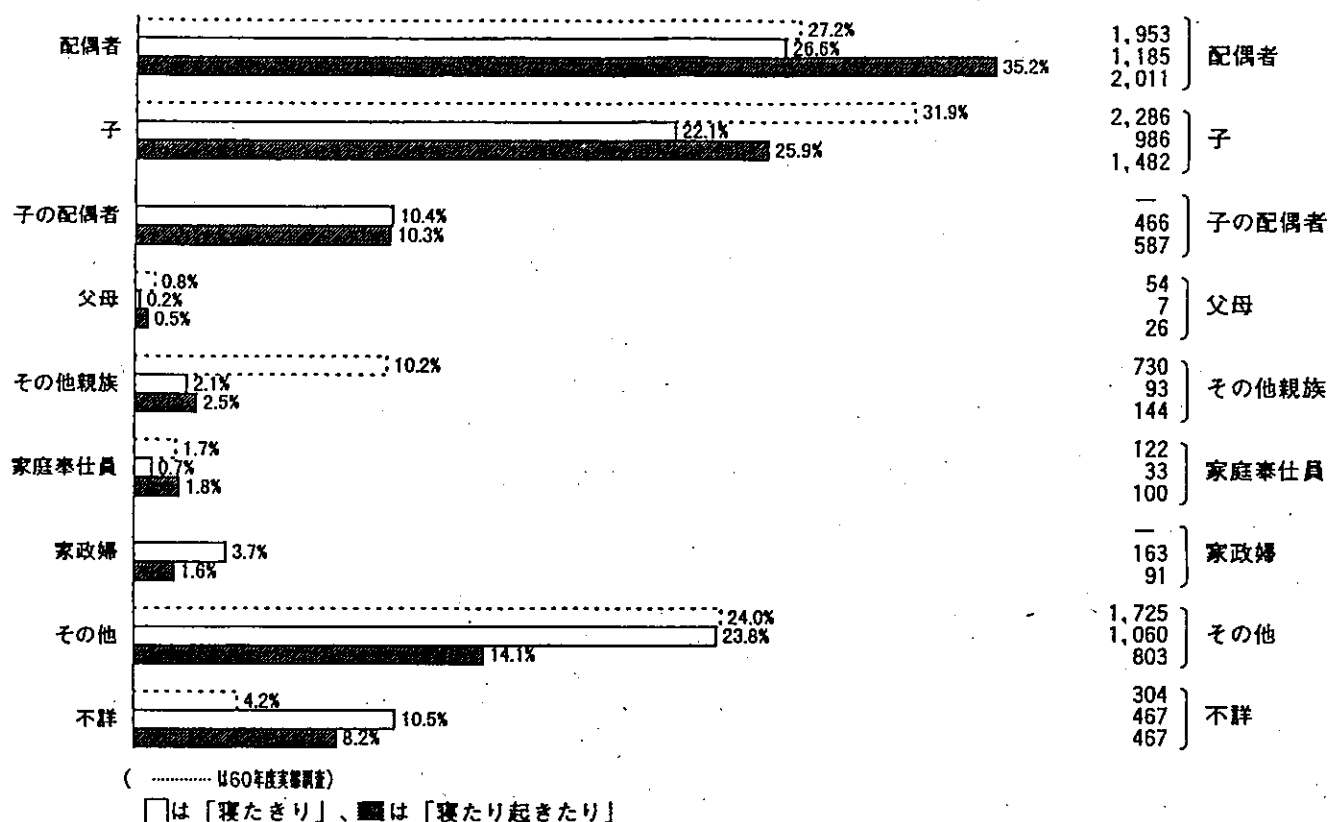


図14-4 寝たきり者の世帯人員別状況

	1人 15.7%	2人 24.6%	3人 16.3%	4人 12.3%	5人 10.9%	6人以上 15.3%	不詳 5.0%
60年度							
7年度	23.6%	26.6%	18.5%	12.0%	8.8%	10.6%	

図14-5 寝たきり者等の介護を行う者の状況

(60年度 5,924人、7年度 4,460人)
(寝たり起きたり)5,711人



注) 60年度調査では「子の配偶者」「家政婦」の項目はない。

7年度調査で「子の配偶者」は「その他親族」欄に、「家政婦」は「その他」欄に含まれていると思われる。

図14-6 寝たきり状況別による介護人状況

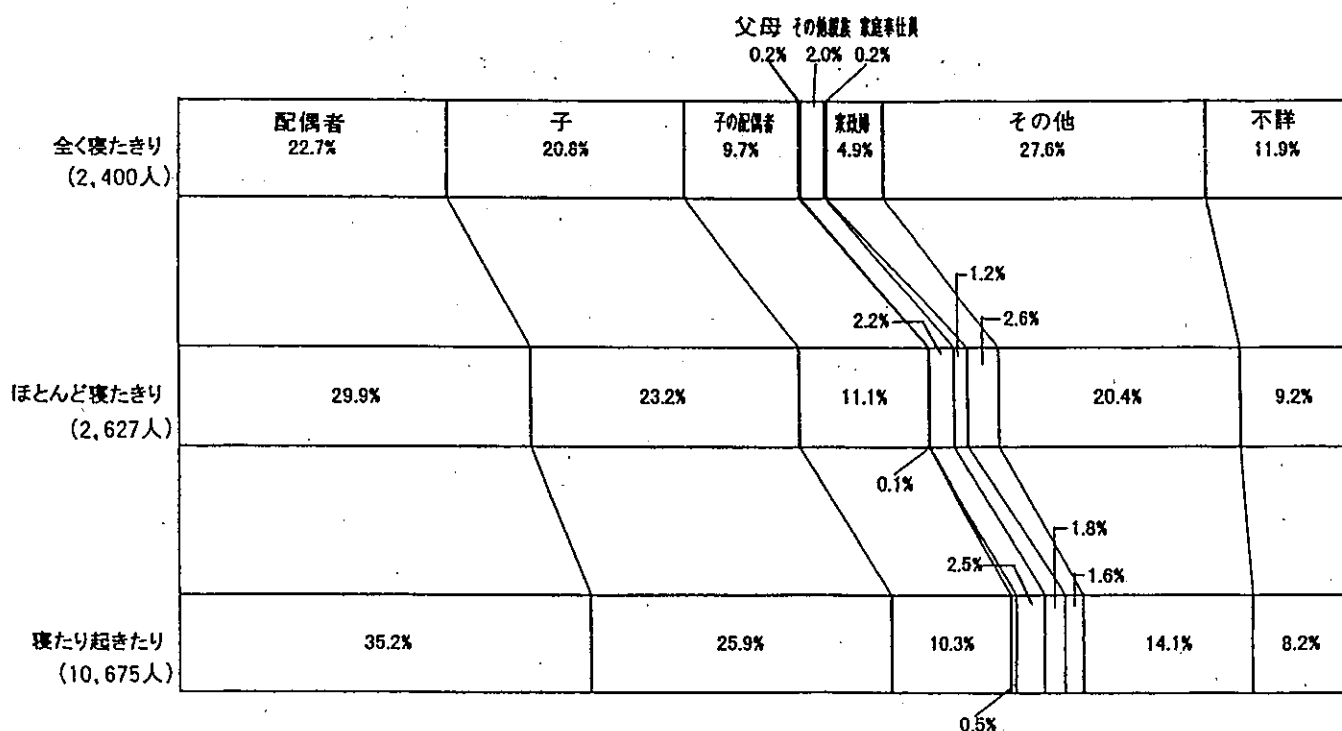
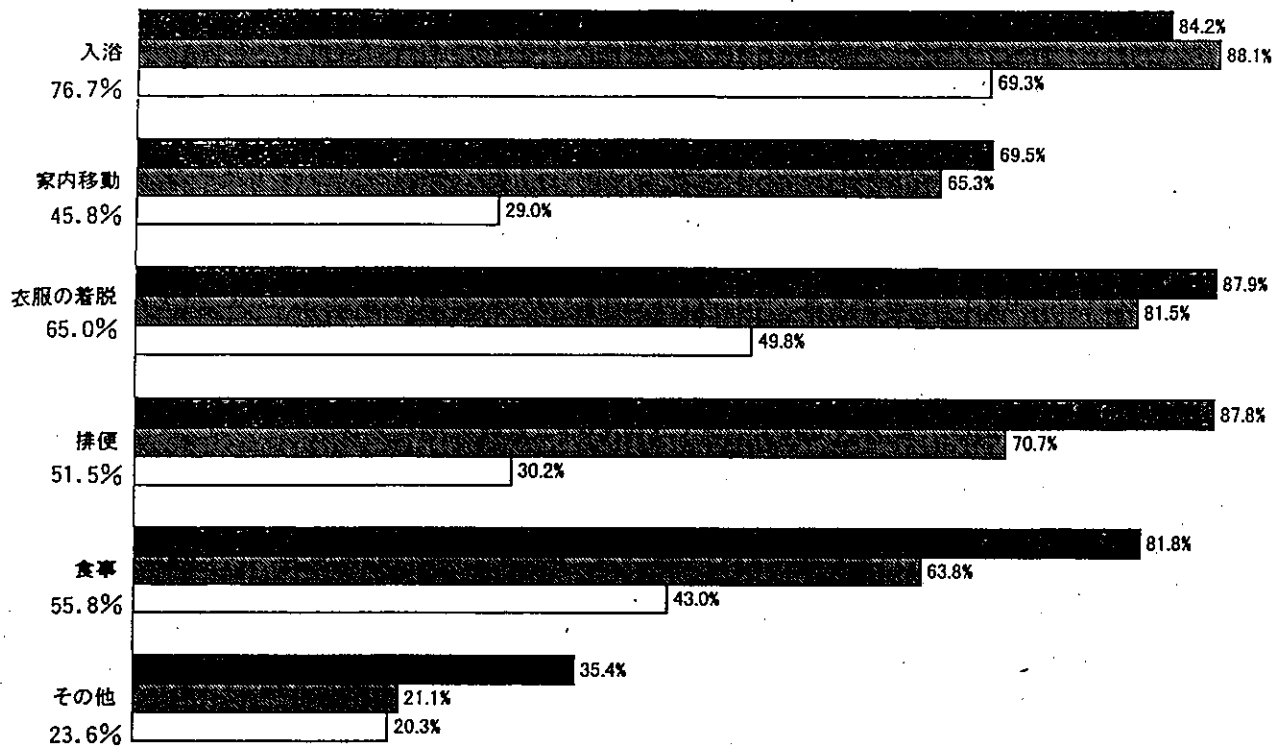


図14-7 寝たきり者等の介護の状況（状況別）

（総数；10,171人）

■は「全く寝たきり」、■は「ほとんど寝たきり」、□は「寝たり起きたり」

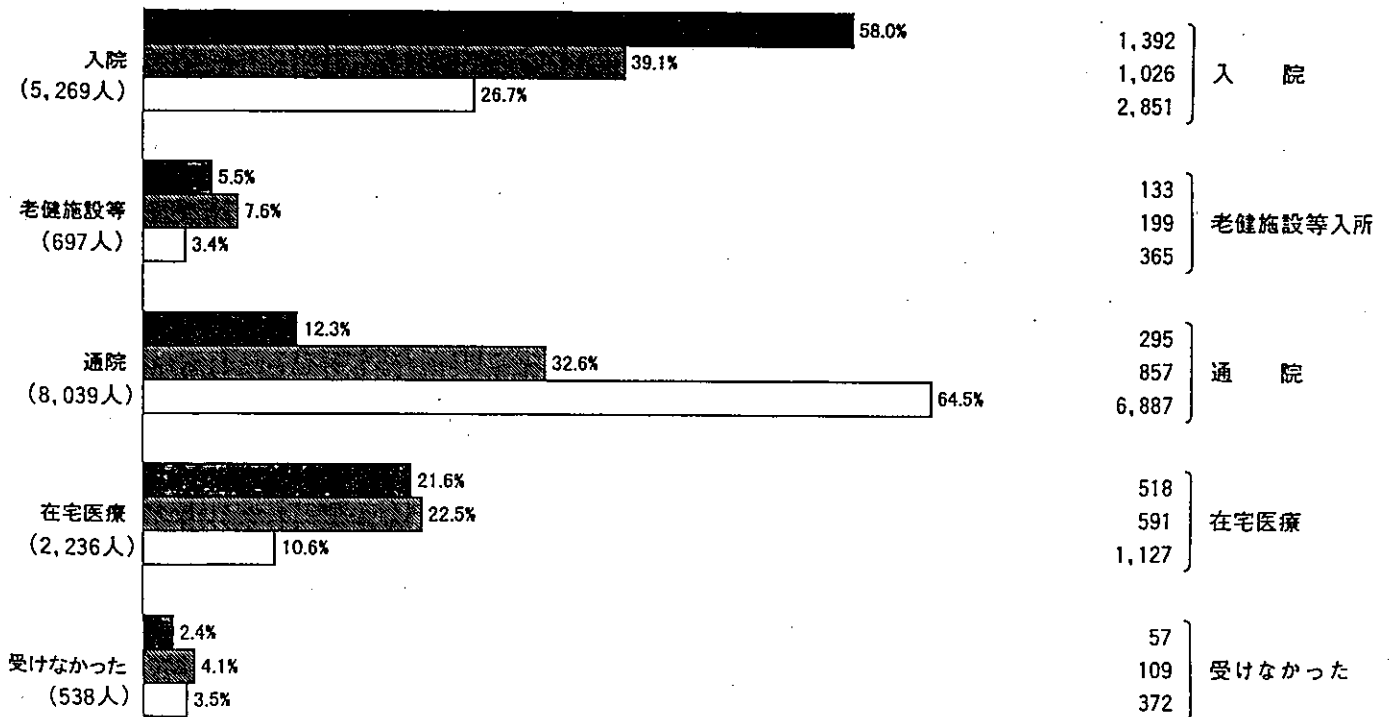


※各項目間で重複回答あり

図14-8 寝たきり者等の受療状況

（総数；15,702人）

（「全く寝たきり」2,400人、「ほとんど寝たきり」2,627人、「寝たり起きたり」10,675人）



■は「全く寝たきり」、■は「ほとんど寝たきり」、□は「寝たり起きたり」

※各項目間で重複回答あり

(平成7年国民生活基礎調査より)

性・年齢階級別にみた要介護者率・寝たきり者率

性 年 齢 階 級	平 成 7 年		
	世帯人員数	要介護者率	寝たきり者率
	推計数(単位:千人)	(人口千対)	(人口千対)
総 数	112 043	9.9	3.0
6～17歳	17 503	2.1	0.6
18～59	69 796	2.1	0.4
60～69	13 585	12.3	2.6
70～79	7 740	34.8	11.3
80歳以上	3 421	144.3	51.2
(再掲)			
65歳以上	17 449	49.3	16.2
男	54 446	8.8	2.3
6～17歳	9 028	2.1	0.5
18～59	34 574	2.3	0.3
60～69	6 464	15.0	2.9
70～79	3 158	40.7	12.9
80歳以上	1 222	127.3	40.3
(再掲)			
65歳以上	7 318	46.6	13.9
女	57 597	11.0	3.6
6～17歳	8 475	2.0	0.6
18～59	35 221	1.9	0.4
60～69	7 120	9.8	2.2
70～79	4 582	30.8	10.2
80歳以上	2 199	153.8	57.2
(再掲)			
65歳以上	10 131	51.3	18.0

注:平成7年の数値は兵庫県を除いたものである。

(なお「寝たきり者率」は、「全く寝たきり」及び「ほとんど寝たきり」相当分である)

1 5 介護の状況

日常生活を営むうえで入浴、家の中での移動、衣類の着脱、排便、食事などの日常動作についてだれかの手助けを受けている者は、17,176人（男6,513人、女10,658人、不詳5人）で、全体の6.9%（男6.2%、女7.4%、不詳0.0%）を占めており、年齢階級別にみると高齢になるに従って介護を受けている者の割合が高くなっている。また、60年度調査（22,805人、7.3%）と比べると50～59歳以外は減少している。因みに60歳以上の年齢階級で平成7年国民生活基礎調査と比較しているが、いずれも実態調査の方が高くなっている（図15-1）。

を受けている介護の内容では、入浴が65.3%と最も多く、次いで衣類の着脱51.3%、食事46.8%等の順となっており、60年調査に比べ各項目においてその割合が増えている。特に65歳以上で見ると入浴66.4%、衣類の着脱52.1%、食事47.8%等割合が増加しており、60年度調査と比べても割合が増加している、因みに平成7年国民生活基礎調査との比較では、いずれも実態調査の方が低くなっている（図15-2）。

介護を行う者の内訳をみると、配偶者が最も多く31.2%を占め、次いで子供23.5%等の順となっている。65歳以上で見ると配偶者32.6%、子供28.0%等となり、60年度調査に比べ配偶者及びその他は増加しているが、他の項目は減少している。また、7年国民生活基礎調査との比較では子の配偶者の割合が低い他は大きな差は無い（図15-3）。なお、介護を受けている者の年齢階級別に介護を行う者の状況をみると表15のとおりであり、80歳未満までは各階層とも配偶者に介護を受けている者が最も多いが、80歳以上になると子供が最も多くなる。また、家庭奉仕員、家政婦及びその他を合わせた、家族・親戚以外の者の介護を受けている者の割合は80歳以上で26.0%であり、年齢階級が高くなるに従ってその割合も高くなっている。

介護者の同居の有無、年齢、性別について見ると、これらの者の53.1%が被爆者と同居しており、65才未満の者が46.3%、女性が64.5%となっている（図15-4）。

介護を行っている者に費用を払っている者は3,162人（18.4%）である（図15-5）。

介護を受けている者のうち、家族介護手当の受給は4.9%、介護手当の受給は5.6%となっており、その他手当については健康管理手当81.0%、医療特別手当3.9%等となっている（図15-6）。

介護を行っている者に費用を支払っている者は3,162人（18.4%）である（図15-7）。

なお、寝たきり者等と回答した者（15,702人）に対して介護を受けていると回答した者が多いのは、寝たきり等の状態で無い者で食事等一部分で介助を受けている者が含まれているものと思われる。

図15-1 介護を受けている者の年齢階級別状況

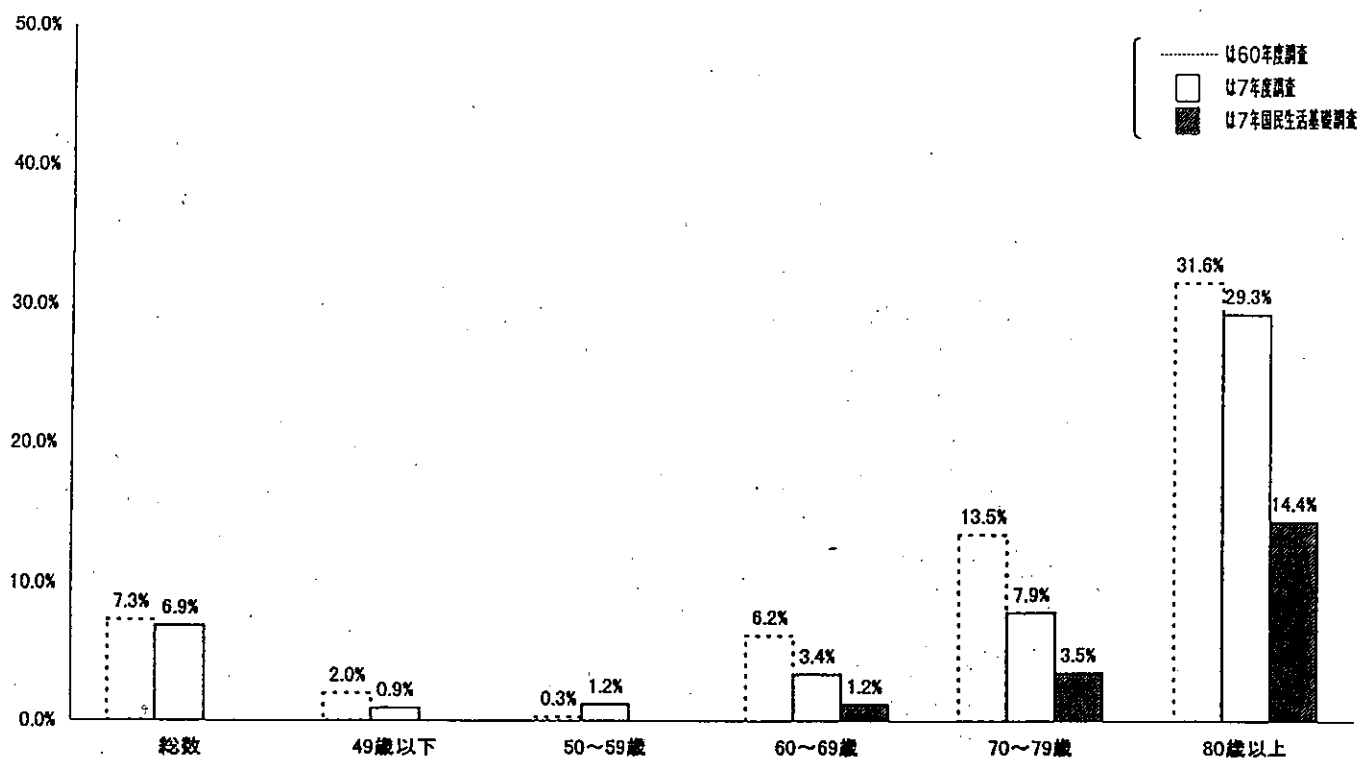
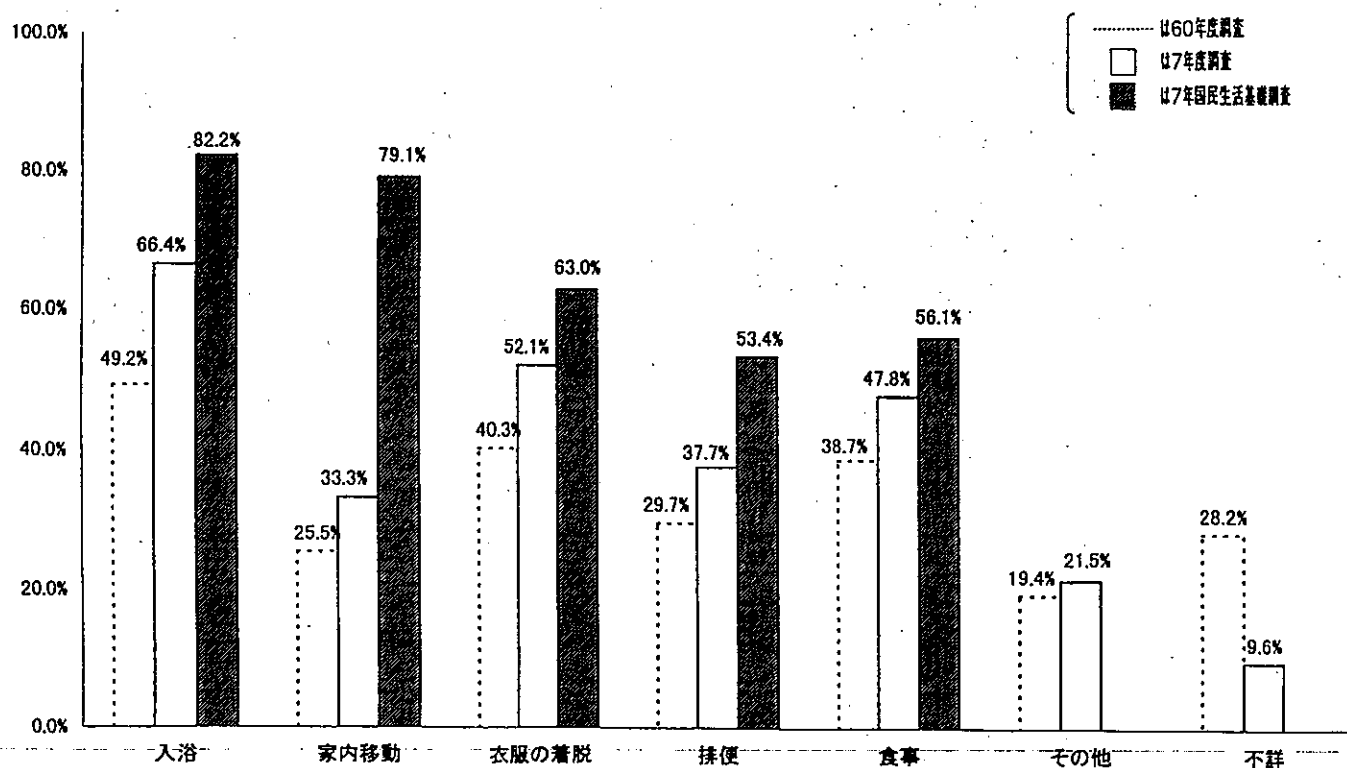
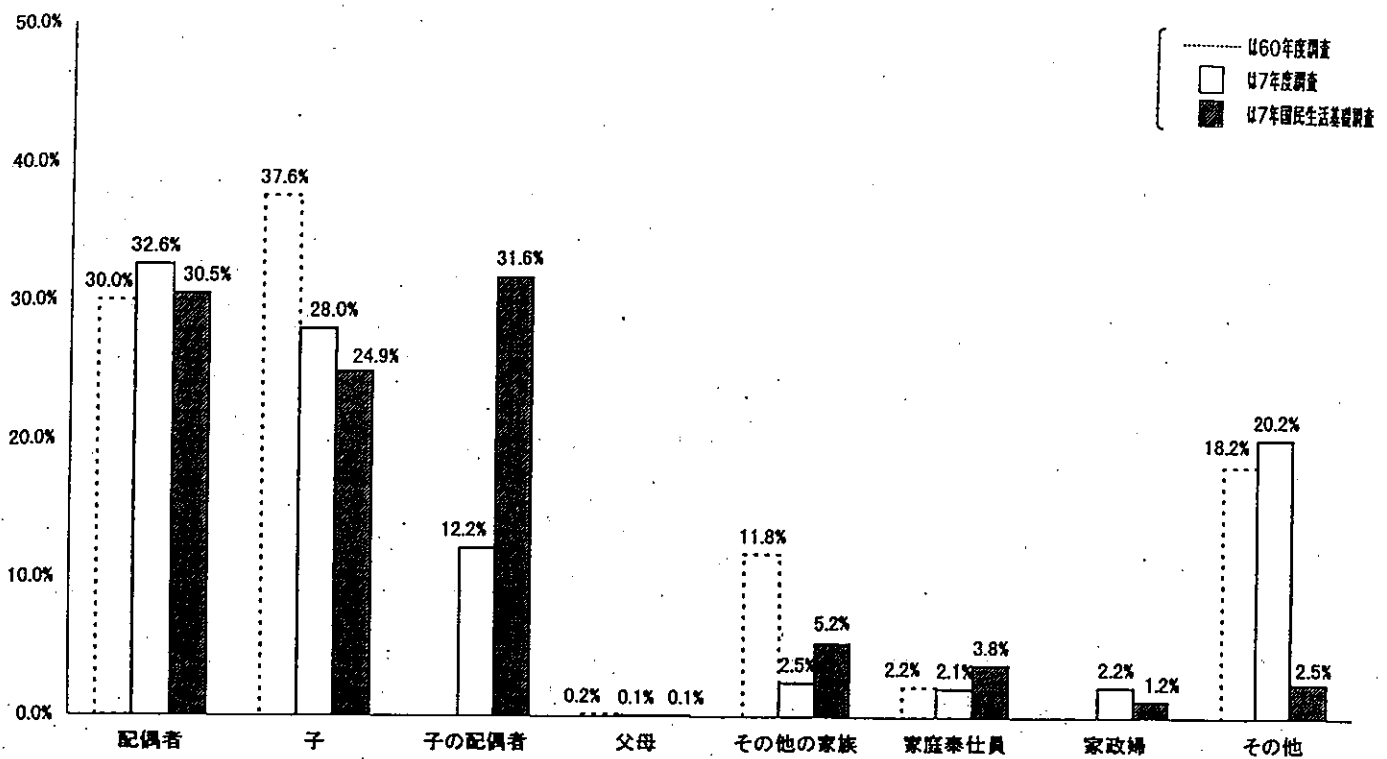


図15-2 介護の内容状況（65歳以上）



※平成7年国民生活基礎調査では、介護が必要な者のうち全部介助及び一部介助の者を合わせた割合である。また、同調査の「歩行」は 上記表の「家内移動」として記載している。

図15-3 介護を行う者の状況



※それぞれ65歳以上の割合で比較している。

また、60年実態調査では調査項目に「子の配偶者」「家政婦」の項目が無く、項目にあった隣人・知人は「その他」に含めている。

表15 介護を受けている者の年齢階級別、介護を行う者の状況

介護者	被介護者	総数	49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	不詳
総数		17,176	31	673	3,406	4,682	8,376	8
配偶者		5,359 31.2%	10 32.3%	317 47.1%	1,893 55.6%	1,827 39.0%	1,309 15.6%	3
子		4,040 23.5%	5 16.1%	55 8.2%	373 11.0%	998 21.3%	2,609 31.1%	-
子の配偶者		1,721 10.0%	-	9 1.3%	89 2.6%	321 6.9%	1,302 15.5%	-
父母		65 0.4%	5 16.1%	40 5.9%	13 0.4%	4 0.1%	3	-
その他の家族		420 2.4%	5 16.1%	41 6.1%	86 2.5%	89 1.9%	198 2.4%	1
家庭奉仕員		316 1.8%	1 3.2%	11 1.6%	58 1.7%	101 2.2%	145 1.7%	-
家政婦		322 1.9%	-	8 1.2%	34 1.0%	81 1.7%	199 2.4%	-
その他		3,015 17.6%	2 6.5%	89 13.2%	380 11.2%	707 15.1%	1,836 21.9%	1
不詳		1,918 11.2%	3 9.7%	103 15.4%	480 14.0%	554 11.8%	775 9.4%	3

図15-4 介護を行う者の状況

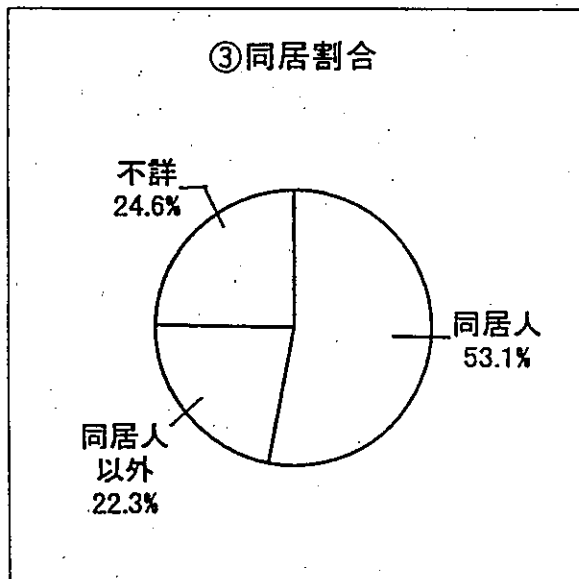
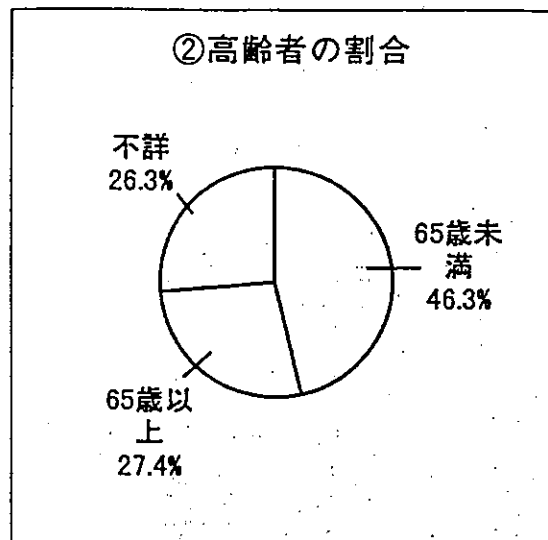
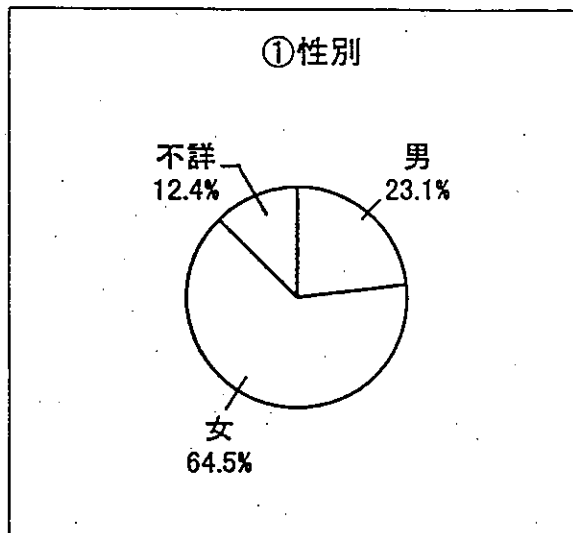


図15-5 介護費用支払いの状況

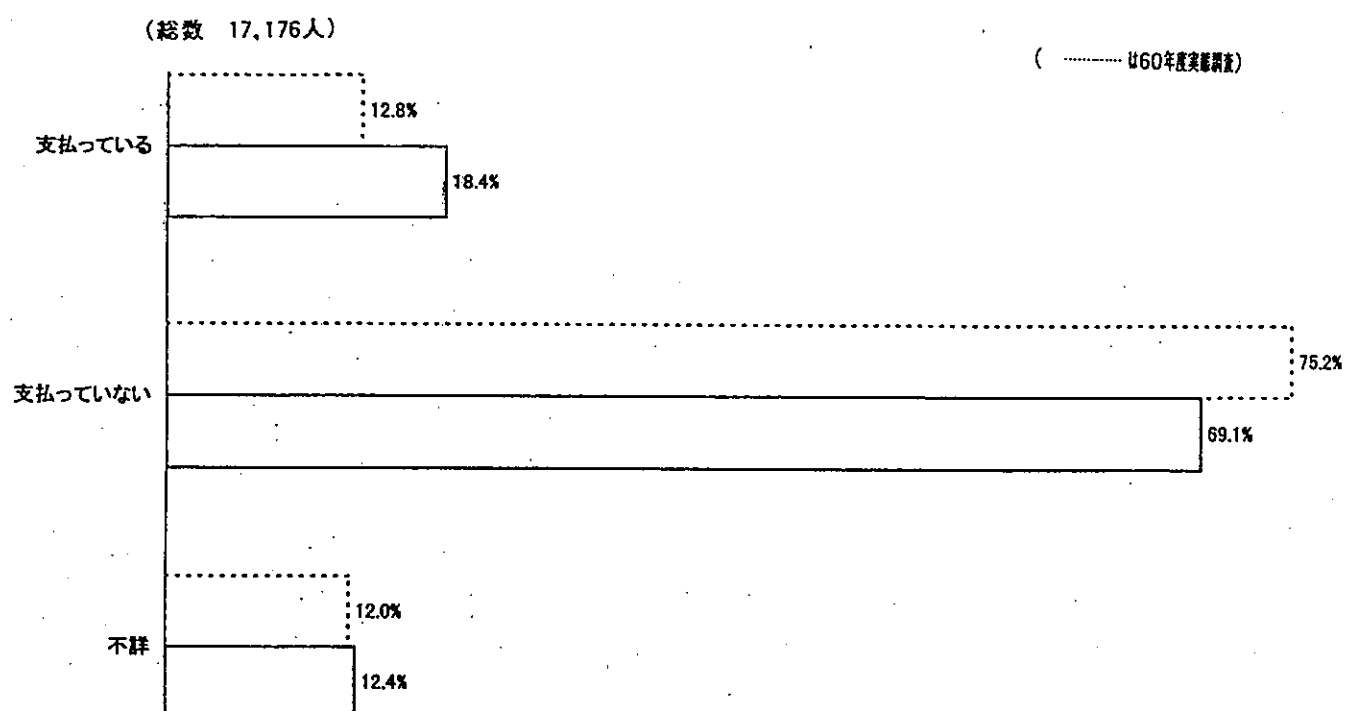


図15-6 介護を受けている人の手当受給状況

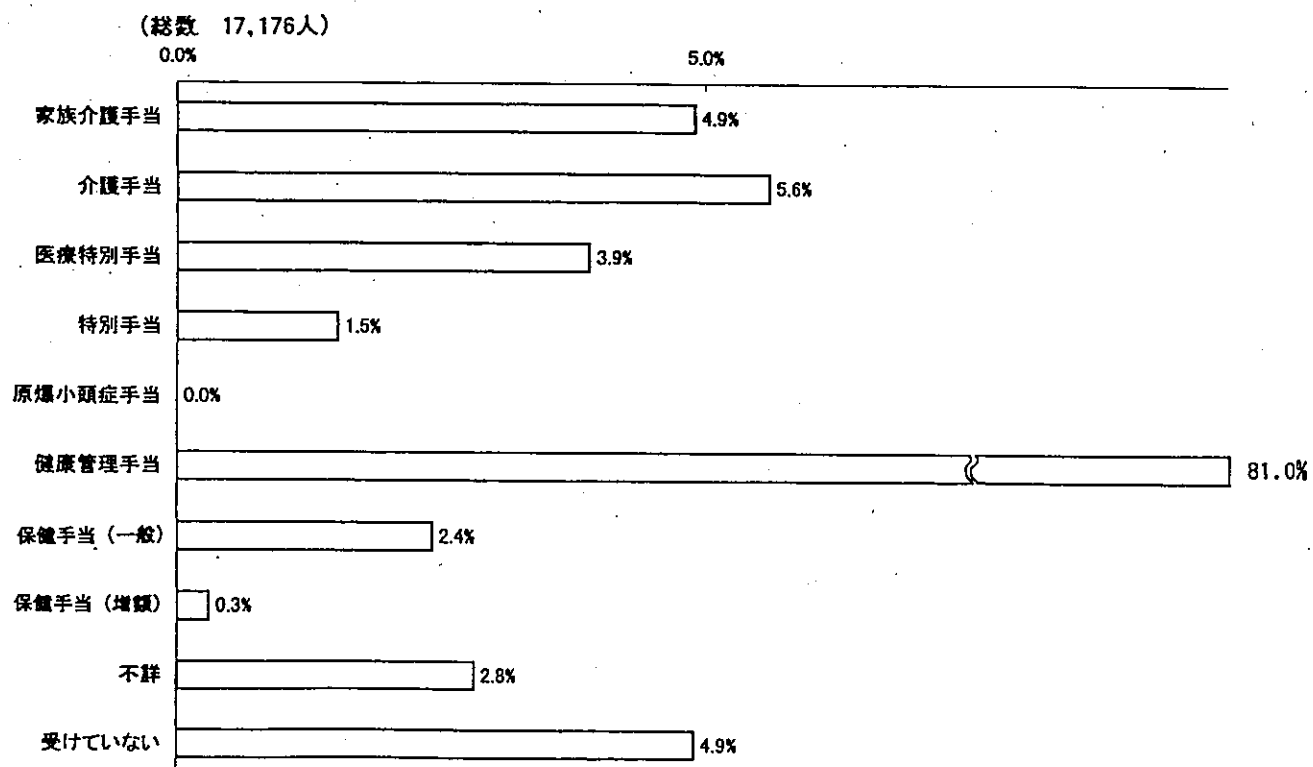
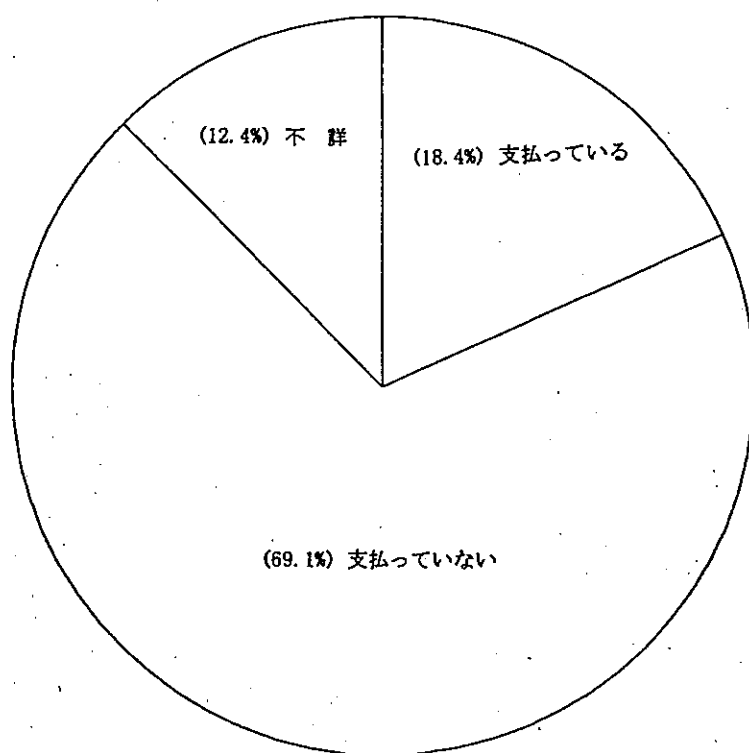


図15-7 介護費用の支払状況



1 6 被爆者健康診断の受診状況

(1) 一般検査の受診状況

平成6年11月1日から平成7年10月31日までの1年間に、被爆者健康診断の一般検査を受診したことがある者は、181,810人（男74,493人、女107,269人、不詳48人）で全体の73.1%（男71.0%、女74.7%、不詳0.0%）であり、60年度調査の75.9%（男72.3%、女78.5%、不詳0.0%）より若干減少している（図16-1）。

性別・年齢階級別の受診状況をみると、図16-2のとおりであり、男性は70～79歳の受診率（77.7%）が最も高く、女性は60～69歳の受診率（79.4%）が最も高い。また、80歳以上を除いた各年齢階級で女性の方が男性より受診率が高い。

被爆区分別の受診状況は、図16-3のとおりであり、3号被爆者の受診率が最も高い。

都道府県別の受診状況は表16のとおりであり、50%台から90%台のバラツキがみられる。

また、一般検査受診者181,810人の検査受診回数別の割合をみると、男女共2回受診した者の割合が最も高い（図16-4）。

受診者の平均受診回数は1.74回である。

図16-1 一般検査受診状況

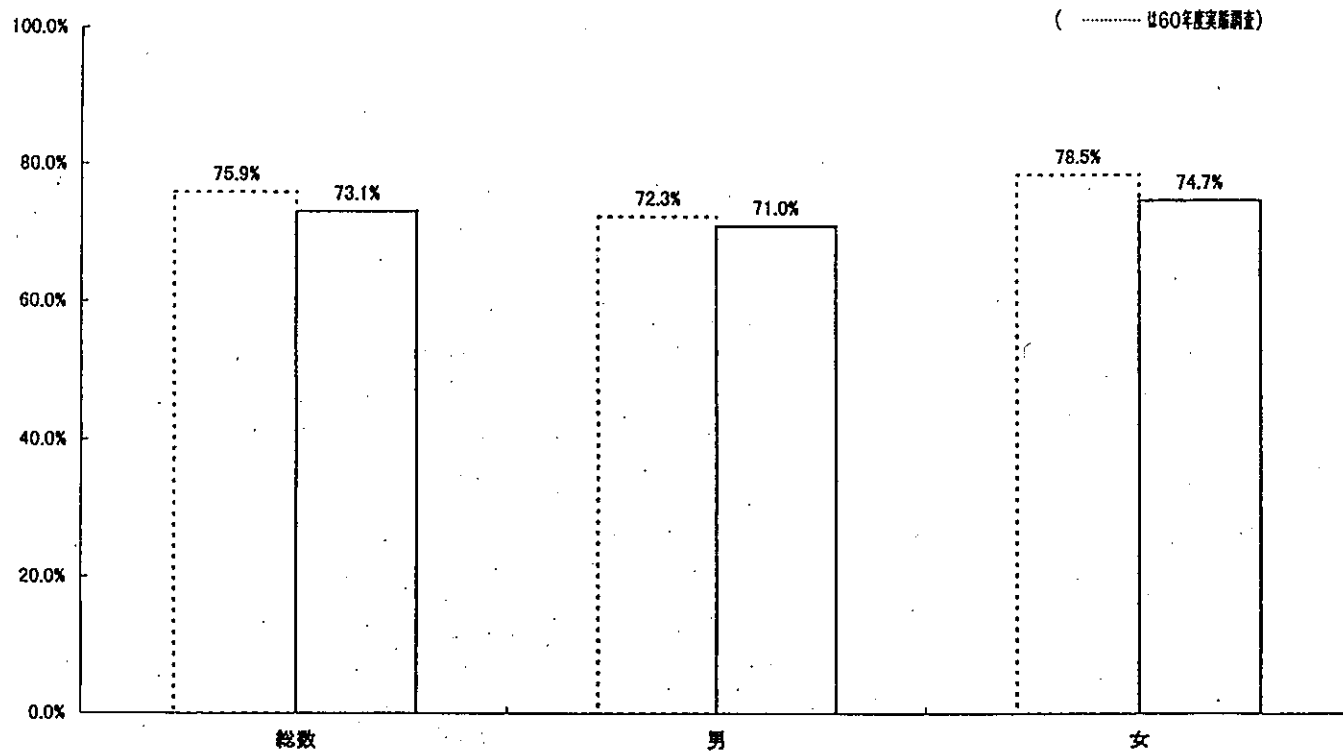


図16-2 性別・年齢階級別一般検査受診状況

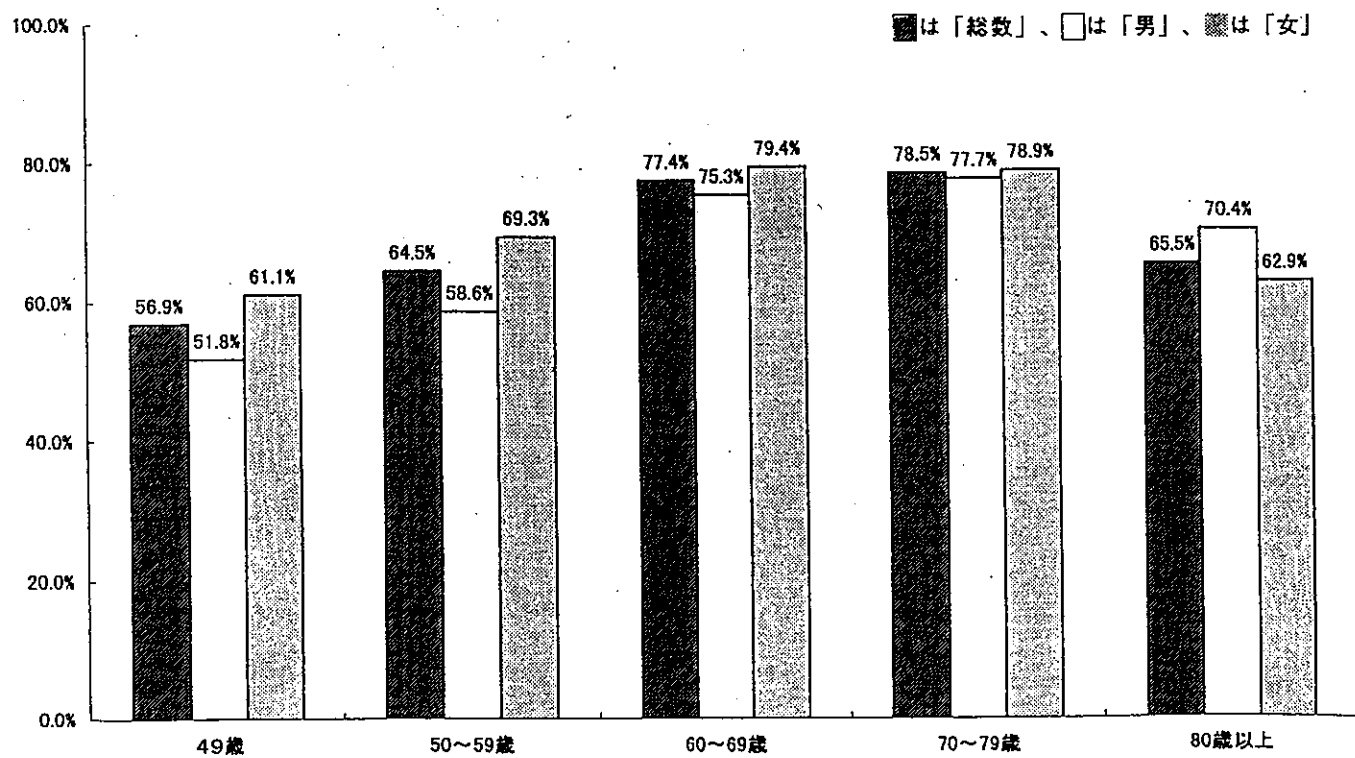


図16-3 被爆区分別一般検査受診状況

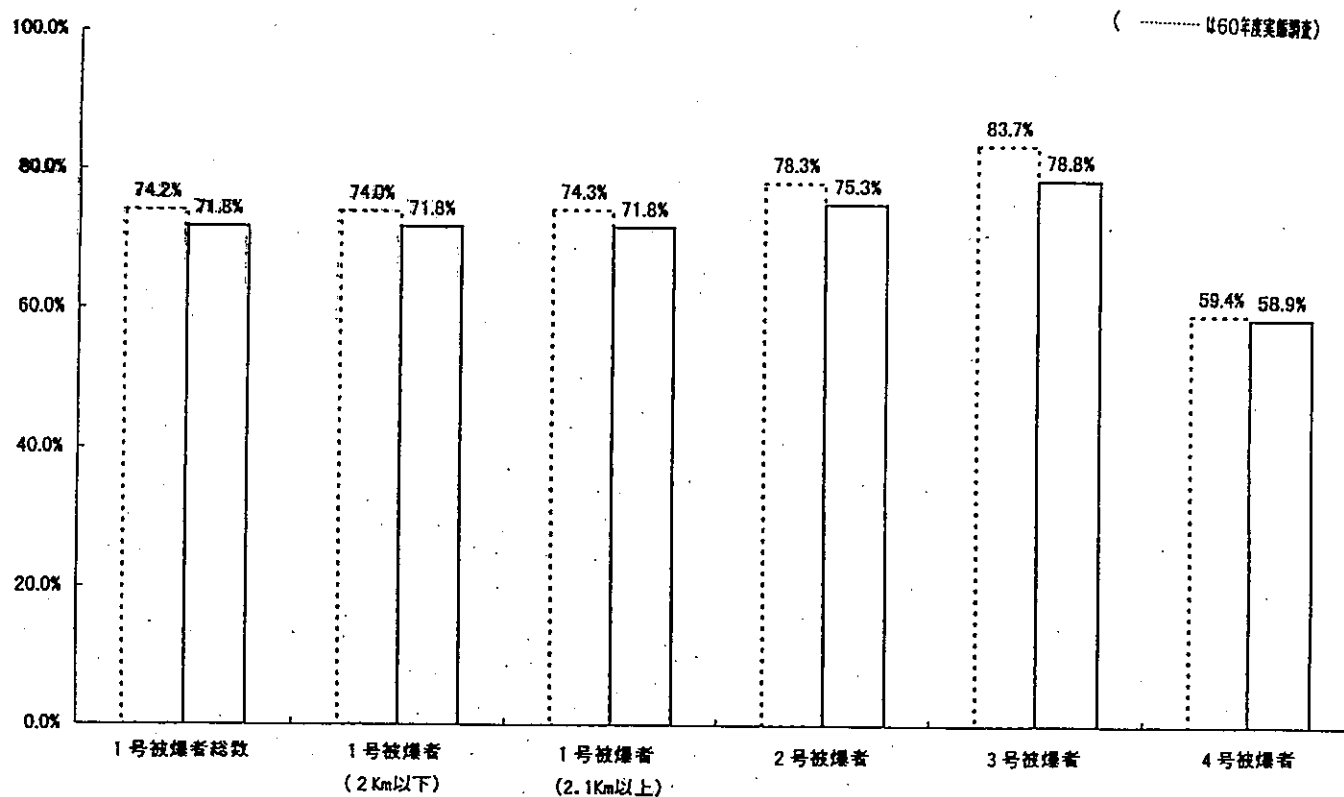


図16-4 受診回数別一般検査受診状況

総数	1回 28.0%		2回 55.7%		3回 7.0%	4回 3.3%	不詳 6.0%
男	28.2%		55.3%		6.9%	3.3%	6.3%
女	27.8%		56.0%		7.1%	3.3%	5.8%

表16 都道府県別被爆者健康診断受診等の状況

	総数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A)	要精検者 数 (C)	要精検率 (C)/(B)	精検受診 者数 (D)	精検受診率 (D)/(C)	異常判定 者数 (E)	異常判定率 (E)/(D)
全 国	248,553	181,810	73.1	96,003	52.8	71,618	74.6	38,439	53.7
北海道	492	378	76.8	204	54.0	156	76.5	97	62.2
青森	105	91	86.7	47	51.6	36	76.6	20	55.6
岩手	85	76	89.4	36	47.4	30	83.3	18	60.0
宮城	208	166	79.8	108	65.1	84	77.8	52	61.9
秋田	72	59	81.9	29	49.2	26	89.7	18	69.2
山形	76	70	92.1	25	35.7	22	88.0	8	36.4
福島	155	119	76.8	78	65.5	64	82.1	38	59.4
茨城	471	339	72.0	119	35.1	90	75.6	49	54.4
栃木	246	190	77.2	82	43.2	58	70.7	28	48.3
群馬	206	148	71.8	95	64.2	60	63.2	35	58.3
埼玉	1,687	1,069	63.4	709	66.3	475	67.0	277	58.3
千葉	2,548	1,619	63.5	928	57.3	656	70.7	352	53.7
東京	6,188	3,096	50.0	2,023	65.3	1,298	64.2	893	68.8
神奈川	4,566	2,503	54.8	1,540	61.5	948	61.6	597	63.0
新潟	209	167	79.9	113	67.7	91	80.5	47	51.6
富山	107	80	74.8	56	70.0	35	62.5	26	74.3
石川	118	88	74.6	56	63.6	43	76.8	27	62.8
福井	152	121	79.6	35	28.9	27	77.1	11	40.7
山梨	83	54	65.1	43	79.6	29	67.4	17	58.6
長野	191	128	67.0	56	43.8	46	82.1	19	41.3
岐阜	561	390	69.5	177	45.4	135	76.3	82	60.7
静岡	800	524	65.5	297	56.7	226	76.1	131	58.0
愛知	2,339	1,441	61.6	856	59.4	517	60.4	309	59.8
三重	620	446	71.9	121	27.1	71	58.7	41	57.7
滋賀	418	257	61.5	155	60.3	113	72.9	69	61.1
京都	1,242	760	61.2	444	58.4	304	68.5	205	67.4
大阪	6,731	5,120	76.1	2,457	48.0	1,767	71.9	1,027	58.1
兵庫	4,426	2,505	56.6	1,434	57.2	1,238	86.3	861	69.5
奈良	658	425	64.6	264	62.1	196	74.2	105	53.6
和歌山	373	275	73.7	117	42.5	96	82.1	49	51.0
鳥取	591	470	79.5	150	31.9	118	78.7	69	58.5
島根	2,151	1,795	83.4	540	30.1	421	78.0	168	39.9
岡山	2,368	1,803	76.1	660	36.6	508	77.0	253	49.8
広島	42,528	33,163	78.0	13,315	40.2	10,106	75.9	5,820	57.6
山口	4,778	3,091	64.7	1,029	33.3	865	84.1	552	63.8
徳島	332	238	71.7	100	42.0	72	72.0	45	62.5
香川	642	472	73.5	240	50.8	182	75.8	106	58.2
愛媛	1,215	790	65.0	242	30.6	142	58.7	81	57.0
高知	286	188	65.7	72	38.3	49	68.1	25	51.0
福岡	6,549	4,680	71.5	1,797	38.4	1,203	66.9	656	54.5
佐賀	1,817	1,163	64.0	264	22.7	216	81.8	109	50.5
長崎	18,490	13,429	72.6	4,851	36.1	4,022	82.9	2,087	51.9
熊本	1,840	1,402	76.2	672	47.9	505	75.1	266	52.7
大分	998	711	71.2	203	28.6	139	68.5	76	54.7
宮崎	821	668	81.4	190	28.4	146	76.8	62	42.5
鹿児島	1,402	1,090	77.7	531	48.7	431	81.2	185	42.9
沖縄	190	158	83.2	94	59.5	68	72.3	41	60.3
広島市	76,313	55,980	73.4	36,009	64.3	27,153	75.4	12,746	46.9
長崎市	49,109	37,815	77.0	22,340	59.1	16,335	73.1	9,584	58.7

(2) 一般検査未受診者の状況

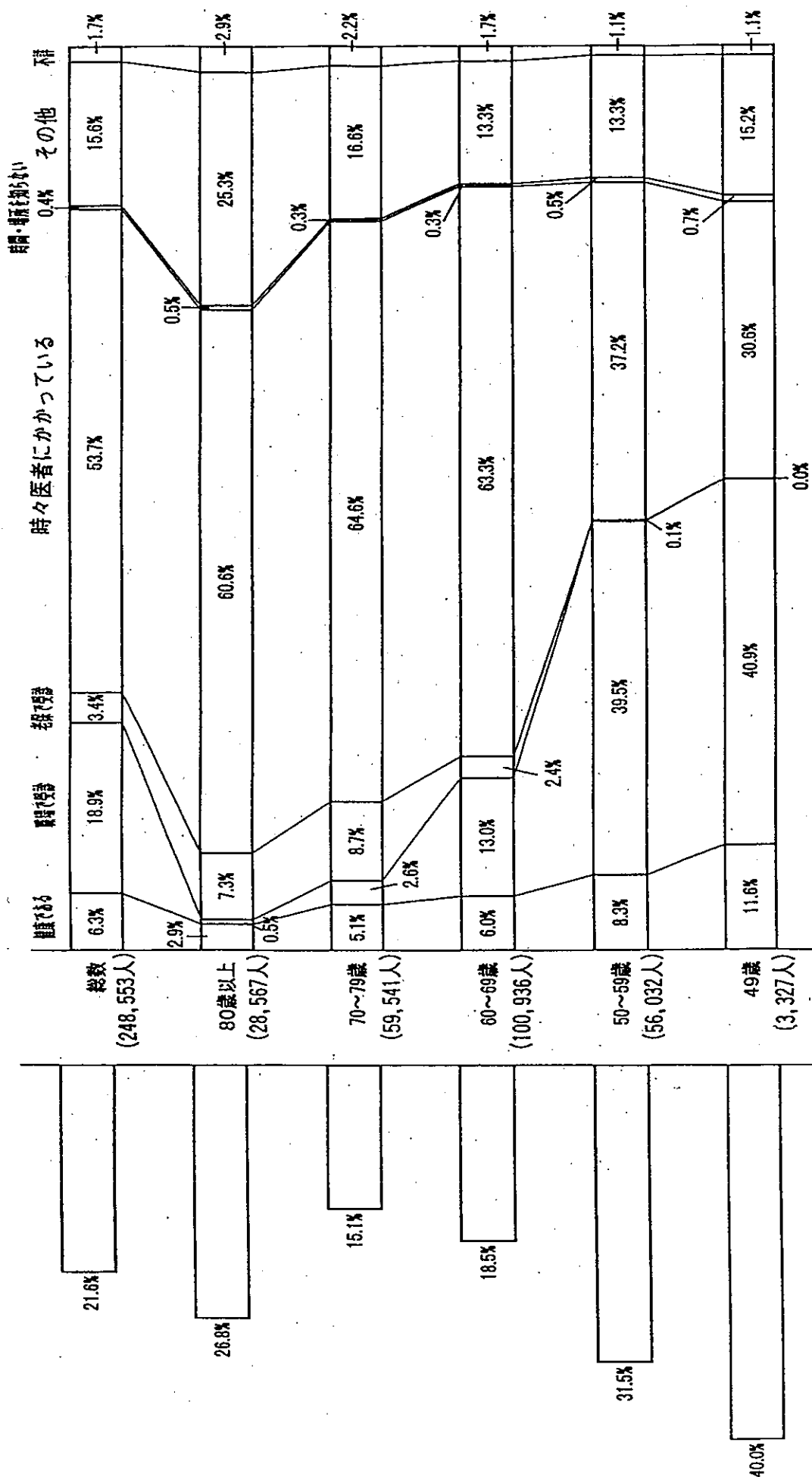
「一般検査を受けなかった」と回答した者は、53,774人（男25,264人、女28,501人、不詳9人）であり、被爆者の21.6%（男24.1%、女19.8%）である。

性別・年齢階級別に未受診の理由をみると、59歳以下では、「職場で健康診断を受けたから」が最も多く、他の年齢階級では「時々医者にかかっているから」が最も多い（図16-5）。

図16-5 一般検査の未受診状況

年齢階級別未受診者の割合

年齢階級別未受診理由の割合



※ () は各年齢階級の総数である
なお、総数の(248,553人)には年齢不詳を含む

(3) 一般検査の受診結果

一般検査を受診した181,810人のうち、「要精密検査になった」者は96,003人(52.8%)であり、60年調査の43.5%より増加している(図16-6)。

性別・年齢階級別の「要精密検査になった」者の割合は、図16-7のとおりであり、男女ともに50～59歳(男56.8%、女54.9%)が最も高く、最低は80歳以上(男48.6%、女48.0%)となっている。

被爆区分別の「要精密検査になった」者の割合は、1号被爆者54.7%、2号被爆者50.5%、3号被爆者47.6%、4号被爆者51.7%である。

都道府県別の「要精密検査になった」者の割合は表16のとおりである。

図16-6 一般検査受診者要精密検査状況

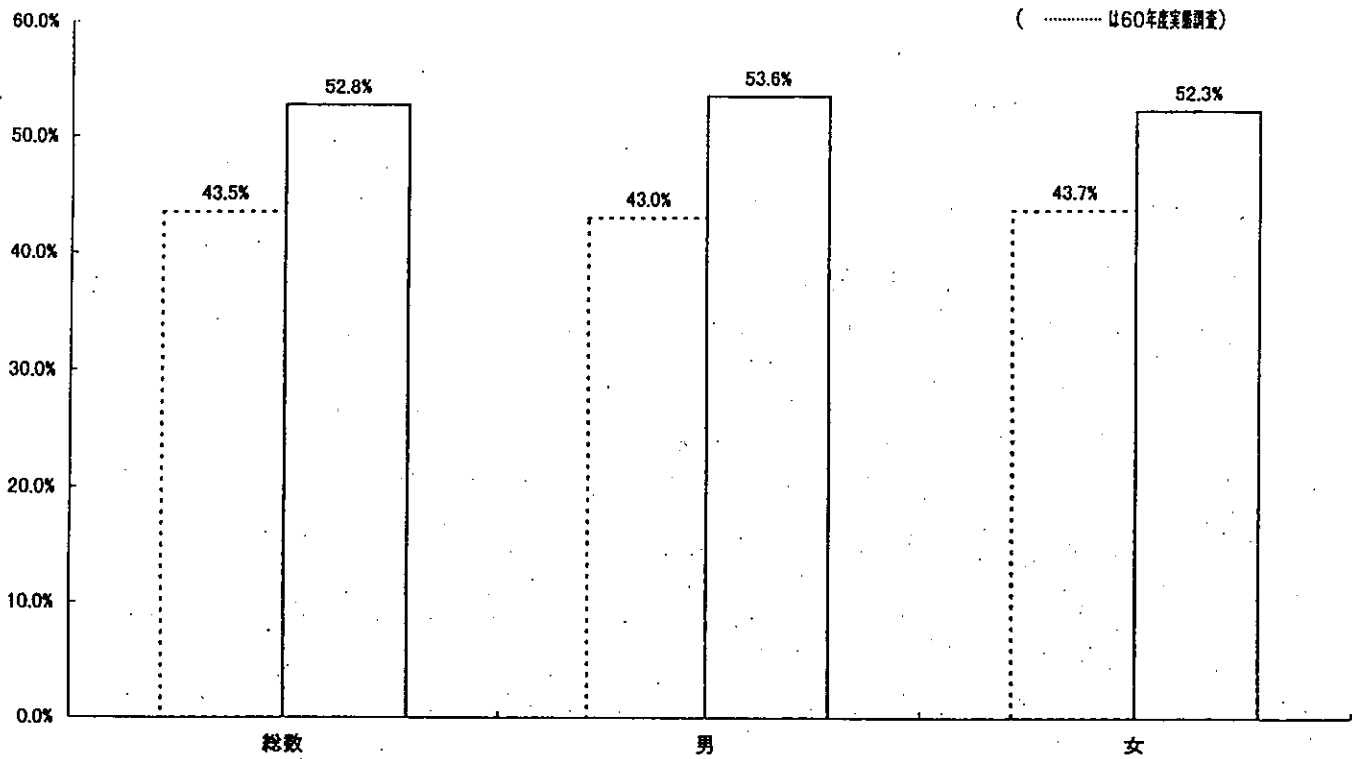
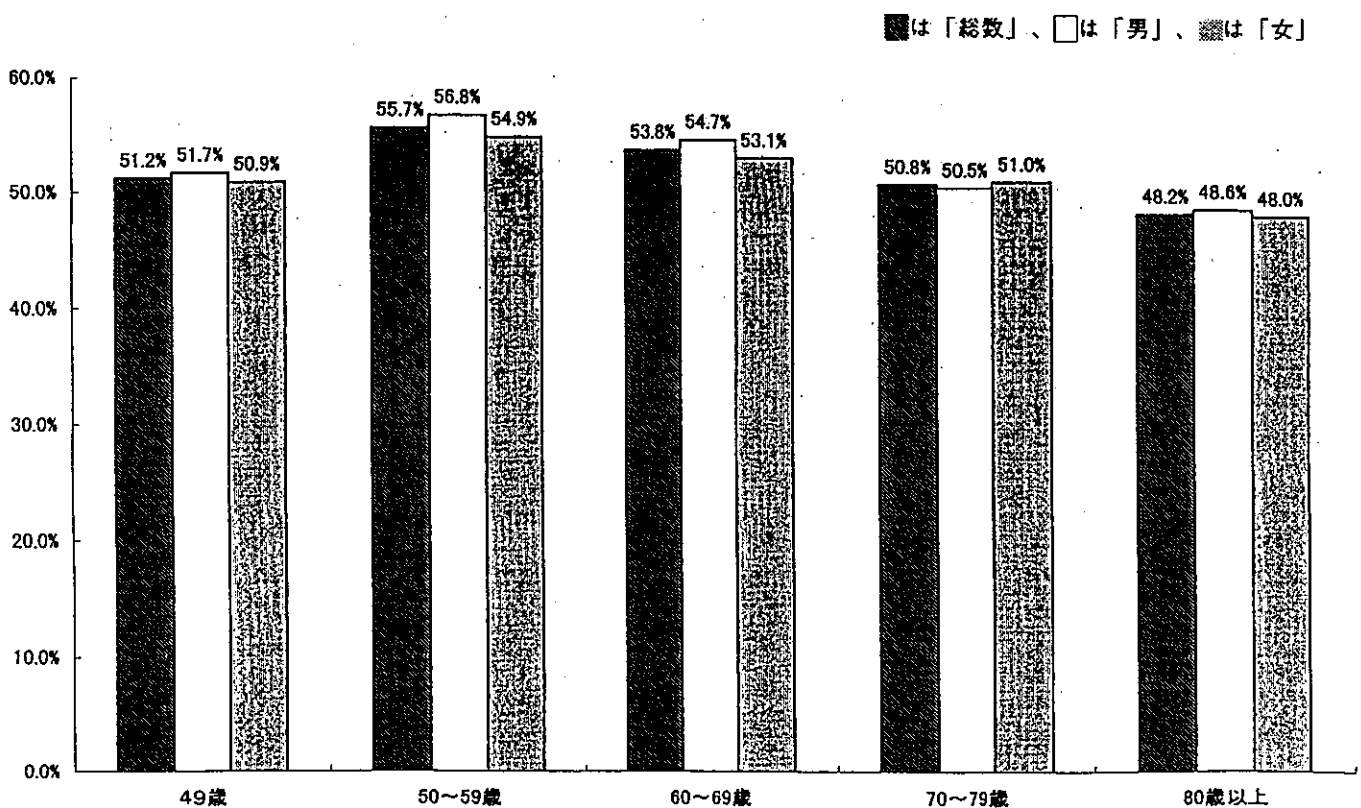


図16-7 性・年齢階級別要精検率



(4) 精密検査の受診状況

一般検査の結果、「要精密検査になった」者96,003人のうち精密検査を受けた者は、71,618人で精密検査受診率は74.6%であり、60年度調査結果82.3%より若干低くなっている(図16-8)。

性別・年齢階級別の精密検査受診率は図16-9のとおりであり、男女ともに70～79才(男78.4%、女78.7%)が最も高く、49才(男57.6%、女68.0%)が最も低くなっている。

都道府県別の精密検査受診率は表16のとおりである。

図16-8 精密検査受診状況

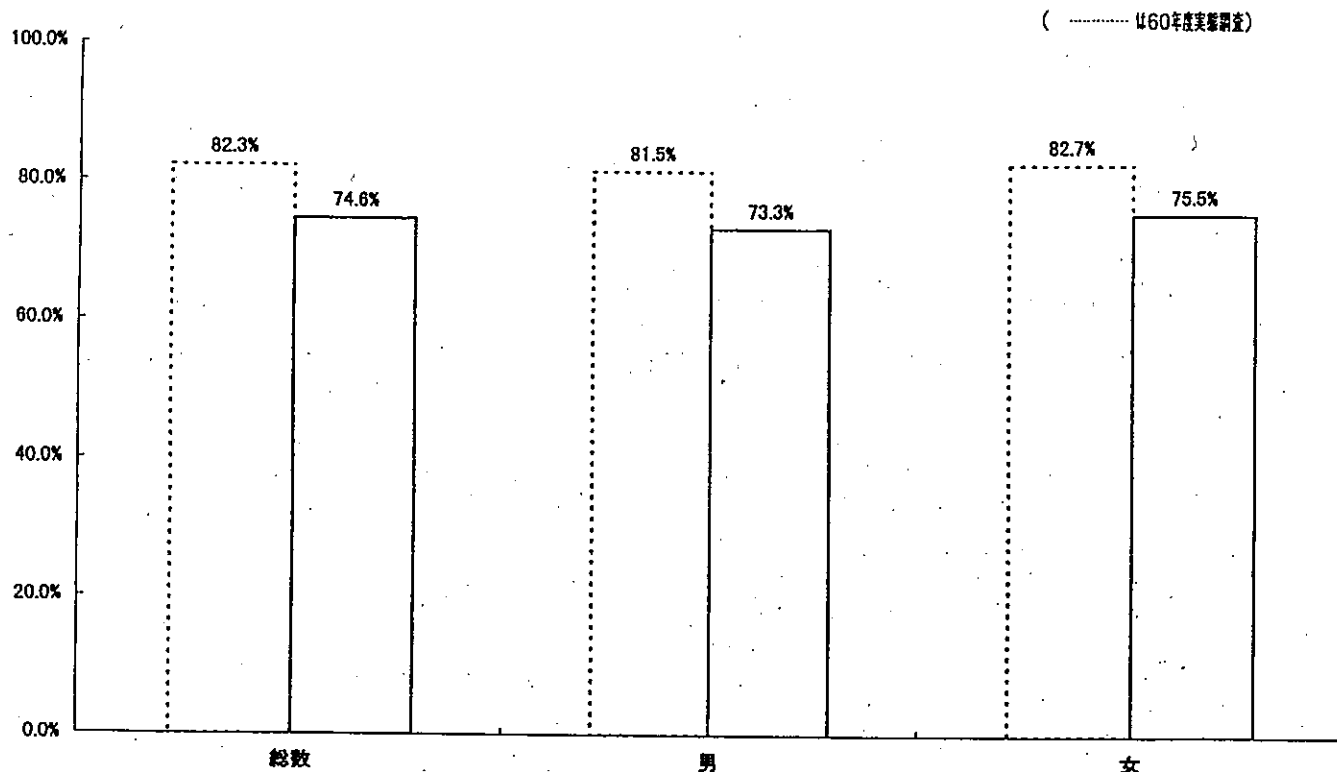
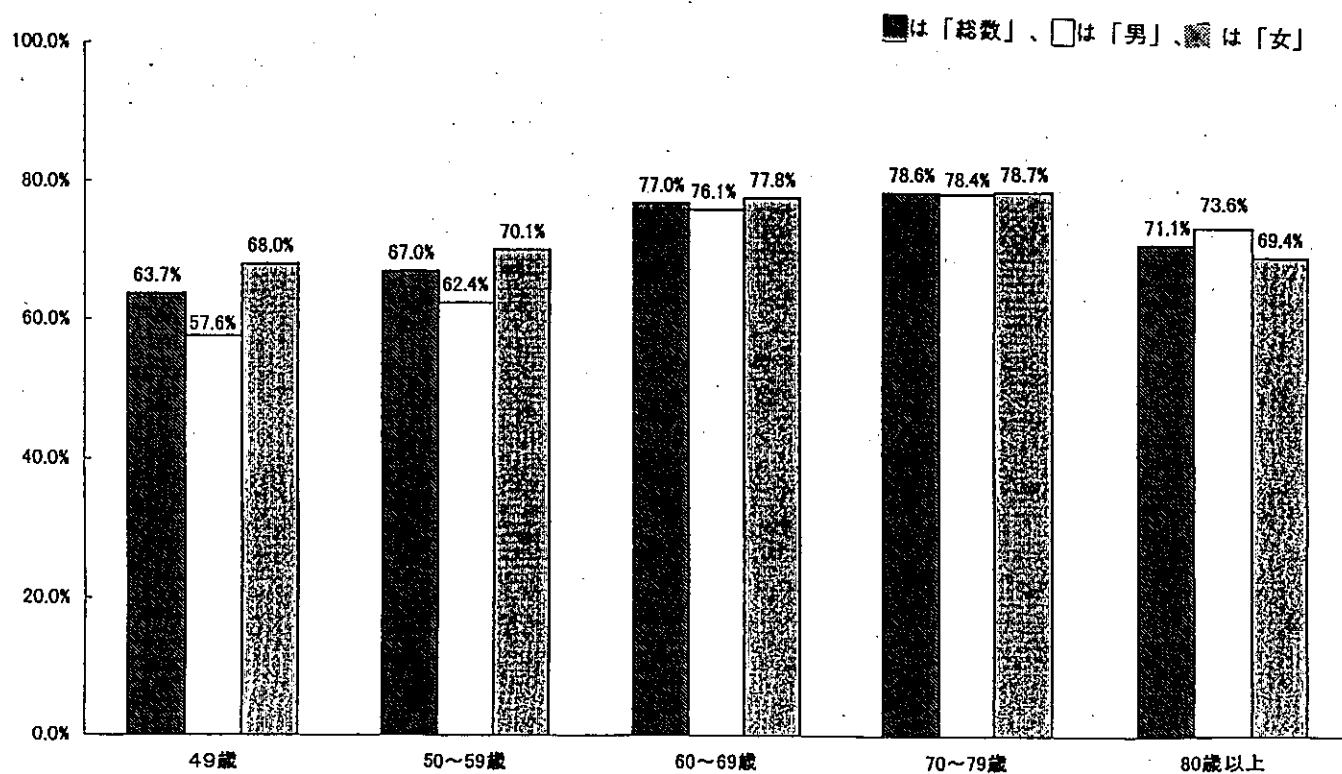


図16-9 性・年齢階級別精密検査受診率



(5) 精密検査の受診結果

精密検査を受診した71,618人のうち、「異常あり」と判定された者は38,439人(53.7%)、「異常なし」と判定された者は27,829人(38.9%)、「未判定及び不詳」の者は5,350人(7.4%)となっている。60年度調査で「異常あり」と判定された者の割合は58.2%であり、若干減少している(図16-10)。

性別・年齢階級別の受診結果は図16-11のとおりであり、「異常あり」と判定された者の割合は、80歳以上を除き男性が女性よりもやや高く、男性では60～69歳が最も高いが、女性では、80歳以上の者の割合が高くなっている。

被爆区分別の受診結果は図16-12のとおりであり、「異常あり」と判定された者の割合は、4号被爆者が低い他は差はみられない。

なお、精密検査で「異常あり」と判定された者の一般検査受診者に占める割合は、総数で21.1%であり、年齢階級別には図16-13のとおりである。

図16-10 性別精密検査受診状況

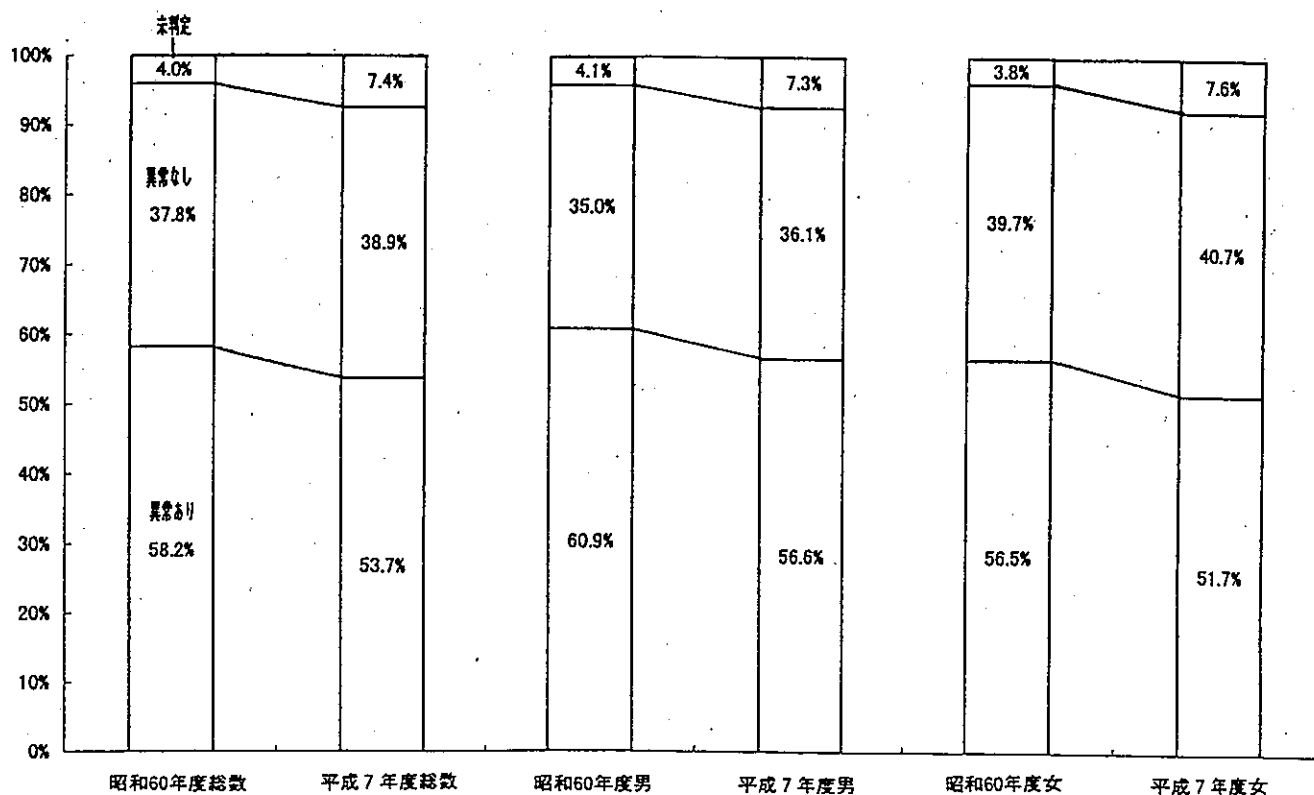


図16-11 性別・年齢階級別精密検査受診結果

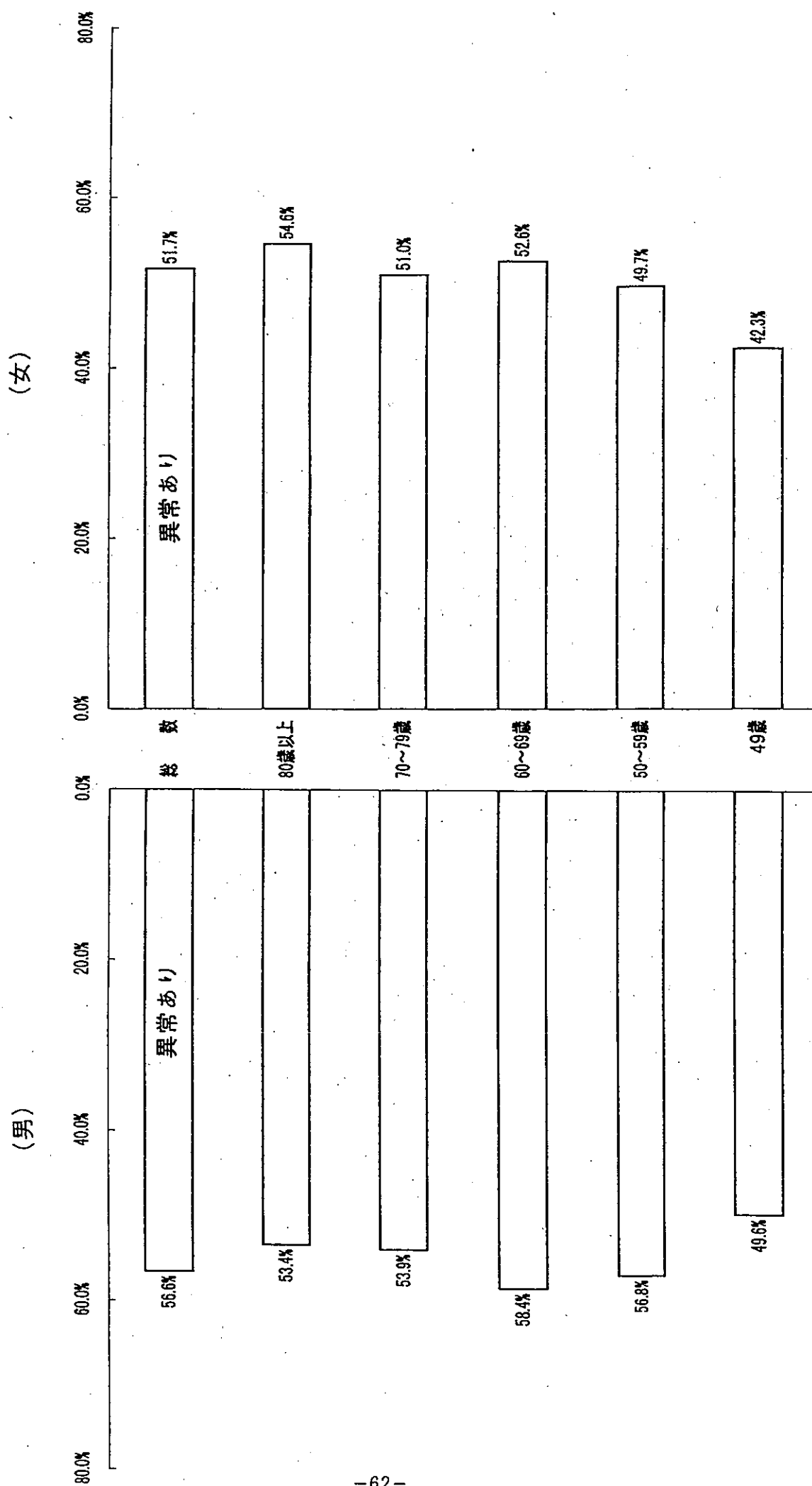
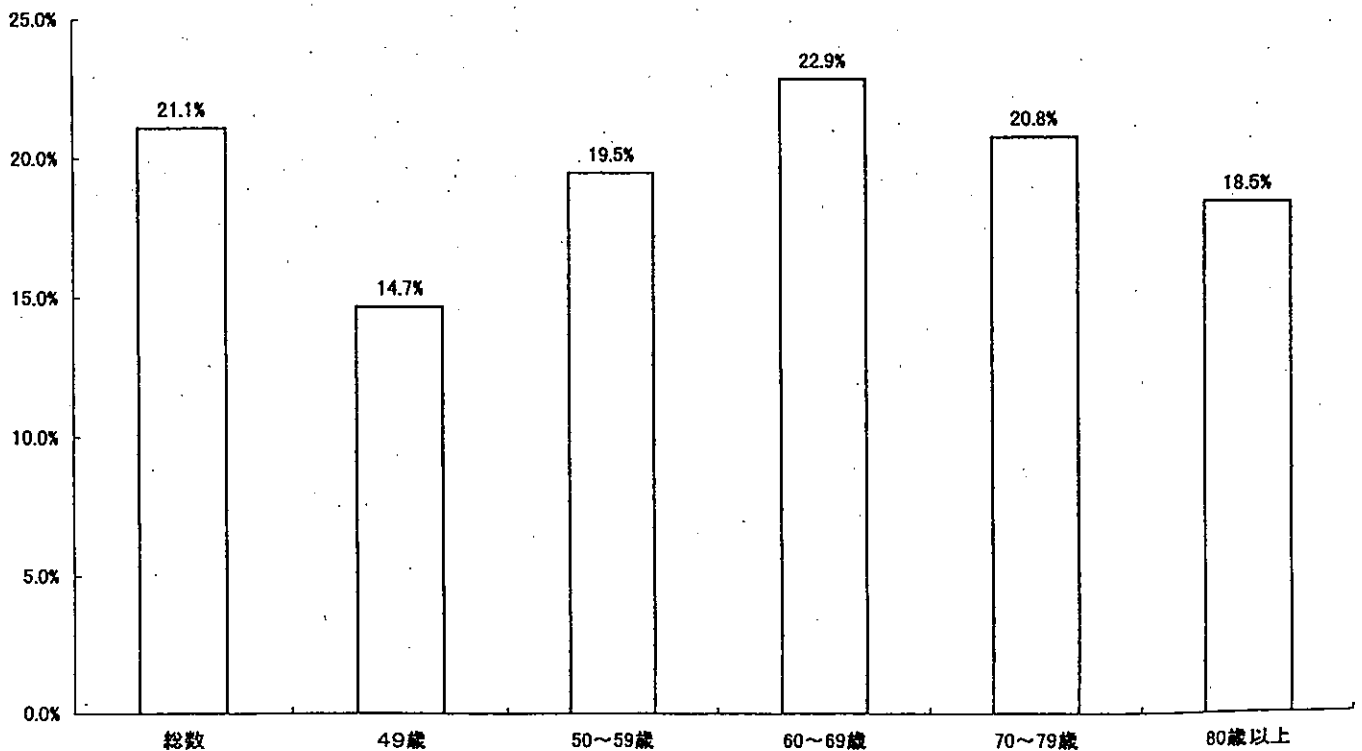


図16-12 被爆区分別精密検査受診結果

	異常あり	異常なし	未判定
1号被爆者総数	54.0%	38.7%	7.3%
1号被爆者 (2Km以下)	53.9%	38.5%	7.6%
1号被爆者 (2.1Km以上)	54.0%	38.8%	7.2%
2号被爆者	53.4%	38.7%	7.9%
3号被爆者	53.2%	39.4%	7.4%
4号被爆者	48.5%	45.3%	6.2%

図16-13 一般検査受診者に占める「精密検査の結果、異常ありと判定された者の割合」(年齢階級別)



1 7 保健・福祉サービスの希望状況

希望する保健・福祉サービスについて回答のあった者は109,506人（男48,712人、女60,769人、不詳25人）であり、なんらかの希望を持つものの割合は全体の44.1%である。これは、60年度調査188,594人（男83,365人、女105,229人、60.2%）に比べて低下している。

事項別にみると、最も希望の多いのは「健康や生活についての相談」で58,132人（全体の23.4%）、次いで「老人ホーム、原爆養護ホーム等への入所」22,661人（9.1%）「身の回りの世話をしてくれる人の派遣」14,931人（6.0%）等の順となっている（図17-1）。

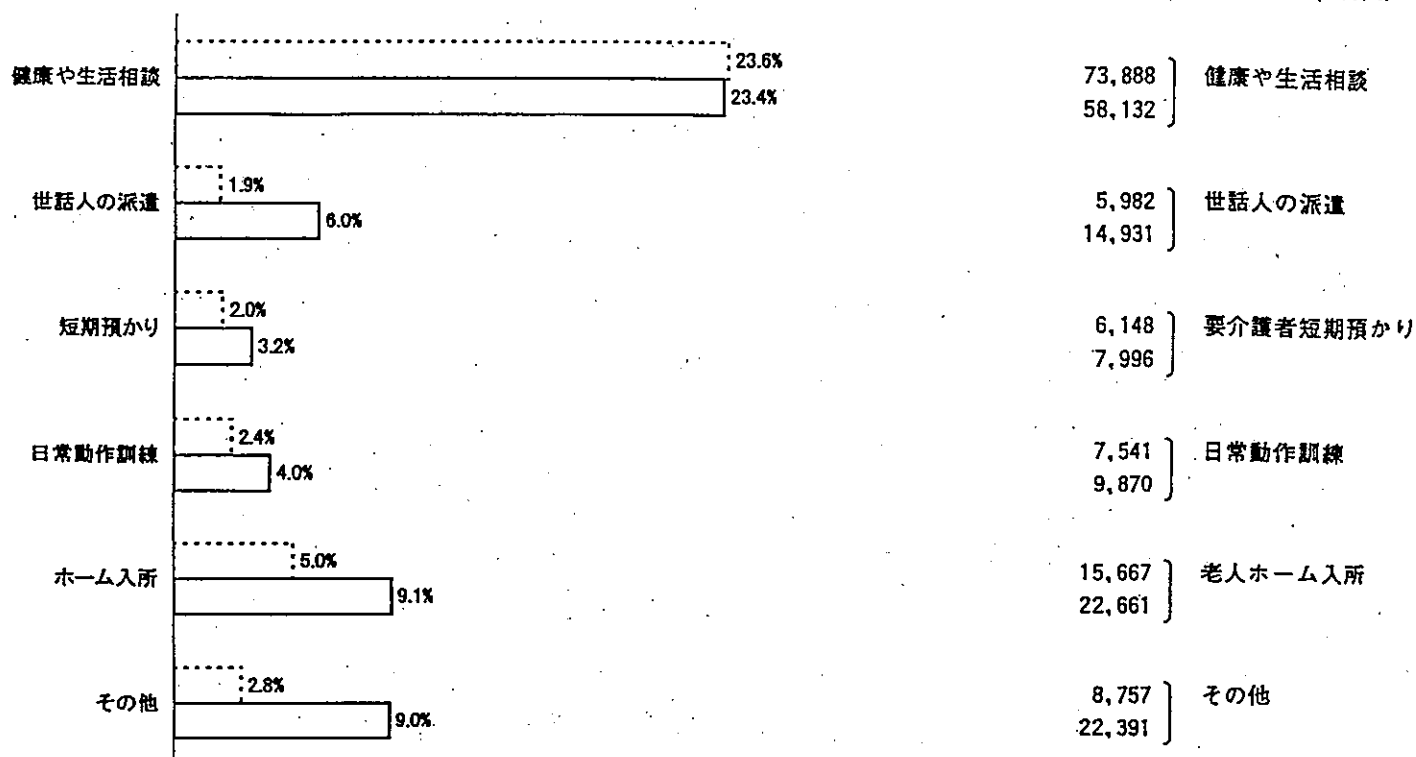
希望事項を年齢階級別にみると、表17のとおりであり、「健康や生活についての相談」は60～69歳が最も高くなっているが、「老人ホーム、原爆養護ホーム等への入所」や「身の回りの世話をしてくれる人の派遣」等については、年齢が高くなるにつれて、挙げる者の割合が高くなっている。

また、寝たきり者等についての希望状況をみると「健康や生活についての相談」を挙げる者（22.7%）が最も多く、次いで「世話人の派遣」（16.7%）、「ホームの入所」（15.5%）の順となっている（図17-2）。

また、介護を受けている者についての希望状況をみると「健康や生活についての相談」（20.3%）、「世話人の派遣」（17.1%）、「ホームへの入所」（14.5%）の順となっている（図17-3）。

図17-1 保健・福祉サービスの希望状況

(—— 60年度実績調査)
(総数；60年313,499人、7年248,553人)



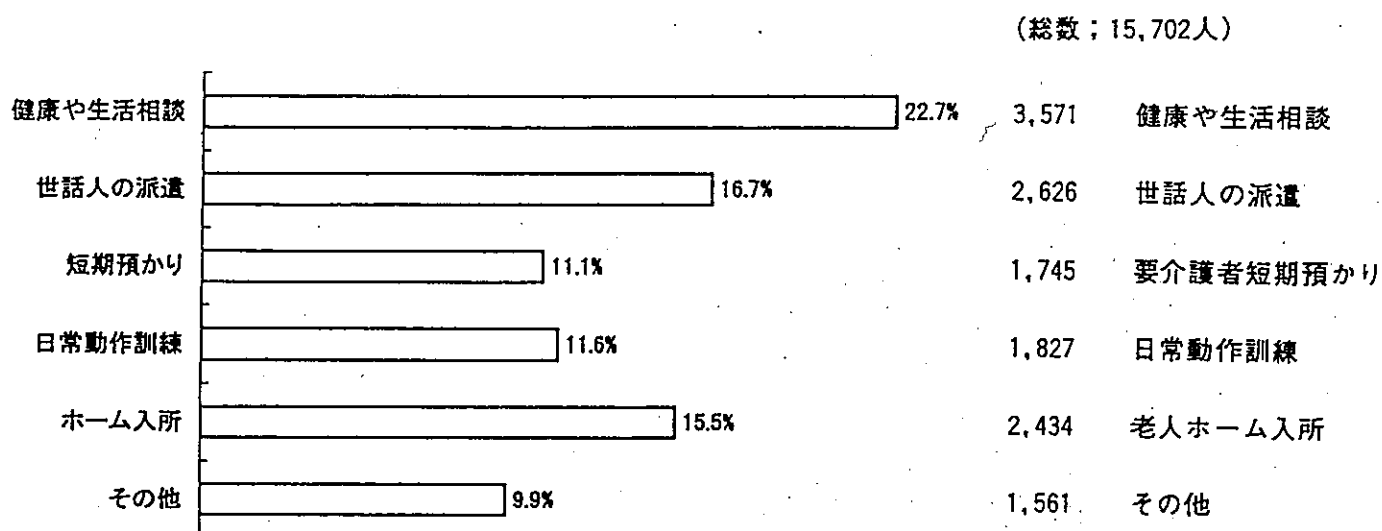
※複数回答有り

表17 保健・福祉サービスの性・年齢階級別希望状況

	総数			49歳			50～59歳			60～69歳			70～79歳			80歳以上		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
被調査者数	248,553	104,907	143,582	3,327	1,518	1,809	56,032	24,832	31,200	100,936	47,538	53,397	59,541	20,871	38,669	28,717	10,148	18,507
健康や生活相談	23.4%	26.9%	20.9%	15.8%	17.7%	16.1%	20.7%	21.4%	20.2%	26.2%	29.7%	23.1%	23.5%	29.1%	20.4%	19.3%	23.8%	16.8%
世話人の派遣	6.0%	5.1%	6.7%	3.0%	3.0%	3.0%	3.8%	3.2%	4.4%	5.1%	4.3%	5.7%	7.4%	6.6%	7.8%	11.1%	10.8%	11.2%
要介護者短期預かり	3.2%	2.7%	3.6%	2.1%	1.8%	2.4%	2.5%	1.9%	2.9%	2.6%	2.2%	3.0%	3.3%	3.2%	3.3%	6.8%	6.0%	7.3%
日常動作訓練	4.0%	3.6%	4.3%	1.6%	1.5%	1.7%	1.8%	1.5%	1.9%	2.8%	2.7%	2.9%	5.4%	5.3%	5.5%	9.6%	9.3%	9.8%
老人ホーム入所	9.1%	8.4%	9.7%	3.9%	3.1%	4.6%	6.0%	5.3%	6.6%	9.4%	8.5%	10.1%	10.7%	10.2%	11.0%	11.7%	12.1%	11.5%
その他	9.0%	9.7%	8.5%	12.9%	14.0%	11.9%	10.9%	12.8%	9.4%	8.2%	8.8%	7.7%	8.2%	8.5%	8.0%	9.4%	8.1%	10.1%

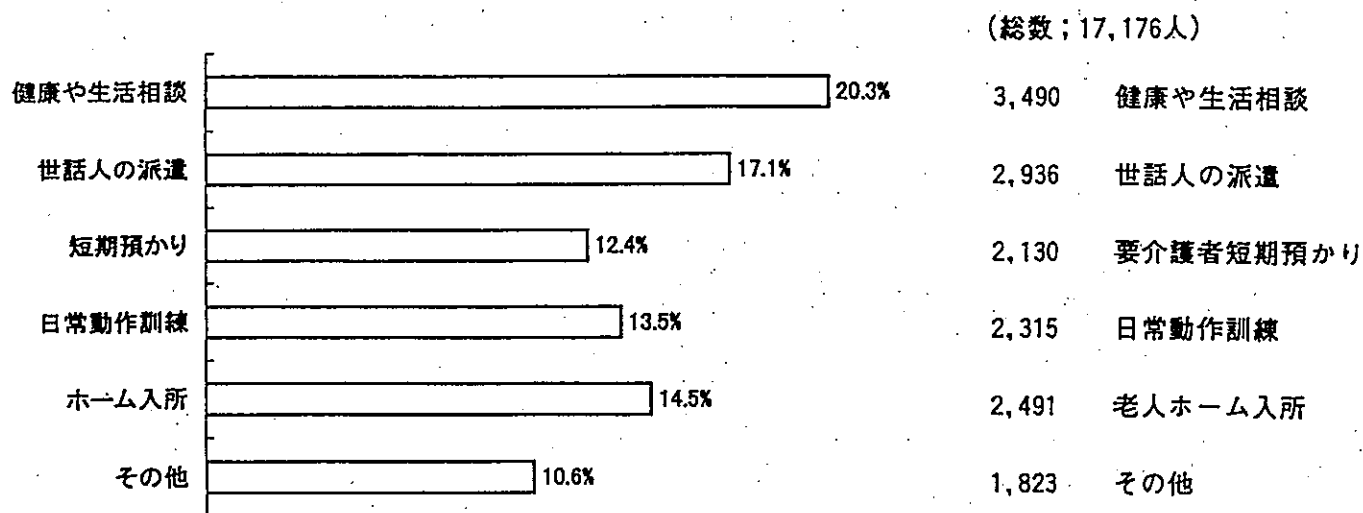
※複数回答有り。また総数には年齢不詳を含む

図17-2 寝たきり者等の保健・福祉サービスの希望状況



※複数回答有り

図17-3 介護を受けている者の保健・福祉サービスの希望状況



※複数回答有り

1 8 苦勞、心配していることの状況

被爆者であることから苦勞したり、心配していることについて回答のあった者は、202,238人（男87,357人、女114,834人、不詳47人、回答割合81.4%）であり、60年度調査270,871人（男116,895人、女153,976人、回答割合86.4%）と比べ、若干回答割合が低下している。

事項別にみると、「自分・家族の健康」を挙げるものが、160,566人（全体の64.6%）と最も多く、次いで「老後の生活」94,737人（38.1%）、「家族の将来」26,173人（10.5%）、「経済上の困窮」26,149人（10.5%）の順となっている（図18-1）。

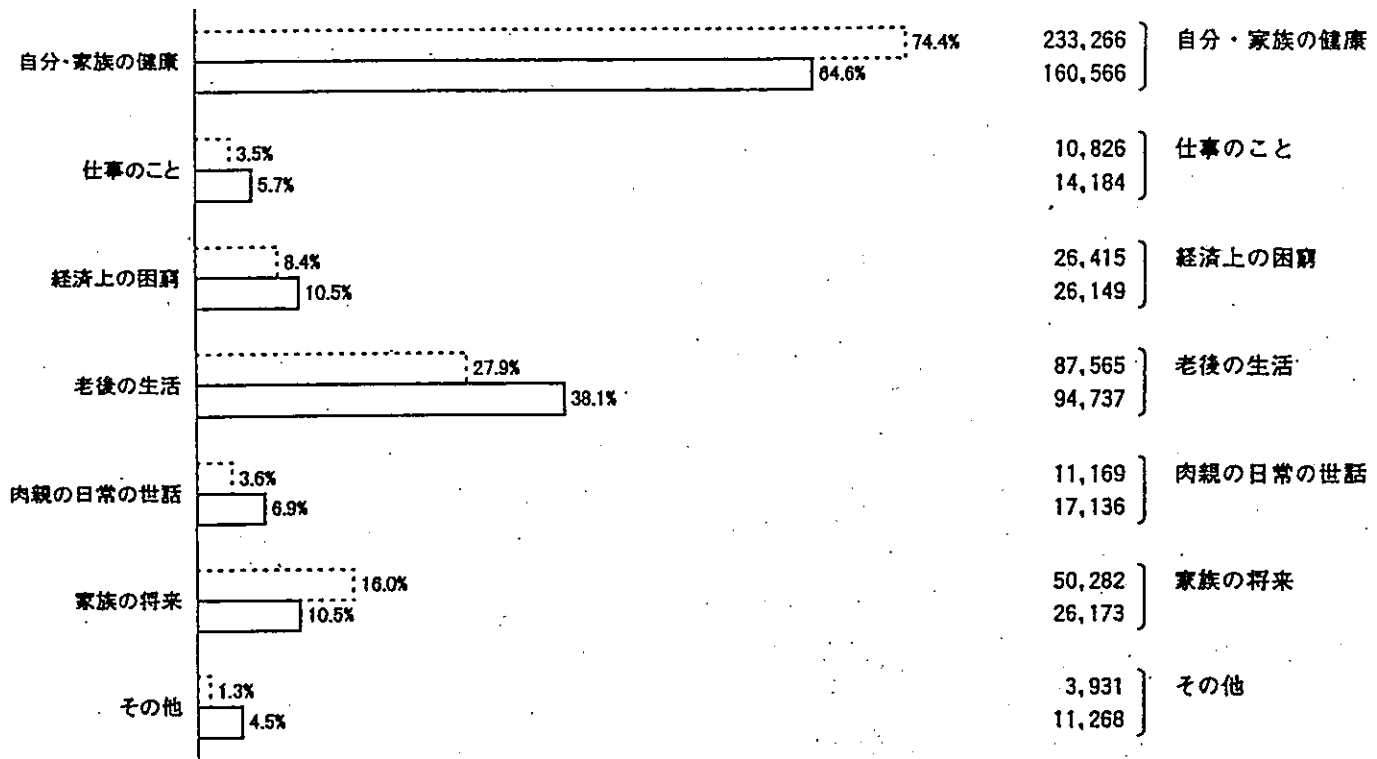
事項を年齢階級別及び被爆区分別にみると、表18-1、表18-2のとおりであり、いずれも「自分・家族の健康」を挙げる者が最も多く、次いで「老後の生活」が挙げられており、事項別と同様の傾向になっている。

また、世帯所得別の苦勞・心配の状況についてみると図18-2のとおりであり、「自分・家族の健康」及び「家族の将来」については、所得が多くなるにつれて、挙げる者の割合が高くなっており、「老後の生活」と「経済上の困窮」は、所得が少なくなるに従い挙げる者の割合が高くなっている。

図18-1 苦勞・心配の状況

(——— 60年度実態調査)

(総数：60年313,499人、7年248,553人)



※複数回答有り

表18-1 苦勞・心配の性・年齢階級別状況

	総数			49歳			50~59歳			60~69歳			70~79歳			80歳以上		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
被調査者数	248,553	104,907	143,582	3,327	1,518	1,809	56,032	24,832	31,200	100,936	47,538	53,397	59,541	20,871	38,669	28,717	10,148	18,507
自分・家族の健康	64.6%	66.8%	63.0%	63.4%	62.1%	64.6%	67.7%	65.9%	69.3%	67.8%	69.9%	65.9%	61.1%	66.0%	58.4%	54.8%	57.0%	53.5%
仕事のこと	5.7%	8.5%	3.7%	9.6%	13.4%	6.3%	10.6%	14.6%	7.4%	5.6%	7.9%	3.6%	2.9%	4.7%	2.0%	1.7%	2.8%	1.0%
経済上の困窮	10.5%	11.8%	9.6%	8.4%	9.3%	7.7%	11.2%	11.3%	11.2%	11.2%	12.5%	10.0%	9.8%	11.4%	8.9%	8.5%	10.8%	7.3%
老後の生活	38.1%	37.9%	38.2%	29.4%	25.8%	32.4%	38.5%	35.0%	41.3%	42.4%	41.4%	43.3%	36.8%	37.9%	36.2%	25.9%	30.6%	23.3%
肉親の日常の世話	6.9%	5.6%	7.8%	8.5%	6.3%	10.3%	8.2%	6.1%	9.8%	6.5%	4.8%	7.9%	6.3%	5.6%	6.6%	7.0%	8.4%	6.3%
家族の将来	10.5%	12.0%	9.5%	16.3%	13.9%	18.2%	15.9%	16.0%	15.9%	10.1%	11.8%	8.6%	8.0%	9.8%	7.1%	6.0%	7.3%	5.3%
その他	4.5%	4.9%	4.3%	5.7%	6.7%	5.0%	4.7%	5.4%	4.2%	4.0%	4.3%	3.9%	4.6%	5.1%	4.4%	5.5%	5.4%	5.5%

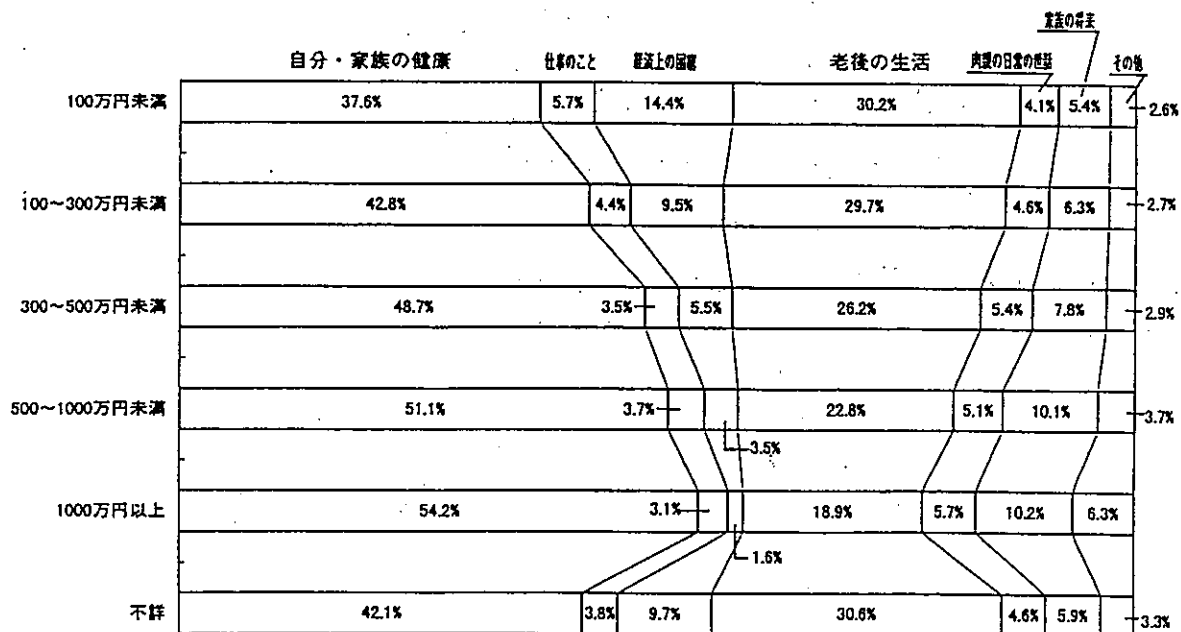
※複数回答有り。また総数には年齢不詳を含む

表18-2 苦労・心配の被爆区分別状況

	総 数	1号被爆者	2号被爆者	3号被爆者	4号被爆者
	人	人	人	人	人
被爆者数	248,553	154,646	66,434	22,042	4,066
	%	%	%	%	%
自分・家族の健康	64.6	65.6	63.7	61.9	68.5
仕事のこと	5.7	5.9	5.1	5.7	9.9
経済上の困窮	10.5	11.0	10.0	9.2	9.3
老後の生活	38.1	39.1	37.2	36.6	32.4
肉親の日常の世話	6.9	6.9	6.9	6.7	8.6
家族の将来	10.5	11.4	9.1	8.0	16.5
その他	4.5	4.6	4.6	3.9	5.6

※複数回答有り。また総数には被爆区分不詳を含む

図18-2 世帯所得別の苦労・心配の状況



※各世帯所得別について、回答延べ数に対する割合を掲載

第3 統計表

目次

第1表	都道府県、年齢階級別被爆者数	7 1
第2表	被爆地別被爆者数	7 2
第3表	性、年齢階級、被爆区分別被爆者数	7 2
第4表	世帯人員、世帯内被爆者人員別世帯数	7 3
第5表	性、年齢階級別住居の種類	7 4
第6表	性、年齢階級別就業の状況	7 5
第7表	所得階級、年齢階級別所得の状況	7 5
第8表	性、年齢階級別手当の受給状況	7 6
第9表	性、年齢階級別生活保護受給の有無	7 7
第10表	性、年齢階級別公的年金・恩給受給の有無	7 7
第11表	年齢階級、種類別医療保険の加入状況	7 8
第12表	性、年齢階級別身体障害者手帳・戦傷病者手帳所持の有無	7 9
第13表	性、年齢階級別通院・入院の有無	8 0
第14表	性、年齢階級別寝たきりの有無	8 1
第15表	性、年齢階級別介護の有無	8 2
第16表	性、年齢階級別一般・精密検査受診状況	8 3
第17表	性、年齢階級別健康・福祉サービスの希望状況	8 4
第18表	性、年齢階級別苦勞・心配の状況	8 5

第1表 都道府県、年齢階級別被爆者数

都道府県名	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
全 国	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
北海道	492	7	87	191	174	31	2
青森	105	1	20	48	32	4	-
岩手	85	2	5	36	31	10	1
宮城	208	4	47	80	64	13	-
秋田	72	1	6	21	38	6	-
山形	76	-	6	26	41	3	-
福島	155	1	29	63	46	16	-
茨城	471	6	129	147	157	32	-
栃木	246	6	58	83	92	6	1
群馬	206	1	32	46	114	13	-
埼玉	1,687	48	608	630	298	102	1
千葉	2,548	58	788	1,094	485	122	1
東京	6,188	100	1,710	2,663	1,268	446	1
神奈川	4,566	102	1,556	1,817	827	263	1
新潟	209	-	26	72	92	19	-
富山	107	3	15	48	29	12	-
石川	118	1	21	54	37	5	-
福井	152	1	23	41	70	17	-
山梨	83	-	16	30	31	6	-
長野	191	4	34	49	79	25	-
岐阜	561	7	135	197	191	31	-
静岡	800	13	201	298	221	67	-
愛知	2,339	41	806	885	473	134	-
三重	620	9	129	225	198	59	-
滋賀	418	6	117	162	108	25	-
京都	1,242	25	354	453	329	81	-
大阪	6,731	112	2,065	2,783	1,369	399	3
兵庫	4,426	64	1,077	1,914	1,049	322	-
奈良	658	8	192	260	148	50	-
和歌山	373	7	66	116	149	35	-
鳥取	591	2	47	291	192	59	-
島根	2,151	7	115	1,101	706	221	1
岡山	2,368	32	345	1,044	692	255	-
広島*	42,528	512	5,355	18,386	11,794	6,420	61
山口	4,778	38	688	2,059	1,491	502	-
徳島	332	3	27	138	146	18	-
香川	642	12	109	266	198	57	-
愛媛	1,215	17	200	479	401	118	-
高知	286	2	24	145	98	17	-
福岡	6,549	88	1,627	2,918	1,487	425	4
佐賀	1,817	13	265	853	501	185	-
長崎**	18,490	199	3,615	8,374	4,248	2,038	16
熊本	1,840	18	289	916	481	135	1
大分	998	10	132	497	286	72	1
宮崎	821	5	87	432	256	40	1
鹿児島	1,402	10	158	680	446	108	-
沖縄	190	-	19	85	75	11	-
広島市	76,313	1,163	19,203	28,537	17,158	10,210	42
長崎市	49,109	558	13,369	19,203	10,645	5,322	12

* 広島市を除く

** 長崎市を除く

第2表 被爆地別被爆者数

被爆地	総数	1号被爆者	2号被爆者	3号被爆者	4号被爆者	不詳
総数	248,553	154,646	66,434	22,042	4,066	1,365
広島被爆	155,680	88,695	49,664	13,661	2,610	1,050
長崎被爆	92,871	65,951	16,769	8,381	1,456	314
被爆地不詳	2	—	1	—	—	1

第3表 性、年齢階級、被爆区分別被爆者数

年齢階級	総数	1号被爆者	2号被爆者	3号被爆者	4号被爆者	不詳
総数						
総数	248,553	154,646	66,434	22,042	4,066	1,365
49歳	3,327	—	—	55	2,928	344
50～59歳	56,032	41,491	9,285	4,037	1,135	84
60～69歳	100,936	62,289	28,241	9,991	—	415
70～79歳	59,541	34,558	19,342	5,312	—	329
80歳以上	28,567	16,230	9,531	2,634	—	172
不詳	150	78	35	13	3	21
男						
総数	104,907	65,038	31,830	5,569	1,880	590
49歳	1,518	—	—	20	1,339	159
50～59歳	24,832	18,536	3,992	1,731	540	33
60～69歳	47,538	29,470	14,851	3,032	—	185
70～79歳	20,871	11,553	8,683	508	—	127
80歳以上	10,103	5,453	4,290	277	—	83
不詳	45	26	14	1	1	3
女						
総数	143,582	89,568	34,600	16,470	2,184	760
49歳	1,809	—	—	35	1,589	185
50～59歳	31,200	22,955	5,293	2,306	595	51
60～69歳	53,397	32,818	13,390	6,959	—	230
70～79歳	38,669	23,004	10,659	4,804	—	202
80歳以上	18,463	10,777	5,240	2,357	—	89
不詳	44	14	18	9	—	3
性別不詳						
総数	64	40	4	3	2	15
49歳	—	—	—	—	—	—
50～59歳	—	—	—	—	—	—
60～69歳	1	1	—	—	—	—
70～79歳	1	1	—	—	—	—
80歳以上	1	—	1	—	—	—
不詳	61	38	3	3	2	15

第4表 世帯人員、世帯内被爆者人員別世帯数

(世帯人員)

人 員	世 帯 数
総 数	2 1 8, 9 3 5
1 人	4 2, 8 7 1
2 人	8 1, 4 7 4
3 人	3 9, 0 5 7
4 人	2 2, 7 7 9
5 人	1 3, 8 8 0
6人以上	1 8, 0 8 9
不 詳	7 8 5

(世帯内被爆者人員)

本人以外人員	世 帯 数
総 数	2 1 8, 9 3 5
0 人	1 8 7, 2 7 2
1 人	2 8, 8 1 7
2 人	2, 6 1 8
3 人	1 9 6
4 人	2 4
5人以上	8

※上記表における世帯人員のうち、1人以外の世帯数176,064（不詳含む）とP13の図4-3にある同居人員（205,392人）は、回答者の誤記入が原因により集計上一致していない。

また、世帯内被爆者人員の表から、被爆者人数を逆算すると253,712人（ $= (187,272 \times 1人) + (28,817 \times 2人) + (2,618 \times 3人) + (196 \times 4人) + (24 \times 5人) + (8 \times 6人)$ ）となるが、これも同様の理由により、有効回答者数（248,553人）と一致しない。

第5表 性、年齢階級別住居の種類

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数*							
総数	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
持ち家	193,138	2,417	41,101	81,570	47,009	20,931	110
民営賃貸	24,142	445	7,662	8,967	5,017	2,038	13
公営・公団	13,254	308	4,438	4,881	2,655	966	6
老人ホーム	2,832	3	32	276	723	1,797	1
その他	5,370	80	1,197	1,622	1,214	1,255	2
不詳	9,817	74	1,602	3,620	2,923	1,580	18
男							
総数	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
持ち家	84,197	1,124	18,193	39,217	17,593	8,030	40
民営賃貸	9,184	202	3,380	3,835	1,191	576	0
公営・公団	5,302	115	1,975	2,140	770	302	0
老人ホーム	671	1	19	132	170	349	0
その他	1,777	41	535	665	274	262	0
不詳	3,776	35	730	1,549	873	584	5
女							
総数	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
持ち家	108,902	1,293	22,908	42,352	29,415	12,900	34
民営賃貸	14,946	243	4,282	5,132	3,826	1,462	1
公営・公団	7,949	193	2,463	2,741	1,885	664	3
老人ホーム	2,160	2	13	144	553	1,448	0
その他	3,591	39	662	957	940	993	0
不詳	6,034	39	872	2,071	2,050	996	6

* 性別不詳64名を含む

第6表 性、年齢階級別就業の状況

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数*	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
自営業	32,394	460	8,444	14,893	6,964	1,614	19
常勤者	42,348	1,709	25,581	12,757	2,021	266	14
臨時的仕事	14,809	302	4,323	7,954	1,962	259	9
仕事無し	138,117	746	15,475	57,643	41,083	23,103	67
不詳	20,885	110	2,209	7,689	7,511	3,325	41
男	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
自営業	18,785	234	4,390	9,100	3,996	1,057	8
常勤者	28,905	1,113	16,922	9,445	1,242	180	3
臨時的仕事	6,534	26	581	4,672	1,093	162	0
仕事無し	44,267	97	2,159	21,821	12,700	7,469	21
不詳	6,416	48	780	2,500	1,840	1,235	13
女	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
自営業	13,602	226	4,054	5,793	2,968	557	4
常勤者	13,433	596	8,659	3,312	779	86	1
臨時的仕事	8,272	276	3,742	3,282	869	97	6
仕事無し	93,824	649	13,316	35,822	28,382	15,633	22
不詳	14,451	62	1,429	5,188	5,671	2,090	11

* 性別不詳64名を含む

第7表 所得階級、年齢階級別所得の状況

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
100万未満	24,603	160	3,367	8,849	7,581	4,626	20
100～300	66,375	424	9,157	31,308	18,140	7,313	33
300～500	58,493	628	12,088	28,207	12,554	4,988	28
500～1000	50,128	1,431	19,461	16,620	8,169	4,433	14
1000万以上	17,035	500	8,041	4,851	2,146	1,493	4
不詳	31,919	184	3,918	11,101	10,951	5,714	51

第8表 性、年齢階級別手当の受給状況

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数*	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
受けている	207,325	2,021	41,247	86,664	52,150	25,135	108
医療特別手当	5,844	43	890	2,144	1,662	1,099	6
特別手当	2,602	20	536	945	696	403	2
原子爆弾小頭症手当	24	12	-	-	-	-	12
健康管理手当	183,378	1,596	35,188	77,807	46,659	22,040	88
保健手当（一般分）	10,660	325	3,591	3,911	1,965	860	8
保健手当（増額分）	1,167	2	243	532	283	106	1
家族介護手当	961	6	56	251	282	365	1
介護手当	1,110	4	64	239	250	553	-
受給の不詳	4,626	44	911	1,602	1,217	849	3
受けていない	32,838	1,236	13,500	11,480	4,691	1,914	17
不詳	8,390	70	1,285	2,792	2,700	1,518	25
男	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
受けている	84,583	882	17,440	39,919	17,688	8,620	34
医療特別手当	2,179	19	398	914	467	380	1
特別手当	876	8	253	350	170	95	-
原子爆弾小頭症手当	14	5	-	-	-	-	9
健康管理手当	74,495	689	14,632	35,759	15,836	7,548	31
保健手当（一般分）	5,064	142	1,651	2,041	859	369	2
保健手当（増額分）	519	2	100	278	106	33	-
家族介護手当	414	3	25	145	128	112	1
介護手当	392	-	27	120	93	152	-
受給の不詳	1,849	22	465	733	342	287	-
受けていない	17,084	600	6,820	6,410	2,376	875	3
不詳	3,240	36	572	1,209	807	608	8
女	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
受けている	122,701	1,139	23,807	46,745	34,461	16,514	35
医療特別手当	3,665	24	492	1,230	1,195	719	5
特別手当	1,724	12	283	595	526	308	-
原子爆弾小頭症手当	10	7	-	-	-	-	3
健康管理手当	108,849	907	20,556	42,048	30,822	14,491	25
保健手当（一般分）	5,592	183	1,940	1,870	1,106	491	2
保健手当（増額分）	648	-	143	254	177	73	1
家族介護手当	547	3	31	106	154	253	-
介護手当	718	4	37	119	157	401	-
受給の不詳	2,776	22	446	869	875	562	2
受けていない	15,746	636	6,680	5,070	2,315	1,039	6
不詳	5,135	34	713	1,582	1,893	910	3

* 性別不詳64名を含む

第9表 性、年齢階級別生活保護受給の有無

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数 *							
総数	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
受けている	3,384	30	722	1,334	868	422	8
受けていない	231,018	3,232	53,755	94,323	53,909	25,689	110
不詳	14,151	65	1,555	5,279	4,764	2,456	32
男							
総数	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
受けている	1,273	12	316	594	228	122	1
受けていない	98,485	1,470	23,855	44,771	19,298	9,058	33
不詳	5,149	36	661	2,173	1,345	923	11
女							
総数	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
受けている	2,109	18	406	740	640	300	5
受けていない	132,489	1,762	29,900	49,552	34,610	16,630	35
不詳	8,984	29	894	3,105	3,419	1,533	4

* 性別不詳64名を含む

第10表 性、年齢階級別公的年金・恩給受給の有無

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数 *							
総数	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
受けている	164,998	127	3,991	81,480	53,557	25,746	97
受けていない	72,242	3,103	49,662	15,440	2,895	1,112	30
不詳	11,313	97	2,379	4,016	3,089	1,709	23
男							
総数	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
受けている	70,784	51	1,211	40,697	19,548	9,245	32
受けていない	30,140	1,420	22,683	5,281	483	268	5
不詳	3,983	47	938	1,560	840	590	8
女							
総数	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
受けている	94,184	76	2,780	40,783	34,008	16,500	37
受けていない	42,082	1,683	26,979	10,159	2,412	844	5
不詳	7,316	50	1,441	2,455	2,249	1,119	2

* 性別不詳64名を含む

第11表 年齢階級、種類別医療保険の加入状況

		総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数		248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
国民健康保健		158,886	1,016	19,206	72,160	45,626	20,798	80
被用者保険	政管健保	本人	410	7,554	6,130	1,310	263	5
		家族	156	3,237	3,504	2,226	1,662	3
		不詳	64	1,126	1,264	348	124	3
	組合健保	本人	461	6,790	3,030	308	51	3
		家族	340	4,927	2,397	1,689	1,281	5
		不詳	86	1,331	750	243	128	4
	共済	本人	183	2,714	1,418	242	103	1
		家族	138	1,843	1,304	1,113	753	3
		不詳	30	537	371	155	83	2
	船員保険	本人	4	134	63	21	12	1
		家族	11	171	90	106	37	-
		不詳	1	61	55	34	11	-
	その他	6,423	187	2,425	2,260	995	554	2
不詳		18,226	240	3,976	6,140	5,125	2,707	38

第12表 性、年齢階級別身体障害者手帳・戦傷病者手帳所持の有無

	総数	4 9 歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不 詳
総数 *	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
身障手帳 総 数	19,370	91	2,101	7,169	6,346	3,648	15
1 級	3,981	25	523	1,494	1,192	746	1
2 級	2,973	9	345	1,104	919	595	1
3 級	3,733	13	387	1,436	1,284	608	5
4 級	3,947	15	386	1,460	1,337	745	4
5 級	2,230	16	233	882	769	328	2
6 級	2,065	8	178	699	700	478	2
不 詳	441	5	49	94	145	148	-
戦傷病者手帳	1,097	1	14	237	597	247	1
身障及び戦傷 (再掲)	446	1	3	60	260	121	1
手帳なし	191,983	3,032	49,040	77,469	42,302	20,053	87
不 詳	36,549	204	4,880	16,121	10,556	4,740	48
男	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
身障手帳 総 数	10,348	51	1,106	4,276	3,181	1,729	5
1 級	2,053	13	276	847	579	337	1
2 級	1,491	5	163	626	438	258	1
3 級	2,027	7	202	889	644	284	1
4 級	2,122	12	219	866	666	358	1
5 級	1,277	7	129	550	427	164	-
6 級	1,158	5	90	438	363	261	1
不 詳	220	2	27	60	64	67	-
戦傷病者手帳	922	-	11	125	558	227	1
身障及び戦傷 (再掲)	404	-	3	34	253	113	1
手帳なし	80,784	1,367	21,778	36,500	14,532	6,583	24
不 詳	13,257	100	1,940	6,671	2,853	1,677	16
女	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
身障手帳 総 数	9,015	40	995	2,893	3,164	1,918	5
1 級	1,926	12	247	647	612	408	-
2 級	1,482	4	182	478	481	337	-
3 級	1,704	6	185	547	640	324	2
4 級	1,824	3	167	594	671	387	2
5 級	951	9	104	332	342	164	-
6 級	907	3	88	261	337	217	1
不 詳	221	3	22	34	81	81	-
戦傷病者手帳	175	1	3	112	39	20	-
身障及び戦傷 (再掲)	42	1	-	26	7	8	-
手帳なし	111,164	1,665	27,262	40,969	27,770	13,470	28
不 詳	23,270	104	2,940	9,449	7,703	3,063	11

* 性別不詳64名を含む

第13表 性、年齢階級別通院・入院の有無

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数 *							
総数	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
入院	15,729	81	1,781	5,062	4,694	4,099	12
老人保健施設に入所	1,456	2	17	117	410	910	-
通院総数	184,497	1,879	36,818	79,494	47,205	19,006	95
病院・診療所に通院	175,784	1,697	33,895	75,987	45,623	18,492	90
歯科診療所に通院	41,752	435	8,597	19,332	10,377	2,991	20
在宅医療	5,703	16	386	1,593	1,576	2,128	4
受けなかった	31,920	1,136	13,726	10,794	4,208	2,044	12
男							
総数	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
入院	7,271	45	997	3,022	1,889	1,314	4
老人保健施設に入所	458	1	9	62	137	249	-
通院総数	76,334	793	15,328	36,721	16,493	6,973	26
病院・診療所に通院	72,112	711	13,922	34,847	15,854	6,753	25
歯科診療所に通院	18,543	194	3,707	9,313	3,946	1,379	4
在宅医療	2,496	8	208	879	652	749	-
受けなかった	16,126	579	6,989	5,938	1,778	839	3
女							
総数	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
入院	8,452	36	784	2,040	2,805	2,785	2
老人保健施設に入所	998	1	8	55	273	661	-
通院総数	108,122	1,086	21,490	42,772	30,711	12,033	30
病院・診療所に通院	103,634	986	19,973	41,139	29,768	11,739	29
歯科診療所に通院	23,194	241	4,890	10,018	6,431	1,612	2
在宅医療	3,204	8	178	714	924	1,378	2
受けなかった	15,787	557	6,737	4,856	2,430	1,205	2

* 性別不詳64名を含む

「受けなかった」を除く各回答事項間において、重複回答有り

第14表 性、年齢階級別寝たきりの有無

	総 数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不 詳
総数 *							
総 数	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
寝たきり総数	5,027	6	110	691	1,141	3,077	2
1ヶ月未満	157	1	7	37	38	74	-
1ヶ月～6ヶ月	556	-	17	87	167	285	-
6ヶ月～1年	562	-	7	80	125	350	-
1年以上	3,344	2	62	439	724	2,116	1
不詳	408	3	17	48	87	252	1
寝たり起きたり	10,675	20	635	2,763	3,241	4,009	7
寝たきりでない	232,617	3,301	55,259	97,412	55,097	21,409	139
不 詳	234	-	28	70	62	72	2
男							
総 数	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
寝たきり総数	1,778	4	56	401	486	831	-
1ヶ月未満	68	-	5	23	15	25	-
1ヶ月～6ヶ月	247	-	7	50	79	111	-
6ヶ月～1年	204	-	3	44	53	104	-
1年以上	1,121	2	34	254	310	521	-
不詳	138	2	7	30	29	70	-
寝たり起きたり	4,339	5	284	1,476	1,254	1,317	3
寝たきりでない	98,688	1,509	24,476	45,631	19,102	7,928	42
不 詳	102	-	16	30	29	27	-
女							
総 数	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
寝たきり総数	3,247	2	54	290	655	2,245	1
1ヶ月未満	89	1	2	14	23	49	-
1ヶ月～6ヶ月	309	-	10	37	88	174	-
6ヶ月～1年	358	-	4	36	72	246	-
1年以上	2,221	-	28	185	414	1,594	-
不詳	270	1	10	18	58	182	1
寝たり起きたり	6,335	15	351	1,287	1,987	2,692	3
寝たきりでない	133,870	1,792	30,783	51,780	35,994	13,481	40
不 詳	130	-	12	40	33	45	-

* 性別不詳64名を含む

「寝たきり」=全く寝たきり+ほとんど寝たきり

第15表 性、年齢階級別介護の有無

	総数	49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳
総数*	248,553	3,327	56,032	100,936	59,541	28,567	150
受けている	17,176	31	673	3,406	4,682	8,376	8
入浴	11,221	19	366	1,928	2,756	6,146	6
家内移動	5,542	5	146	852	1,356	3,181	2
衣服の着脱	8,805	8	288	1,561	2,168	4,776	4
排便	6,249	4	149	879	1,490	3,722	5
食事	8,046	11	235	1,359	2,119	4,321	1
その他	3,758	9	183	773	992	1,801	-
不詳	1,728	5	100	471	634	516	2
受けてない	208,091	3,146	51,960	87,166	48,097	17,620	102
不詳	23,286	150	3,399	10,364	6,762	2,571	40
男	104,907	1,518	24,832	47,538	20,871	10,103	45
受けている	6,513	17	318	1,819	1,872	2,486	1
入浴	4,225	10	180	1,131	1,166	1,737	1
家内移動	2,011	4	66	483	595	862	1
衣服の着脱	3,766	6	147	991	1,090	1,531	1
排便	2,429	3	84	549	700	1,092	1
食事	2,825	7	117	734	792	1,175	-
その他	1,235	4	70	347	334	480	-
不詳	661	2	47	189	212	211	-
受けてない	90,186	1,425	23,162	41,826	17,118	6,622	33
不詳	8,208	76	1,352	3,893	1,881	995	11
女	143,582	1,809	31,200	53,397	38,669	18,463	44
受けている	10,658	14	355	1,587	2,810	5,889	3
入浴	6,992	9	186	797	1,590	4,408	2
家内移動	3,529	1	80	369	761	2,318	-
衣服の着脱	5,036	2	141	570	1,078	3,244	1
排便	3,817	1	65	330	790	2,629	2
食事	5,220	4	118	625	1,327	3,145	1
その他	2,523	5	113	426	658	1,321	-
不詳	1,066	3	53	282	422	305	1
受けてない	117,862	1,721	28,798	45,339	30,978	10,998	28
不詳	15,062	74	2,047	6,471	4,881	1,576	13

* 性別不詳64名を含む

「受けている」の各回答項目間において、重複回答有り

第16表 性、年齢階級別一般・精密検査受診状況

	総 計	計	受 け た								精密検査 不要	不 詳
			計	要 精 密 検 査					受けない	不 詳		
				計	異常あり	異常なし	未判定	不 詳				
総 数*	248,553	181,810	96,003	71,618	38,439	27,829	2,783	2,567	21,991	2,394	76,713	9,094
4 9 歳	3,327	1,892	969	617	278	297	33	9	329	23	857	66
5 0 ～ 5 9	56,032	36,167	20,130	13,480	7,067	5,539	533	341	6,223	427	14,588	1,449
6 0 ～ 6 9	100,936	78,172	42,066	32,399	17,896	12,120	1,325	1,058	8,678	989	32,400	3,706
7 0 ～ 7 9	59,541	46,742	23,757	18,666	9,706	7,431	678	851	4,416	675	20,357	2,628
8 0 歳以上	28,567	18,725	9,023	6,408	3,472	2,423	212	301	2,335	280	8,469	1,233
不 詳	150	112	58	48	20	19	2	7	10	-	42	12
男	104,907	74,493	39,904	29,258	16,562	10,576	1,158	962	9,760	886	31,302	3,287
4 9 歳	1,518	786	406	234	116	105	9	4	162	10	346	34
5 0 ～ 5 9	24,832	14,555	8,269	5,161	2,930	1,902	204	125	2,948	160	5,728	558
6 0 ～ 6 9	47,538	35,777	19,564	14,887	8,692	5,153	599	443	4,264	413	14,670	1,543
7 0 ～ 7 9	20,871	16,227	8,190	6,418	3,457	2,446	251	264	1,567	205	7,304	733
8 0 歳以上	10,103	7,115	3,459	2,547	1,362	968	95	122	814	98	3,238	418
不 詳	45	33	16	11	5	2	-	4	5	-	16	1
女	143,582	107,269	56,075	42,340	21,871	17,242	1,623	1,604	12,227	1,508	45,394	5,800
4 9 歳	1,809	1,106	563	383	162	192	24	5	167	13	511	32
5 0 ～ 5 9	31,200	21,612	11,861	8,319	4,137	3,637	329	216	3,275	267	8,860	891
6 0 ～ 6 9	53,397	42,394	22,502	17,512	9,204	6,967	726	615	4,414	576	17,729	2,163
7 0 ～ 7 9	38,669	30,514	15,566	12,247	6,249	4,984	427	587	2,849	470	13,053	1,895
8 0 歳以上	18,463	11,610	5,564	3,861	2,110	1,455	117	179	1,521	182	5,231	815
不 詳	44	33	19	18	9	7	-	2	1	-	10	4

* 性別不詳64名を含む

第17表 性、年齢階級別健康・福祉サービスの希望状況

	総 数	4 9 歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不 詳
総 数							
健康や生活相談	58,132	559	11,608	26,461	13,965	5,519	20
世話人の派遣	14,931	101	2,157	5,114	4,377	3,174	8
要介護短期預かり	7,996	71	1,376	2,638	1,950	1,956	5
日常動作訓練	9,870	53	982	2,851	3,226	2,749	9
ホーム入所	22,661	131	3,352	9,447	6,370	3,345	16
その他	22,391	429	6,117	8,287	4,864	2,685	9
男							
健康や生活相談	28,175	268	5,316	14,102	6,073	2,408	8
世話人の派遣	5,360	46	796	2,048	1,371	1,094	5
要介護短期預かり	2,790	27	471	1,025	660	604	3
日常動作訓練	3,749	23	379	1,303	1,101	940	3
ホーム入所	8,761	47	1,307	4,056	2,127	1,221	3
その他	10,176	213	3,172	4,192	1,774	825	-
女							
健康や生活相談	29,950	291	6,292	12,359	7,892	3,111	5
世話人の派遣	9,569	55	1,361	3,066	3,006	2,079	2
要介護短期預かり	5,205	44	905	1,613	1,290	1,352	1
日常動作訓練	6,120	30	603	1,548	2,125	1,809	5
ホーム入所	13,890	84	2,045	5,391	4,243	2,124	3
その他	12,209	216	2,945	4,095	3,090	1,860	3
性別不詳							
健康や生活相談	7	-	-	-	-	-	7
世話人の派遣	2	-	-	-	-	1	1
要介護短期預かり	1	-	-	-	-	-	1
日常動作訓練	1	-	-	-	-	-	1
ホーム入所	10	-	-	-	-	-	10
その他	6	-	-	-	-	-	6

各回答項目間において、重複回答有り

第18表 性・年齢階級別苦勞・心配の状況

	総 数	4 9 歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不 詳
総 数							
自分・家族の健康	160,566	2,110	37,958	68,417	36,356	15,654	71
仕事のこと	14,184	318	5,954	5,698	1,732	476	6
経済上の困窮	26,149	281	6,279	11,298	5,840	2,432	19
老後の生活	94,737	978	21,575	42,816	21,931	7,385	52
肉親の日常の世話	17,136	282	4,576	6,527	3,731	2,014	6
家族の将来	26,173	541	8,927	10,186	4,784	1,719	16
その他	11,268	191	2,647	4,084	2,761	1,577	8
男							
自分・家族の健康	70,079	942	16,352	33,218	13,783	5,765	19
仕事のこと	8,872	204	3,632	3,774	977	285	-
経済上の困窮	12,352	141	2,796	5,935	2,389	1,089	2
老後の生活	39,811	391	8,695	19,697	7,920	3,092	16
肉親の日常の世話	5,917	96	1,510	2,303	1,160	845	3
家族の将来	12,550	211	3,962	5,590	2,049	737	1
その他	5,091	101	1,351	2,026	1,060	552	1
女							
自分・家族の健康	90,455	1,168	21,606	35,199	22,572	9,888	22
仕事のこと	5,306	114	2,322	1,924	755	191	-
経済上の困窮	13,785	140	3,483	5,362	3,451	1,343	6
老後の生活	54,905	587	12,880	23,118	14,011	4,293	16
肉親の日常の世話	11,216	186	3,066	4,224	2,571	1,169	-
家族の将来	13,612	330	4,965	4,596	2,735	982	4
その他	6,172	90	1,296	2,058	1,701	1,025	2
性別不詳							
自分・家族の健康	32	-	-	-	1	1	30
仕事のこと	6	-	-	-	-	-	6
経済上の困窮	12	-	-	1	-	-	11
老後の生活	21	-	-	1	-	-	20
肉親の日常の世話	3	-	-	-	-	-	3
家族の将来	11	-	-	-	-	-	11
その他	5	-	-	-	-	-	5

各回答項目間において、重複回答あり

第4 参考資料

1 原爆被爆者対策の概要

(1) 基本的な考え方

原爆被爆者対策については、被爆者が受けた放射線による健康障害という他の戦争犠牲者にはみられない「特別の犠牲」に着目して、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、医療の給付、諸手当の支給等の施策を講じている。

(2) 「被爆者」の定義

- ① 1号被爆者；当時の広島・長崎市内又は一定の隣接地域内において直接被爆した人
- ② 2号被爆者；2週間以内に爆心地から概ね2 Kmの区域内に立ち入った人
- ③ 3号被爆者；被爆者の救護等に従事した人等
- ④ 4号被爆者；①～③に該当する者の、被爆時胎児であった人

以上に該当する者に対して「被爆者健康手帳」が交付され、医療の給付等及び諸手当の支給が受けられる。

(3) 被爆者援護対策の概要

① 医療の給付等

ア 医療の給付

- ・ 認定疾病医療；原爆放射線に起因する疾病について、医療費を全額国費で負担
(別途、厚生大臣による認定を受ける必要がある)
- ・ 一般疾病医療；認定疾病以外について、医療保険等の自己負担分を国費で支給

イ 被爆者健康診断；全額国費で年2回一般健診を実施（希望者にはさらに2回実施可能（うち1回はがん健診可能））

※なお、施行令に定める一定区域内に被爆時にいた者（胎児含む）については、被爆者健康診断受診証の交付を受けることができ、これにより被爆者健康診断を受けることができる。

②諸手当の支給（支給月額が平成10年4月以降の基準）

ア 医療特別手当；原爆放射線に起因する疾病について、現在その状態にある人に支給（月 138,790円）

イ 特別手当；アの状態が治った場合に支給（月 51,250円）

ウ 原子爆弾小頭症手当；原子爆弾の放射線が原因で、小頭症の状態にある人に支給（月 47,770円）

※上記ア又はイとの併給が可能である

エ 健康管理手当；造血機能障害等厚生省令に定める疾病にかかっている人に支給（月 34,130円）

オ 保健手当；2Km以内で直接被爆した人等に支給（月 17,120円）

ただし、原爆の障害作用の影響による身体上の障害（省令で定める）のある人、又は70歳以上の老人で配偶者や子供のいない一人暮らしの者は手当が増額される（月 34,130円）

カ 介護手当；障害のため身の回りの世話をする人を雇った場合に支給
重度障害者の場合 月 107,100円以内
中度障害者の場合 月 71,400円以内

※上記ア～オと併給が可能である

キ 家族介護手当；重度障害者で、家族が身の周りの世話を行っている場合に支給（月 21,780円）

※上記ア～オと併給が可能である

ク 葬祭料；被爆者が死亡した場合、葬祭を行う人に支給（175,000円）

③その他

- ・被爆者対策関係施設（原爆病院、原爆養護ホーム）への補助
- ・在宅被爆者に対する福祉サービスの実施
- ・放射線影響研究所に対する補助など調査研究等の実施
- ・原爆死没者追悼平和祈念館の整備など原爆死没者追悼事業の実施

2 他の主要統計調査の実施概要

(1) 国勢調査（平成7年調査分）

①調査の対象及び客体

調査時において本邦内に常住している者（当該住居に3カ月以上にわたって住んでいる者又は住むことになっている者）を対象に行った。

本邦内に常住している者は、外国人を含めてすべて調査の対象としたが、次の者は調査から除外した

- ・外国政府の外交使節団・領事機関の構成員、随員及びその家族
- ・外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

②調査の実施日 平成7年10月1日（木） 午前零時

③調査事項

世帯員に関する事項

氏名、男女の別、出生月日、世帯主との続柄、国籍、就業状態、所属事業所の名称及び事業の種類、仕事の種類、従業上の地位、従業地又は通学地

世帯に関する事項

世帯員の数、住居の種類、居住室の数、住宅の床面積、住宅の建て方

④調査の方法

ア 調査区の設定

881, 851地区の調査区を確定し、特別調査区、水面調査区及び一般調査区を設定した。

一般調査区 833, 806地区

特別調査区 47, 736地区

水面調査区 309地区

イ 調査の実施

国勢調査員が、平成7年9月23日から10月8日までの間、「調査票」と「調査票の記入の仕方」を配布し、世帯が調査票に記入した後、収集することにより行った。

⑤調査の系統

総務庁統計局－都道府県・指定都市－市町村長－国勢調査指導員－国勢調査員

⑥結果の集計及び集計客体

調査の集計は、総務庁統計センターが実施した。

(2) 国民生活基礎調査（平成7年調査分）

①調査の対象及び客体

全国（兵庫県を除く）の世帯及び世帯員を対象とし、世帯票及び健康票については、平成2年国勢調査区から層化無作為抽出した5,100地区内のすべての世帯（約27万世帯）及び世帯員（約80万人）を、所得票及び貯蓄票については前記の5,100地区に設定された単位区から無作為に抽出した2,000単位区内の全ての世帯（約4万世帯）及び世帯員（約12万人）を調査の客体とした。

②調査の実施日

世帯票・健康票 平成7年6月1日（木）

所得票・貯蓄票 平成7年7月13日（木）

（注；所得については、平成6年1月1日から12月31日までの1年間の所得を調査した）

③調査事項

世帯票；住居の状況、家計支出額、世帯主との続柄、性、出生月日、配偶者の有無、介護の要否、主な介護者の状況、寝たきりか否か、仕事の状況、医療保険・年金の加入状況、公的年金・恩給の受給状況、別居の子の有無ほか

健康票；入院・入所の状況、健康意識、自覚症状、通院・通所等の状況、日常生活への影響、健康診断等の受診状況、日ごろ実行している事柄、悩みやストレスの状況ほか

所得票；所得の種類別金額、税金・社会保険料、世帯主の税法上の扶養親族数、生活意識

貯蓄票；貯蓄現在高、貯蓄の増減の状況、借入金残高

④調査の方法

世帯票及び所得票については、調査員が世帯を訪問し、面接聞き取りの上、調査票に記入する方法により行った。

健康票及び貯蓄票については、あらかじめ調査員が配布した調査票に世帯員自らが記入し、後日、調査員が回収する方法により行った。この場合、貯蓄票は密封回収とした。

⑤調査の系統

世帯票・健康票 厚生省一都道府県・指定都市一(保健所設置市・特別区)一保健所
 一指導員一調査員
 所得票・貯蓄票 厚生省一都道府県・指定都市一福祉事務所一指導員
 一調査員

⑥結果の集計及び集計客体

調査の集計は、厚生省大臣官房統計情報部において行った。

なお、調査客対数、回収客対数、回収率及び集計客対数は次の通り

	調査客対数 (A)	回収客対数 (B)	回収率 (C)=B/A	集計客対数
世帯票・健康票	271,588	247,229	91.0	246,892
所得票・貯蓄票	40,999	34,794	84.9	33,395

3 用語解説

(1) 「世帯」～平成7年1月1日現在、同じ住居に住んでおり、かつ、家計を共にしている人々の集まりをいう。

(寮のように、同じ住居内に住んでいても、一人一人独立の家計計を維持している場合は、別々の世帯となる)

(2) 「自営業」～商店主、工場主、農業主など一定の店舗、工場、事務所などにおいて、事業を行っている者

「常勤者」～個人業種、会社、団体、官公庁などに勤務している者

(3) 寝たきり者等

「全く寝たきり」～1日中、ベット上で過ごし、排せつ、食事、着替え等において介助を要する者

「ほとんど寝たきり」～室内での生活は何らかの介助を要し、日中もベットの上での生活が主体であるが、座位を保つ者

「寝たり起きたり」～室内での生活はおおむね自立しているが、日中も寝たり起きたりの生活で、介助なしには外出しない者

※平成7年国民生活基礎調査 第1巻 P311～312より抜粋

平成7年度 原子爆弾被爆者実態調査

調 査 票

平成7年11月1日（水）現在

【記入上の注意】

- 黒又は青インク又はボールペンを用いて、はっきり記入してください。
- 番号を選ぶ質問については、当てはまる番号を○で囲んでください。
- 文字を記入する場合は、かい書で、数字を記入する場合、1.2.3・・・のように算用数字を用いてていねいに記入してください。
- この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入してください。
- ご自分で記入できない方は、ご家族などに手伝ってもらって記入してください。なお、その場合は、あなたからみた記入者との続柄について当てはまる番号を○で囲んでください。

1 配偶者 2 子 3 兄弟姉妹 4 その他（ ）

【被爆者健康手帳を見て記入してください。】

公費負担者番号								
公費負担医療の 受給者番号								

ふりがな		男	明治			
氏 名		・	大正	年	月	日生
		女	昭和			

居 住 地 (現在地)	
	電話番号（ ） -

質問1 あなたは、広島、長崎のどちらで被爆しましたか。

1 広島 2 長崎

【被爆者健康手帳を見て記入してください。】

質問2 あなたは、被爆者健康手帳の「法第1条による区分（旧法では「法第2条による区分）」の欄で第何号になっていますか。

1 第1号

2 第2号

3 第3号

問1 あなたは、爆心地から何キロメートルの場所で被爆しましたか。（被爆者健康手帳の「被爆の場所」の欄を参考にしてください。）

1 0.0～0.5キロメートル	4 1.6～2.0キロメートル
2 0.6～1.0キロメートル	5 2.1～3.0キロメートル
3 1.1～1.5キロメートル	6 3.1キロメートル以上

4 第4号

問1 あなたの母親は、「法第1条による区分（旧法では「法第2条による区分）」で言えば、どれに該当しますか。

1 第1号 2 第2号 3 第3号 4 不明

質問3 あなたは、現在どんな住居に住んでいますか。

1 持ち家
2 民営の借家・借間又は賃貸アパート
3 公営・公団・公社の賃貸住宅又は社宅等
4 老人ホーム（原爆養護ホームを含む。）
5 その他

質問4 あなたの世帯には、あなたを含めて何人の人が同居されていますか。
また、その世帯員について、あなたとの続柄を教えてください。

世帯員数 人
(あなたを含めた)

※ 当てはまるものすべてを○で囲んでください。

01 配偶者	05 孫の配偶者	09 兄弟姉妹
02 子	06 父母	10 その他の親族
03 子の配偶者	07 配偶者の父母	11 その他
04 孫	08 祖父母	

(注) 世帯とは、平成7年11月1日現在、同じ住居に住んでおり、かつ、家計を共にしている人々の集まりをいいます。

寮のように同じ住居に住んでいても、ひとりひとり独立の家計を維持している場合は、別々の世帯になります。

質問5 あなたの世帯に、あなた以外に被爆者健康手帳の交付を受けている方がおられましたら、その方の被爆者健康手帳番号を記入してください。

公費負担者番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
公費負担医療の 受給者番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

公費負担者番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
公費負担医療の 受給者番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

公費負担者番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
公費負担医療の 受給者番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

公費負担者番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
公費負担医療の 受給者番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

質問6 あなたは、平成7年10月中に少しでも収入を伴う仕事をしましたか。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 自営業主として仕事をした（自営業の手伝いを含む。） |
| 2 | 常勤者として仕事をした |
| 3 | 臨時的な仕事をした |
| 4 | 仕事をしなかった |

（注1） 自営業主とは、商店主、工場主、農業主など一定の店舗、工場、事務所などにおいて、事業を行っている者をいいます。

（注2） 常勤者とは、個人業主、会社、団体、官公庁などに勤務している者をいいます。

質問7 あなたの世帯全員の平成6年の税込み所得額（総収入額）の合計はどのくらいですか。

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 100万円未満 |
| 2 | 100万円以上 300万円未満 |
| 3 | 300万円以上 500万円未満 |
| 4 | 500万円以上 1,000万円未満 |
| 5 | 1,000万円以上 |

質問8 あなたは、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」による手当を平成7年10月現在受けていますか。

※ 当てはまるものすべてを○で囲んでください。

1 受けている

2 受けていない

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 医療特別手当 |
| 2 | 特別手当 |
| 3 | 原子爆弾小頭症手当 |
| 4 | 健康管理手当 |
| 5 | 保健手当（一般分） |
| 6 | 保健手当（増額分） |
| 7 | 家族介護手当 |
| 8 | 介護手当 |

質問9 あなたの世帯は、生活保護を受けていますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

質問10 あなたは、どんな種類の公的な年金・恩給を受給していますか。

※ 当てはまるものすべてを○で囲んでください。

1 受けている

2 受けていない

- | | |
|---|------|
| 1 | 基礎年金 |
| 2 | 国民年金 |
| 3 | 福祉年金 |
| 4 | 厚生年金 |
| 5 | 共済組合 |
| 6 | 恩給 |
| 7 | その他 |

質問11 あなたが加入している医療保険の種類は、次のうちどれですか。

- | | | | | |
|------------|---|---|---|------|
| 1 国民健康保険 | } | — | [| 1 本人 |
| 2 政府管掌健康保険 | | | | |
| 3 組合管掌健康保険 | | | | |
| 4 共済組合 | | | | |
| 5 船員保険 | | | | |
| 6 その他 | | | | |

- | | |
|---|----|
| 2 | 家族 |
|---|----|

質問12 あなたは、次の手帳をお持ちですか。

※ 当てはまるものすべてを○で囲んでください。

1 身体障害者手帳

2 戦傷病者手帳

3 1、2の手帳は持っていない

- | | |
|---|----|
| 1 | 一級 |
| 2 | 二級 |
| 3 | 三級 |
| 4 | 四級 |
| 5 | 五級 |
| 6 | 六級 |

質問13 あなたは、寝たきりとなっていますか。また、なってからどのくらいになりますか。

1 全く寝たきり 2 ほとんど寝たきり 3 寝たり起きたり	1 1か月未満 2 1か月以上～6か月未満 3 6か月以上～1年未満 4 1年以上
4 寝たきりでない	

質問14 あなたは、入浴、家の中での移動、衣類の着脱、排便、食事などについて、だれかの手助けを受けていますか。

1 受けている	問1 それはどれについてですか。当てはまるものすべてを○で囲んでください。 <table border="1"> <tr> <td>1 入浴</td> <td>4 排便</td> </tr> <tr> <td>2 家の中での移動</td> <td>5 食事</td> </tr> <tr> <td>3 衣類の着脱</td> <td>6 その他</td> </tr> </table>	1 入浴	4 排便	2 家の中での移動	5 食事	3 衣類の着脱	6 その他
1 入浴		4 排便					
2 家の中での移動	5 食事						
3 衣類の着脱	6 その他						
2 受けていない							

問2 主に手助けをしてくれるのはだれですか。ア、イ、ウ、エすべてにお答えください。	
ア 1 同居者 2 同居者以外	エ 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の家族 6 家庭奉仕員 7 家政婦 8 その他
イ 1 男 2 女	
ウ 1 65歳以上 2 65歳未満	

問3 手助けをしてくれる人に費用を支払っていますか。	
1 支払っている	2 支払っていない

質問15 あなたは、平成6年11月1日から平成7年10月31日までの1年間に、被爆者健康診断を受けましたか。
(被爆者健康手帳の一般検査の欄を参考にしてください。)

1 被爆者健康診断を受けた

問1 何回受けましたか。

1	一	回	3	三	回
2	二	回	4	四	回

問2 その1年間の被爆者健康診断の結果で、一度でも要精密検査になりましたか。(被爆者健康手帳の一般検査の「判定」の欄を参考にしてください。)

1	要精密検査になった
2	要精密検査にはならなかった

問3 被爆者健康診断の精密検査を受けましたか。
また、その結果、一度でも異常がありましたか。
(被爆者健康手帳の精密検査「異常の有無」の欄を参考にしてください。)

1	受けた
---	-----

2	受けなかった
---	--------

1	異常があった
2	異常はなかった
3	未判定(検査中)

2 被爆者健康診断を受けなかった

問1 受けなかったのは、主にどのような理由からですか。

※ 当てはまるもの1つを○で囲んでください。

1	健康だと思ったから
2	職場で健康診断を受けたから
3	老人保健の健康診査を受けたから
4	時々医者にかかっているから
5	時間・場所等を知らなかったから
6	その他

質問16 あなたは、平成7年10月中に病院・診療所（医院）または老人保健施設へ通院しましたか。又は入院、入所していましたか。あるいは、在宅医療（往診を含む。）を受けましたか。

※ 当てはまるものすべてを○で囲んでください。

- 1 入院していた
- 2 老人保健施設に入所していた
- 3 病院（歯科以外）・診療所（医院）へ通院した
- 4 歯科診療所・病院の歯科へ通院した
- 5 在宅医療を受けていた。
（インシュリンの自己注射、在宅酸素療法、経管栄養等）
- 6 入院、入所または通院もしなかった。また、在宅医療も受けなかった

質問17 あなたは、次に掲げる保健・福祉サービスのうち、現在どれを受けたいと思いますか。

※ 希望するものすべてを○で囲んでください。

- 1 健康や生活についての相談、介護等に関する指導
- 2 身の回りの世話をしてくれる人の派遣（ホームヘルパー）
- 3 介護などが必要な人の短期間の預かり（ショートステイ）
- 4 老人ホーム等での入浴、食事、日常動作訓練等のサービス
（デイサービス）
- 5 老人ホーム、原爆養護ホーム等への入所
- 6 その他（ ）

質問18 被爆者であることから、現在苦勞していたり、心配していることはどのようなことですか。

※ 当てはまるものすべてを○で囲んでください。

- 1 自分や家族の健康
- 2 仕事のこと
- 3 経済上の困窮
- 4 老後の生活
- 5 肉親の日常の世話
- 6 家族の将来（就職、結婚など）
- 7 その他（ ）

ご協力ありがとうございました。